🔇 КУОСЕRа

FAX System(W)

使用説明書







送信する

- ▶基本的な送信のしかた
- ▶同報送信
- ▶リダイヤルを使う
- ▶ダイレクト送信
- ▶手動送信
- ▶手動送信(ハンドセット/外付け電話併用)
- ▶タイマー送信
- ▶送信予約
- ▶割り込み送信
- ▶Fコード送信する

受信する

- ▶受信方法の種類
- ▶ファクス専用自動受信
- ▶手動受信
- ▶手動受信(ハンドセット/外付け電話併用)
- ▶ファクス/電話自動切替受信
- ▶ファクス/留守番電話自動切替受信
- ▶リモート切替機能
- ▶Fコード受信する
- ▶メモリー転送
- ▶ポーリング通信
- ▶両面印刷
- ▶2in1印刷
- ▶ 縮小受信
- ▶使用禁止時間





通信を中止する

- ▶送信を中止する
- ▶ダイレクト送信の中止
- ▶タイマー送信(待機中)の中止と即時送信
- ▶受信を中止する(通信の切断)
- ▶ポーリング送信の中止

宛先を登録する

- ▶アドレス帳の登録
- ▶ワンタッチキーの登録
- プログラムダイヤルを使う
- ▶文字の入力方法





ファクスを設定する

▶簡単セットアップ(ファクスのセットア	ップ)
▶回線設定	
受信方式	
▶自局名登録	
▶自局名登録(フリガナ)	
▶自局ファクス番号	
▶自局ファクスID	
発信元記録	
スピーカー音量	
モニター音量	
▶ 排紙先	
加小文信	
日付と時刻の設定	
▶日垤饭肥	
▶ノノンス/电前日動り省文信	
▶ノアクス/宙寸金竜品日勤切谷文信	
▶ファクススピーカー音量	
▶ファクスモニター音量	
▶リモート診断	
▶両面印刷	
▶2in1印刷	
▶リモート切り替えダイヤル	
▶ファクス番号のテンキー入力の禁止	
▶受信日時記録	
▶受信用紙種類	
▶Fネット無鳴動受信	
ダイヤルイン	
送受信制限	
▶ 旧 勹 炟 洦	



べんりな機能を使う

▶チェーンダイヤルを使う
▶メモリー転送
▶プログラムダイヤルを使う
▶ポーリング通信
▶インターネットファクス

Network FAX

トラブルが発生した

- ▶送/受信中のランプ表示について
- ▶電源を切るときの注意
- ▶こんな表示が出たら
- ▶エラーコード一覧表
- ▶トラブルが発生した場合

リスト / レポートを表示 / 印刷する

アドレス帳の登録
通信結果や登録した内容を確認する
ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する
管理レポートを印刷する
通信管理レポート
ステータスページ







[電気通信回線への接続方法]

ファクスキットについて

本 FAX System(W) は弊社製複合機(FS/LS シリーズ、TASKalfa シリーズ)の対応機種で使用できます。 対応機種については、複合機のカタログまたは説明書等をご確認ください。 本書中の注意表示について

この使用説明書は、ファクスを良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れお よび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに大切に 保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財 産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のように なっています。

警告:この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意:この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容お よび物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内 容が描かれています。

🥂 「注意一般」、 🥂 「高温注意」

◎ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

○ 「禁止一般」、● 「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

● 「強制一般」、 💦 「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書 を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。 (有償)

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

目次

	安全に正しくお使いいただくために	vi
	はじめに	vii
	本書の構成・表記について	ix
1	各部の名称とはたらき	1-1
	操作パネル	1-2
	本体	1-4
2	使用前の準備	2-1
	簡単セットアップ(ファクスのセットアップ)	2-2
	日付と時刻を設定する	2-4
	アドレス帳を使う	2-5
	ワンタッチキーを使う	2-15
3	ファクスの操作方法(基本編)	
	エンターキー、短縮キーについて	3-2
	自動送信する	3-3
	自動受信する(ファクス専用自動受信)	3-11
	通信を中止する	3-13
	宛先をアドレス帳から選ぶ	3-15
	宛先をワンタッチキーで選ぶ	3-19
	番号キーを使う	3-20
	同じ相手に再送信する(リダイヤル)	3-21
	送信する原稿のイメージを確認する	3-22
	簡単設定画面について	3-24
	ショートカット登録	3-26
4	ファクスの操作方法(応用編)	4-1
	長い原稿を読み込む【長尺原稿】	4-2
	時刻を指定して送信する【タイマー送信】	4-3
	1回の操作でたくさんの相手先に送信する【同報送信】	4-6
	通信中に別の原稿の送信を予約する【送信予約】	4-9
	別の原稿を優先して送信する【割り込み送信】	4-10
	フリーダイヤルなどの特定の局番を省略して送信する【チェーンダイヤル】	4-11
	相手先に電話して手動で送信する【手動送信】	4-13
	送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】	4-15
	電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】	4-17
	受信した文書を条件ごとに印刷 / 転送する【メモリー転送】	4-19
	受信した原稿を管理する【ファクスボックス機能】	4-37
	F コードを使って通信する【F コード通信】	4-44
	送信する相手や設定内容などを登録する【プログラムダイヤル】	4-47
	受信側の操作で通信を開始する【ポーリング通信】	4-49
	ファクス番号のテンキー入力を禁止する	4-57
	ファクスの使用状況などを管理する【管理機能】	4-58
	その他の便利な機能	4-61

5	通信結果や登録した内容の確認	. 5-1
	通信結果や登録した内容を確認する	5-2
	ファクスジョブの送信 / 受信履歴を確認する	5-3
	管理レポートを印刷する	5-7
	ファクスの受信結果をメールで知らせる	5-11
	宛先確認画面について	5-12
6	冬種設定と登録	6-1
0	日住 成 と こ 立 好	6-2
	宅品口線の径気でとれてす。 送信したファクスに印刷される発信元記録を設定する	6-3
	発信元の情報を設定する	6-4
	ファクスと電話を自動で切り替える【ファクス / 電話自動切替受信】	6-7
	ファクスと留守番電話を自動で切り替える【ファクス/留守番電話自動切替受信】	6-9
	ックシスと出り出宅品と古動でのションのションスクロり出宅品は1500日文店】 呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】	6-11
	スピーカーの音量を調整する【音量調整】	6-12
	リダイヤルする回数を変更する【リダイヤル回数】	6-13
	利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】	6-14
	受信した日時や情報などを印刷する【受信日時記録】	6-15
	使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】	6-16
	手差しトレイの使用 / 不使用を選択する【手差しトレイ受信】	6-18
	ファクス通信網を使用して受信する【Fネット無鳴動受信】	6-19
	1 回線で電話とファクスを使い分ける【ダイヤルイン】	6-20
	通信する相手先を限定する【送受信制限】	6-21
	原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】	6-29
	用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】	6-34
	幅が同じ原稿を受信したときは両面に印刷する【両面受信】	6-35
	2枚の原稿を1枚にまとめて受信する【2in1受信】	6-36
	ービスセンターからの通信で本機を診断する【リモート診断】	6-37
	時間を指定してファクスの印刷を禁止する【使用禁止時間】	6-38
	排紙先を設定する【排紙先】	6-39
7	オプシュンについて	71
1	オフンヨンについて	. 7 - 1
	internet l ax Nit(A)	7-2
	オート・シート・シート・シート・シート・シート・シート・シート・シート・シート・シ	7-5
	孤原がビック	7-5
•		
8	インターネットファクスについて(オフション)	. 8-1
	インターネットノアクスとは	8-2
	インターネットノアクスを設定する	8-4
	インターネットノアクス达信	/-۲ مدم
	1 ノダーイットノアクス文信	5-12
9	Network FAX について	. 9-1
	Network FAX とは	9-2
	セットアップする	9-3

10	こんなときには
付録	付録 - 文字の入力方法
索引	

安全に正しくお使いいただくために

本使用説明書について

本使用説明書は、ファクス機能についての説明書です。

ご使用前には必ず本体の使用説明書と合わせてお読みいただき、またお読みになった後は機械の近くに大切に保管してください。

ご使用にあたって、次の内容については本体の使用説明書をお読みください。

注意ラベル・刻印について 設置環境について 取り扱い上のご注意 用紙の補給 清掃 トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換 トラブルが発生した場合 紙詰まりが発生したら

設置電源について

複写機や空調機器と同じ系統の電源は避けてください。

はじめに

商標について

• Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems, Incorporated (アドビシステムズ社)の 商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。 なお、本文中には TM および ® は明記しておりません。 この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本書の構成・表記について

本書の構成

本説明書は、次の章で構成されています。

1 各部の名称とはたらき

本体各部の名称と操作パネルのキー名称を説明しています。

2 使用前の準備

ファクスを使用する前に必要な設定について説明しています。

3 ファクスの操作方法(基本編)

「原稿を送る」、「原稿を受ける」など一般的なファクスの使いかたについて説明しています。

4 ファクスの操作方法(応用編)

送る時刻を指定したり、同じ原稿を複数の相手先に連続して送ったり、次の送信を予約したりなどファ クスの便利な機能について説明しています。

また、送信先や受信先を制限したり、受信した原稿を条件ごとに転送/保存/印刷したりなど高度な ファクス通信について説明もしています。さらに、他社機と互換性のあるFコード通信機能や、ファク スの通信状況を把握するのに便利な部門管理機能も説明しています。

5 通信結果や登録した内容の確認

最近行われた送 / 受信の状況をタッチパネルで確認する方法を説明しています。また、通信結果や本機の設定・登録状況を把握するための管理レポート類の印刷方法についても説明しています。

6 各種設定と登録

エラー時に発生するブザー音の音量を調整するなど、機能に関する各種の設定や登録について説明して います。

7 オプションについて

オプションの Internet Fax Kit (A)、ハンドセット、拡張メモリー、およびマルチポートについての紹介 と、オプション機器を装着した場合の操作方法について説明しています。

8 インターネットファクスについて(オプション)

インターネットファクス機能を使用する方法や、インターネットファクスに必要な設定について説明しています。

*i-ファクスはインターネットファクス(オプション)と読み替えてください。

9 Network FAX について

Network FAX 機能を使用する方法について説明しています。付属の DVD に納められている Network FAX ドライバー使用説明書(オンラインマニュアル)も合わせてお読みください。

10 こんなときには

エラーが表示されたときやトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

文字の入力方法や本製品の仕様などについて説明しています。

本書の読みかた

表記	説明	表記例
太字	操作パネル上のキーおよびコン ピューターの画面に表示されるボ タンやメッセージを示します。	スタートキーを押してください。 OK ボタンをクリックしてください。
[太字]	タッチパネル上のキーを示します。	[OK] を押してください。
「標準」	タッチパネルに表示されるメッ セージを示します。	「コピーできます。」が表示されます。
	補足説明や操作の参考となる情報 が書かれています。	参考:
 重要	トラブルを防止するために、必ず 守っていただきたい事項や禁止事 項が書かれています。	重要:

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように→でつないで表記していま す。

	本書の表記
[ファクス] を押す ▼	[ファクス] →「送信設定」の [次へ] → [基本設定] の [次へ] →「発信元記録」の [変更] の順に押してください。
「送信設定」の [次へ] を押す ▼	
「基本設定」の [次へ] を押す ▼	
「発信元記録」の [変更] を押す	

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズの表記について説明します。

A4 や B5、Letter のように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿 / 用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」を付けて表記しています。



・ 使用できる原稿 / 用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは各機能また は給紙段のページを参照してください。

タッチパネルのアイコン表示について

タッチパネルでは、原稿および用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。



1 各部の名称とはたらき

この章では、本体にファクスキットを装着し、ファクスとして利用する場合に使用する部位の名称とはたら きを説明します。

その他の部位については、本体の使用説明書を参照してください。

- 操作パネル ...1-2
- 本体 ...1-4

操作パネル

ファクス以外の機能を使用するときのキーやランプについては、本体の使用説明書を参照してください。 状況確認/ジョブ中止画面が表示されます。



プログラム画面が表示されます。

*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

1



*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

本体

本機をファクスとして利用するときに使用する部位について説明しています。 ファクス以外の機能を使用するときの部位については、本体の**使用説明書**を参照してください。



*使用される本体のモデルによって、イラストと外観が異なることがあります。

1	操作パネル	ファクスの操作はここで行います。
2	主電源スイッチ	ファクスやコピーの操作を行うときは、このスイッチを
		ON () にしてください。タッチパネルが点灯し、機械 の撮作が可能にかります
3	手差しトレイ	特殊紙など、カセット以外の用紙を使用するときは、ここ
		に用紙をセットします。
4	LINE 接続コネクター (L1)	電話回線用のモジュラーコードを接続してください。この
		コネクターがポート1になります。
5	LINE 接続コネクター (L2)	ファクスキットを2台装着すると、ポート2が使用できま
		す。電話回線用のモジュラーコードを接続してください。
6	TEL 接続コネクター (T1)	オプションのハンドセットや市販の電話機を併用する場合
		は、ここに接続してください。

重要:主電源スイッチを切ると、ファクスを受信できなくなりますのでご注意ください。電源を切る場合 は操作パネルにある**電源キー**を押してください。

1

原稿送り装置



*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

7	原稿セットランプ	原稿送り装置の原稿の状態を表示します。原稿が正しく セットされているとランプが緑色に点灯します。
8	上カバー	原稿送り装置で原稿がつまったときに開いてください。
9	原稿幅ガイド	原稿幅に合わせて調節してください。
10	原稿トレイ	ここにシート原稿を重ねてセットしてください。
11	原稿排紙テーブル	読み込みが完了した原稿はここに排出されます。
12	開閉取っ手	原稿送り装置を開閉するときは、この取っ手を持ってくだ
		さい。

2 使用前の準備

この章では、ファクスを初めて使用する前に行う準備作業を説明します。 準備作業をサービス担当者が済ませている場合は、お客様が行う必要はありません。

- 簡単セットアップ(ファクスのセットアップ)…2-2
- 日付と時刻を設定する ...2-4
- アドレス帳を使う...2-5
- ワンタッチキーを使う ...2-15

簡単セットアップ(ファクスのセットアップ)

簡単セットアップでは、ウィザード形式で以下の設定を行います。ファクスをご使用になる前に必ず設定を 行なってください。

ファクスのセットアップの項目

ステップ	設定項目	説明	参照ページ
1.回線設定	回線種類(ポート1) 回線種類(ポート2)	契約している電話回線の種類に合わせて回線の種 類を設定します。	6-2ページ
	受信方式	受信方式を選択します。	6-14ページ
2.自局の登録	自局名登録 (ポート1) 自局名登録 (ポート2)	相手先の記録紙に印字する自局名を登録します。	6-4ページ
	自局名登録 (ポート1) (フリガ ナ) 自局名登録 (ポート2) (フリガ ナ)	発信元情報に印刷する発信元の自局名(フリガナ)を 登録します。	6-4ページ
	自局ファクス番号(ポート1) 自局ファクス番号(ポート2)	相手先の記録紙に印字する自局ファクス番号を登 録します。	6-5ページ
	自局ID	自局ファクスIDを登録します。自局ファクスID は通 信する相手先を限定するときに使用します。登録す る自局ファクスIDの番号は4桁で入力してくださ い。	6-5ページ
	発信元記録	自局ファクス番号を相手先の記録紙に印刷するか どうかを設定します。	6-3ページ
3.音量	ファクススピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。 スピーカー音量:[オンフック]を押して電話回線を接 続したときに、内蔵スピーカーから聞こえる音量で す。	6-12ページ
	ファクスモニター音量	モニター音量を設定します。 モニター音量:メモリー送信などで[オンフック]を押 さずに電話回線を接続したときに、内蔵スピーカー から聞こえる音量です。	6-12ページ
4.ベル回数	ベル回数(普通)	相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数 を設定します。	6-11ページ
	ベル回数(留守番電話)	ファクスと留守番電話を切り替えるまでのベル回 数を設定します。	6-11ページ
_	ベル回数(ファクス/電話切替)	ファクスと電話を切り替えるまでのベル回数を設 定します。	6-11ページ
5.出力	排紙先(ポート1) 排紙先(ポート2)	ファクスを受信したときの印刷用紙の排紙先を設 定します。	6-39ページ
	縮小受信	受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小し て印刷します。	6-34ページ
6 リダイヤル	リダイヤル回数	リダイヤルする回数を設定します。	6-13ページ
7 Fネット	Fネット無鳴動受信	ファクス通信網(Fネット)を使用する場合、呼び出し 音を鳴らさずにファクスを受信します。	6-19ページ

参考:各設定はシステムメニューで変更することができます。

ファクスのセットアップの手順

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「簡単セットアップウィザード」
 の[次へ]の順に押してください。

ウィザードを開始します。

3 画面の指示に従って設定してください。

1.回線設定	
2.自局情報	
3.音量	ファクスを使用するための、基本的な設定を行います。
4.ベル回数	
5.出力	
6.リダイヤル	
7.Fネット	

+-	説明
終了	ウィザードを終了します。
<戻る	前の項目に戻ります。
スキップ >	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ>	次の項目に進みます。

4 設定が終わったら [完了] を押してください。

日付と時刻を設定する

本機に内蔵されている時計の日付と時刻を登録します。ここで登録した時刻をもとにタイマー送信が行われるため、必ず正しい日付と時刻を登録してください。

重要:操作部タッチパネル上に表示される時刻は定期的に修正してください。誤差が生じ現在時刻からず れることがあります。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [√] → [日付 / タイマー]の順に押してください。

ユーザー認証画面が表示されます。ログインユー ザー名とパスワードを入力し、[ログイン] を押 してください。ログインユーザー名とパスワード の工場出荷時の値は、ともに「2500」です。

- **3** 「時差」の [変更] を押してください。
- 4 地域を選択してください。

参考:[**^**] または [****] を押すと、次の地域が表示されます。

5 サマータイムの [設定する] または [設定しない] を押して、[OK] を押してください。

参考:サマータイムを採用していない地域を選択し た場合はサマータイムの設定画面は表示されませ ん。

- **6** 「日付 / 時刻」の [変更] を押してください。
- 7 日付と時刻を [+] または [-] で入力してくだ さい。

時刻は24時間制で入力してください。

8 [OK] を押してください。

日付/タイマー 時差 時差を設定します。 ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。		
時差	C	
12:00 国際日付変更線西側		\sim
11:00 サモア		
-11:00 協定世界時-11		
10:00 ハワイ	1.	/16
-09:00 アラスカ		
3 −08:00 バハカリフォルニア		I
	キャンセル	∉ ок
状况		2011/12/12 10:10

* 日付/タイマー・	- 日付/時刻				
i =	付と時刻を設定します	す。			
	0011	10	10		
-	[#]				
				-	
	10 時	10 分	31 秒		
-	-1+1	<u> </u>	_ +		
			キャンセル	الج	ок
状況				1110	2011/12/12 10:10

2

アドレス帳を使う

ファクスまたはインターネットファクスの宛先をアドレス帳から選択することができます。 「拡張アドレス帳」を選択すると、LDAPのアドレス帳を使用できます。拡張アドレス帳については、 Command Center RX 操作手順書を参照してください。

最初に表示するアドレス帳の種類を変更する

拡張アドレス帷

キャンセル

最初に表示されるアドレス帳を「本体アドレス帳」と「拡張アドレス帳」(LDAPのアドレス帳)から選んで 設定します。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [宛先編集] →「アドレス帳初期設定」の[次へ]
 →「アドレス帳の種類」の[変更]の順に押してください。
- 3 [本体アドレス帳] または [拡張アドレス帳] か ら設定したい項目を選び、[OK] を押してくださ い。

宛先の新規登録

宛先編集 − アドレス帳の種類

アドレス帳種類の初期状態を設定します。

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録および複数の個人登録をまとめて登録する グループ登録の2種類があります。

参考:インターネットファクスのアドレスを個人登録する場合は、2-9ページの個人登録(インターネットファクス)を参照してください。

個人登録(ファクス)

2,000 件までの宛先が登録できます。各宛先には、宛先名、ファクス番号、F コード通信、暗号通信、送信開始速度、ECM 通信が登録できます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [宛先編集] →「アドレス帳」の[登録/編集] → [新規登録] → [個人] → [次へ] の順に押して ください。

アドレス		
	名前 🖸 メール 🗞 SMB 🗞 FTP 🖏 ファクス 📢) i-ファクス
	ポーズ スペース	
		変更
_		~~~ >
•	暗号鍵番号 :設定しない	変更
9	送信開始速度 : 33600bps	変更
0	ECM : 設定する <u>変更</u> >	
	キャンセル 戻る	山登録
状况	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	2011/12/12 10:10

3 「アドレス番号」の [変更] を押してください。

4 [+]、[-] またはテンキーで、任意のアドレス 番号(0001~2,500)を入力してください。

参考: アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号で す。個人登録 2,000 件、グループ登録 500 件の合計 2,500 件の中から、空いている番号を選択できます。

「0000」が表示されている場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

- **5** [OK] を押してください。
- **6** 「名前」の [変更] を押してください。
- アドレス帳に表示される宛先名を入力して、
 [OK] を押してください。32 文字まで入力できます。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 力方法を参照してください。

- 8 「フリガナ」の [変更] を押してください。
- 9 宛先名のフリガナを入力して、[OK] を押してく ださい。32 文字まで入力できます。
- **10** [ファクス] を押してください。
- **11** テンキーを使って相手先のファクス番号を入力し てください。

参考:相手先のファクス番号は32桁まで入力できます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[く] または [>] を押すと、カーソルが移動します。

番号を訂正するときは、タッチパネルの[バックス ペース]を押して1文字ずつ削除し、入力し直して ください。すべて削除するときは、操作パネルのク リアキーを押してください。

小二人 にしい([ポ-	-ズ1	について
-----------	-----	-----	------

このキーを押すとダイヤル時に約3秒の待ち時間 が挿入されます。たとえば、0発信(構内交換機 を使用して内線から外線への発信)するときや、 情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時 間の挿入に使用します。

- **12**「F コード」の[変更]を押してください。F コー ド通信を使用しない場合は、手順 16 に進んでく ださい。
- **13** [サブアドレス] を押して、テンキーでFコードサ ブアドレスを入力してください。

参考:サブアドレスは、0~9の数字とスペース、 「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力できます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[く] または [>] を押すと、カーソルが移動しま す。

[バックスペース]を押すと、カーソルの前の一文 字が削除されます。

14 [パスワード] を押して、テンキーでFコードパス ワードを入力してください。

参考:Fコードパスワードは0~9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力できます。本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

- **15** [OK] を押してください。
- 16「暗号鍵番号」の[変更]を押してください。暗号通信を使用しない場合は、手順21に進んでください。
- **17** [設定する] を押し、暗号鍵番号を選択してください。

参考:暗号鍵は事前に設定してください。詳細は 6-30ページの暗号鍵の登録のしかたを参照してくだ さい。

18 相手先で暗号ボックスを指定する場合は、[暗号 ボックス]を押して次の手順に進んでください。

相手先で原稿を印刷する場合は、[使用しない] を選択し、[OK] を押して手順 21 に進んでくだ さい。

アドレス: -Fコード 1234567890 パスワード スペース パック スペース パック アコードを設定します。 サブアドレスおよびパスワードはテンキーで 入力します。(最大20桁)]
キャンセル 4	ок
tin time time time time time time time time	2011/12/12 10:10

。 アドレス: 一暗号送信			
設定しない			
	暗号鍵番号		
ax AE 9 5	💡 Key 01		
	9 Key 02		
	9 Key 03	1/1	
	9 Key 04		使用しない
	9 Key 05	\sim	◎ 暗号ボックス
		キャンセル	∉ ОК
状況		1	2011/12/12 10:10

- **19** [使用する] を押し、テンキーで暗号ボックス番号(4桁)を入力して、[OK] を押してください。
- **20** [OK] を押してください。
- 21 必要に応じて、[送信開始速度] または [ECM] を押して、設定を変更してください。[変更] を 押して設定を変更し、[OK] を押してください。

+-	説明	
送信開始速度	設定している送信開始速度が相手 正しく送信できないことがありま してください。送信開始速度を 33600 bps、14400 bps、9600 bps オ	F先機で対応していないときは、ファクスを ます。そのときは、送信開始速度を低く設定 変更するときは、このキーを押してください。 から選択できます。
ECM	ECM 通信は、通信中にノイズな きでも、影響を受けたデータのみ 機能です。ECM 通信の設定を変	どの影響を受けて正しく送信できなかったと みを自動的に送信し直して画像の乱れを防ぐ 更するときは、このキーを押してください。
	22	各項目が正しく入力できているか確認してくださ い。
	23	宛先が正しく設定できているか確認して、[登録] を押してください。アドレス帳に宛先が追加され ます。
	24	ワンタッチキーの登録確認画面が表示されるの で、 [はい] または [いいえ] を選んで押してく ださい。
		[はい] を選ぶとワンタッチキーの登録画面が表 示されます。次の手順に進んでください。
		[いいえ]を選ぶと登録を終了します。
	25	登録したいワンタッチキーを選択し、 [次へ] を 押してください。
	26	宛先を選択し、 [次へ] を押してください。
		宛先を選択し、 [詳細] を押すと、宛先の内容を 変更できます。
	27	必要に応じて、「表示名」と「宛先」の [変更] を押して、設定を変更してください。
	28	[登録] を押してください。
		ワンタッチキーがすでに登録されている場合は、 上書登録の確認画面が表示されます。[はい]ま たは [いいえ] を押してください。

2

個人登録(インターネットファクス)

2,000 件までの宛先が登録できます。各宛先には、宛先名、インターネットファクスアドレス、送信モード、相手機条件が登録できます。

2011/12/12 10:10

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [宛先編集] →「アドレス帳」の[登録/編集] →
 [新規登録] → [個人] → [次へ] の順に押して
 ください。
- **3** 「アドレス番号」の [変更] を押してください。

4 [+]、[-] またはテンキーで、任意のアドレス 番号(0001~2,500)を入力してください。

参考: アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号で す。個人登録 2,000 件、グループ登録 500 件の合計 2,500 件の中から、空いている番号を選択できます。

「0000」が表示されている場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

- **5** [OK] を押してください。
- **6** 「名前」の [変更] を押してください。
- アドレス帳に表示される宛先名を入力して、
 [OK] を押してください。32 文字まで入力できます。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 力方法を参照してください。

- 8 「フリガナ」の [変更] を押してください。
- 9 宛先名のフリガナを入力して、[OK] を押してく ださい。32 文字まで入力できます。
- **10**「i-ファクス」を押してください。

アドレ	/ス:					
	名前	ビメール	🗞 SMB	S FTP	10 ファクス	(*) i−ファウス
0	アドレス番号	:	自動			<u>変更</u> 入
9	名前	:				変更
0	フリ カ [*] ナ	:				変更 >
			キャンセ	211	戻る	↓ 登録

アドレス:	
名前	🖸 ジール 🖻 SMB 🖻 FTP 🗳 ファクス 🅎 i-ファクス
 ● 通信 ● i−ファクスアト 	シンブルモード 11
● 解像度	: 200x200dpi
● 圧縮方式	: MH
● 用紙サイズ	: A4/Letter 友更
	キャンセル 戻る 登録
48.00	2011/12/12 10:10

- **11**「i-ファクスアドレス」の[変更]を押してくだ さい。
- 12 相手先のアドレスを入力し、[OK] を押してくだ さい。128 文字まで入力できます。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 力方法を参照してください。

13「通信」の [**v**] を押して、「シンプルモード」または「フルモード」を選択してください。

送信モード	説明					
シンプルモード	相手機に送達確認をしません。					
フルモード	相手機に送達確認をします。					
	14 「用紙サイズ」の [変更] を押してください。					
	15 相手機条件を設定して、[OK] を押してくださ					
頁目	説明					
屑像度	相手先のファクス機で受信できる解像度を設定します。					
	禁止されている解像度で送信した場合は、自動的に許可している解像度 に変更して送信します。					
	• 200×100 dpi:許可(固定)					
	• 200×200 dpi:許可(固定)					
	 200×400 dpi:許可または禁止 					
	 400×400 dpi:許可または禁止 					
	 600×600 dpi:許可または禁止 					
	許可する場合は、その解像度のキーを押して反転表示させください。					
	禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してください。					
王縮方式	相手先のファクス機に合わせてファイル形式を選択します。					
	MH、MR、MMR または JBIG					
用紙サイズ	相手先のファクス機に合わせて選択できる原稿幅を設定します。					
	• A4/Letter:許可(固定)					
	 B4:許可または禁止 					
	• A3/Ledger:許可または禁止					
	許可する場合は、そのサイズのキーを押して反転表示させください。					
	禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してください。					

16 宛先が正しく設定できているか確認して、[登録] を押してください。アドレス帳に宛先が追加され ます。

2

17 ワンタッチキーの登録確認画面が表示されるの で、[はい] または [いいえ] を選んで押してく ださい。

[はい]を選ぶとワンタッチキーの登録画面が表示されます。次の手順に進んでください。

[いいえ]を選ぶと登録を終了します。

- **18** 登録したいワンタッチキーを選択し、[次へ] を 押してください。
- 19 宛先を選択し、[次へ]を押してください。 宛先を選択し、[詳細]を押すと、宛先の内容を 変更できます。
- **20** 必要に応じて、「表示名」と「宛先」の[**変更**] を押して、設定を変更してください。
- 21 [登録] を押してください。

ワンタッチキーがすでに登録されている場合は、 上書登録の確認画面が表示されます。[はい]または[いいえ]を押してください。

グループ登録

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして登録します。宛先を一度に指定できるので便利で す。500件までのグループが登録できます。

参考:グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。

- 2 [宛先編集] →「アドレス帳」の[登録/編集] →
 [新規登録] → [グループ] → [次へ] の順に押 してください。
- 3 「アドレス番号」の [変更] を押してください。

7		λ :						
_		名前	👹 メンバー					
	3	アドレス番号	:	自動		3	^{変更} 〉	
	0	名前	:			100	^{変更} >	
	0	フリカ・ナ	:			3	^{変更} >	
	_							
				キャンセル	戻る	لي (登録]
1	失況					111	2011/12/12	10:10

4 [+]、[-] またはテンキーで、アドレス番号 (0001~2,500) を入力してください。

参考:アドレス番号は、グループ1件ごとの識別番号です。個人登録2,000件、グループ登録500件の合計2,500件の中から、空いている番号を選択できます。

「0000」が表示されている場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

- **5** [OK] を押してください。
- **6** 「名前」の [変更] を押してください。
- 7 アドレス帳に表示されるグループ名を入力して、 [OK] を押してください。32 文字まで入力でき ます。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 力方法を参照してください。

- 8 「フリガナ」の [変更] を押してください。
- 9 グループ名のフリガナを入力して、[OK] を押し てください。32 文字まで入力できます。
- **10** [メンバー] を押してください。

- 11 [新規登録] を押してください。
- **12** グループに登録する宛先(個人)を選択してください。

参考:宛先は、フリガナやアドレス番号で検索する ことができます。

13 [OK] を押してください。

キーボードで入力してください。
全角ひらがな ♥ □ □ ✓
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - ^ ¥
qwertyuiop@f
asdfghjkl::j
z x c v b n m ·
大文字 小文字 数字・記号 スペース 変換 改行/確定
キャンセル 📣 OK
状況 2011/12/12 10:10

7۴レス:	
名前 🎸 メンバー	
メンバー:1件	
宛先	詳細
🦁 ccc	0123456789
	1/1
詳細 削除	新規登録
キャンセル 戻る よ 登録	
状况	2011/12/12 10:10
2

14 宛先を追加するときは、手順11~13を繰り返してください。
 選択した宛先がグループに追加されたことを確認

速択した宛元がクルークに追加されたことを確認 して、[登録]を押してください。アドレス帳に グループが追加されます。

15 ワンタッチキーの登録確認画面が表示されるので、[はい] または [いいえ] を選んで押してください。

[はい]を選ぶとワンタッチキーの登録画面が表示されます。次の手順に進んでください。

[いいえ]を選ぶと登録を終了します。

- **16** 登録したいワンタッチキーを選択し、[次へ] を 押してください。
- **17** 必要に応じて、「表示名」と「宛先」の[**変更**] を押して、設定を変更してください。
- 18 [登録] を押してください。

ワンタッチキーがすでに登録されている場合は、 上書登録の確認画面が表示されます。[はい]ま たは[いいえ]を押してください。

アドレス帳リストの出力

アドレス帳を登録している宛先のリストを出力できます。

リストは、宛先の見出し順とアドレス番号順から選択できます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [宛先編集] →「リスト印刷」の[次へ]の順に 押してください。
- 「ファクスリスト(見出し)」の[印刷]または
 「ファクスリスト(番号)」の[印刷]を押してください。
- 4 印刷の確認画面で [はい] を押してください。リ ストが印刷されます。



2

ワンタッチキーを使う

[宛先] 画面のワンタッチキーで、アドレス帳の宛先を呼び出すことができます。

ワンタッチキーの新規登録

ワンタッチキーにアドレス帳の宛先(個人またはグループ)を登録します。1000件まで登録できます。

宛先編集	- キ - ワン ワンタ	ッタッチキー ッチキーを登録し	ます。				
	001	5002 888	© 003 CCC	004	005	番号	
	006	007	008	009	010		登録/編集 削除
	011	012	013	014	015	1/5	
	016	017	018	019	020	$\mathbf{\vee}$	詳細
よ。 第123 第123 第123 第121212 1010							

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [宛先編集] →「ワンタッチキー」の[登録/編集]の順に押してください。
- 3 宛先を登録するワンタッチキー番号(0001~1000)を選択してください。短縮キーまたは [番号]を押すと、ワンタッチキー番号を直接入力して選択できます。

- 4 [登録 / 編集] を押してください。
- **5** 「表示名」の [変更] を押し、表示名を入力して ください。24 文字まで入力できます。

表示名を入力しないで宛先を選択すると、選択し た宛先のアドレス帳登録名が入力されます。[変 更]を押して表示名を変更してください。

6 「宛先」の[変更]を押し、アドレス帳からワン タッチキーに登録する宛先(個人またはグルー プ)を選択してください。

[**詳細**] を押すと、選択した宛先の詳しい情報が 参照できます。

参考:宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替え たり検索したりできます。

- **7** [OK] を押してください。
- 8 [登録] を押してください。ワンタッチキーに宛 先が登録されます。

登録内容の変更と削除

ワンタッチキーに登録されている宛先を別の宛先に変更したり、ワンタッチキーの登録内容を削除します。

- 参考:アドレス帳で宛先情報を変更すると、ワンタッチキーに登録されている情報が更新されます。
 - **1** システムメニューキーを押してください。
 - 2 [宛先編集] →「ワンタッチキー」の[登録/編集]の順に押してください。
 - 編集するワンタッチキー番号 (0001~1000)を選択してください。短縮キーまたは [番号] を押すと、ワンタッチキー番号を直接入力して選択することができます。
 - 4 登録内容を変更してください。

表示名を変更する場合

- 1 [登録/編集]を押してください。
- **2** 「表示名」の [変更] を押して、表示名を入 力し直してください。

別の宛先に変更する場合

- 1 [登録/編集]を押してください。
- 2 「宛先」の [変更] を押して、新しい宛先 (個人またはグループ)を選択してください。
 表示名の [変更] を押して [バックスペース] で空欄にしておき、宛先の [変更] を押して 新しい宛先を選択すると、表示名が自動的に 入力されます。
 [詳細] を押すと、選択した宛先の詳しい情 報が参照できます。

参考:宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ 替えたり検索したりできます。

- **3 [OK]**を押してください。
- 4 [登録] を押してください。
- 5 変更の確認画面で [はい] を押すと、ワン タッチキーに宛先が登録されます。

登録内容を削除する場合

- 1 [削除]を押してください。
- 2 削除の確認画面で [はい] を押すと、ワン タッチキーの登録内容が削除されます。

3 ファクスの操作方法(基本編)

この章では、基本的なファクスの使いかたを説明します。

- エンターキー、短縮キーについて…3-2
- 自動送信する3-3
- 自動受信する(ファクス専用自動受信)....3-11
- 通信を中止する ... 3-13
- 宛先をアドレス帳から選ぶ3-15
- 宛先をワンタッチキーで選ぶ ...3-19
- 同じ相手に再送信する(リダイヤル)…3-21
- 送信する原稿のイメージを確認する ...3-22
- 簡単設定画面について ... 3-24
- ショートカット登録 ...3-26

エンターキー、短縮キーについて

操作パネルにあるエンターキー、および短縮キーの使いかたについて説明します。

エンターキー (📿) の使いかた

エンターキーは、タッチパネルに表示される [OK]、[閉じる] などのキーと同じ働きをします。

同じ働きをするキーには、[」 OK] や[」 閉じる] のように、エンターのマーク(」) が表示されます。 日付と時刻の設定を例に、エンターキーの使いかたを説明します。詳しい操作手順は、2-4 ページの日付と 時刻を設定するを参照してください。



日付/時刻の設定画面で、日付と時刻を [+] または [-] で入力してください。

タッチパネルの [OK] キーには、エンターの マーク(」)が表示され、エンターキーが [OK] と同じ働きをすることを示しています。

日付と時刻を決定するときは、エンターキー(または [OK])を押してください。

短縮キー(🛄)の使いかた

短縮キーは、送信するときの送り先を短縮番号で指定したり、登録したプログラムをプログラム番号で呼び 出すときなど、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。

タッチパネルに表示されている [番号] と同じ働きをします。

短縮番号を指定して送り先を選択する場合を例に、短縮キーの使いかたを説明します。短縮番号については、3-20ページの**番号キーを使う**を参照してください。



- ファクスの基本画面で、短縮キー(または [番号])を押してください。
- **2** 番号入力画面で、短縮番号をテンキーで入力して ください。

参考:短縮番号を4桁で入力した場合は、手順3の 操作は不要です。送信の基本画面が表示され、指定 された送り先が宛先リストに表示されます。

3 短縮番号を1桁~3桁で入力した場合は、エンター キー(または [OK])を押してください。

指定した送り先が宛先リストに表示されます。

自動送信する

テンキーを使った一般的な送信方法を説明します。

参考:インターネットファクス送信の場合は、8-7 ページのインターネットファクス送信を参照してくだ さい。

ファクス画面への切り替え

(1) ファクス送信できます。 ^{死先を入力してください。}							^{宛先数} 0
·				C	01/001	$\langle \rangle$	 ビアドレス帳 新規ファクス
ポーズ	スペース			バック スペース			
オンフック	ダイレクト チョ	エーン	¥細]	削除	, A	宛先	☴ 宛先確認
0001 AAA	© 0002 BBB	© 0003 CCC	© 000 DDD	14 😡 EEE	0005	番号	
© 0006 FFF	© 0007 GGG	0008 HHH	© 000 III	ULL 0	0010	1/100	
宛先	簡単設定	原稿/ 送信形	, 式	画質	応用	月/その他	プログラム

ファクスの基本画面が表示されていることを確認 してください。

ファクスの基本画面でないときは、**ファクス**キー を押してください。ファクスの基本画面が表示さ れます。

送信方法の選択

送信方法には、メモリー送信とダイレクト送信の2つがあります。初期状態ではメモリー送信です。

メモリー送信

メモリー送信は、原稿をメモリーに読み込んでから通信を開始します。

原稿送り装置に原稿をセットする場合:

原稿送り装置にセットした原稿を読み込み、メモリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。送信の完了 を待たずに原稿を手元に戻すことができるため、非常に便利です。複数ページのシート原稿の送信に適して います。

原稿ガラスに原稿をセットする場合:

原稿送り装置にセットできないブック原稿などの送信に適しています。原稿ガラスにセットした原稿をメモ リーに記憶した後に相手先にダイヤルします。

参考:連続読み込みが設定されている場合は、原稿ガラスの原稿をメモリーに記憶した後、続けて次の原稿を読み込むことができます。1ページ読み込むごとに、読み込み継続の操作を行い、すべての原稿をメ モリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。

ダイレクト送信

ダイレクト送信は、相手先にダイヤルし、通信を開始してから原稿を読み込みます。1回の送信で指定でき る宛先は1件です。

原稿送り装置に原稿をセットする場合:

相手先と回線がつながってから、原稿送り装置にセットされた原稿の読み込みを開始します。複数ページの 原稿がセットされている場合は、1ページ分の原稿を送信してから、次のページを読み込みます。 原稿ガラスに原稿をセットする場合:

原稿送り装置にセットできないブック原稿などの送信に適しています。相手先と回線がつながった後、原稿 ガラスにセットした原稿を読み込んで送信します。

参考:連続読み込みが設定されている場合は、原稿ガラスの原稿を送信した後、続けて次の原稿を読み込 むことができます。1ページ送信するごとに、読み込み継続の操作を行います。

宛先数

001/001

バックスペース

FEE

JJJ

0004 😡

0009 🐚

詳細

0003

0008 😡

原稿/ 送信形 0

DDD

 \sim

0

応用/その他

再宛先

0005 番号

0010 1/10

🕛 アドレス帳

▶ 新規ファクス

≣ 宛先確認

プログラ

n



ダイレクト送信を選択する場合は、次の手順を 行ってください。

1 [応用 / その他] → [ファクスダイレクト送信] の 順に押してください。

- 2 [設定する] を選択してください。
- **3** [OK] を押してください。

送信方法は、ファクスの基本画面からも選択する ことができます。

ファクスの基本画面で、**「ダイレクト**]を押して ください。送信方法がダイレクト送信になり、 タッチパネル上のキー表示が反転されます。キー 表示が反転した**「ダイレクト**]を押すと、送信方 法がメモリー送信になります。

原稿のセット

ファクス送信できます。

スペース

0002

簡単設定

000

オンフック ダイレクト

BBB

© 0006 © 0007 © FFF GGG HH

000

宛先

【倡

ポーズ

A A A



原稿ガラスまたは原稿送り装置に原稿をセットし てください。原稿をセットする方法は、本体の使 用説明書を参照してください。

参考:原稿サイズが B5 の場合、原稿を横向き (B5-R) にセットすると、A4 サイズ(横向き: A4-R) で送信します。

相手先のダイヤル



1 [新規ファクス] を押してください。

- テンキーを使って相手先のファクス番号を入力してください。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を [設定しない] に設定している場合は、番号入力後、[OK] を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定する]
 に設定している場合は、番号入力後、[OK] を押
 すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号
 を入力して [OK] を押してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次の ファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認画面の設定については、本体 の使用説明書の新規宛先の入力確認画面の設定を 参照してください。

相手先のファクス番号は64桁まで入力できます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力され ます。

[く] または [>] を押すと、カーソルが移動します。

番号を訂正するときは、タッチパネルの[バック スペース]を押して1文字ずつ削除し、入力し直 してください。すべて削除するときは、操作パネ ルのクリアキーを押してください。

が表示されているときは、入力した内容
をアドレス帳に登録することができます。

「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、4-57ページのファクス番号のテンキー入力を禁止するを参照してください。

[ポーズ] について

このキーを押すとダイヤル時に約3秒の待ち時間 が挿入されます。たとえば、0発信(構内交換機 を使用して内線から外線への発信)するときや、 情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時 間の挿入に使用します。

[**オンフック**] について

このキーを押すと電話回線に接続します。

ファクス番号が入力されている場合は、相手先に ダイヤルを開始します。

このキーを押してから、テンキーを使って相手先 にダイヤルすることもできます。詳細は、4-13 ページの相手先に電話して手動で送信する【手動 送信】を参照してください。

テンキー以外のダイヤルのしかた

- 宛先をアドレス帳から選ぶ (3-15ページ参照)
- 宛先をワンタッチキーで選ぶ(3-19ページ参照)
- 番号キーを使う(3-20ページ参照)
- 手動リダイヤル(再宛先呼び出し)(3-21 ページ参照)

3

詳細設定

相手先に対応した通信の設定ができます。ほかにも、原稿の濃度、画質、解像度、およびサイズの設定ができます。



[詳細] ボタンを押して各設定にある [変更] キーを押して設定を変更し、[OK] を押してくだ さい。

変更が終わったら、[OK] → [OK] の順に押し てください。

+-	説明
F ユー ド	F コードを使って通信するときは、このキーを押してください。詳細は、 4-44 ページの F コードを使って通信する【F コード通信】を参照してく ださい。
送信開始速度	設定している送信開始速度が相手先機で対応していないときは、ファク スを正しく送信できないことがあります。そのときは、送信開始速度を 低く設定してください。送信開始速度を変更するときは、このキーを押 してください。33600 bps、14400 bps、9600 bps から選択できます。
ECM	ECM 通信は、通信中にノイズなどの影響を受けて正しく送信できなかったときでも、影響を受けたデータのみを自動的に送信し直して画像の乱れを防ぐ機能です。ECM 通信の設定を変更するときは、このキーを押してください。
暗号送信	暗号通信を使って送信するときは、このキーを押してください。詳細は、 6-29ページの原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】を参照して ください。

濃度の選択

原稿読み込み時の濃度を調整します。



- [画質]を押し、[濃度]を押してください。[プレ ビュー]を押すと、送信画像のプレビューを参照 できます。詳細は 3-22 ページの送信する原稿の イメージを確認するを参照してください。
- 濃度を選択してください。濃度(-3~+3)は、13
 段階まで調整できます。簡単設定から濃度を調整 するときは、7段階の調整になります。[その他 詳細]を押すと、13段階まで調整できます。

3 [OK] を押してください。

画質の選択

原稿の種類に合わせて画質を選択します。



- **1** [画質] を押し、[原稿の画質] を押してくださ い。[プレビュー]を押すと、送信画像のプレ ビューを参照できます。詳細は 3-22 ページの送 信する原稿のイメージを確認するを参照してくだ さい。
- 2 画質を選択してください。
 - 文字+写真: 文字と写真が混在する原稿の場 合。
 - 写真:写真原稿の立体感を出す場合。
 - 文字:えんぴつや細線をくっきり再現する場 合。 文字を選択した場合、OCR 画面が表示 されます。OCR アプリケーションソフ ト(画像として取り込んだデータをテ キストデータに変換するソフトウェア) での読み込みに適した画質にする場合 は「使用する」を、しない場合は「設 定しない〕を押してください。
- **3** [OK] を押してください。

解像度の選択

送る原稿に適した解像度を選択します。工場出荷時は200×100 dpi(ノーマル)に設定されています。解像度 を高くすると画像は鮮明になりますが、送信時間は長くなります。

1

- [画質]を押し、[ファクス送信解像度]を押して ください。[プレビュー]を押すと、送信画像のプ レビューを参照できます。詳細は 3-22 ページの 送信する原稿のイメージを確認するを参照してく ださい。
 - 2 解像度を選択してください。
 - 200×100 dpi (ノーマル): 普通の大きさの文字の 原稿を送るとき 文字の大きさの目安: 10.5 ポイント (サンプル:解像度 解像度)
 - 200×200 dpi (ファイン):比較的小さい文字や細 い線のある原稿を送るとき 文字の大きさの目安:8ポイント (サンプル:解像度 解像度)
 - 200×400 dpi (スーパーファイン): 微細な文字や 線のある原稿を送るとき 文字の大きさの目安:6ポイント (サンプル: 解像度 解像度)



- 400×400 dpi (ウルトラファイン): 微細な文字や 線のある原稿をさらにきれいに送るとき 文字の大きさの目安:6ポイント (サンプル:_{解像度} _{解像度})
- 600×600 dpi:微細な文字や線のある原稿をできる 限りきれいに送るとき 文字の大きさの目安:6ポイント (サンプル:m@ge m@ge)

200×400 dpi(スーパーファイン)以上で送信する場 合、受信側のファクスもそれらの画質で受信できる必 要があります。受信側がその機能を備えていない場合 は、200×200 dpi(ファイン)の画質で送信されます。

3 [OK] を押してください。

原稿サイズの変更

送信する原稿サイズを設定します。

1 [原稿/送信形式]を押し、[原稿サイズ]を押し てください。原稿サイズ設定画面が表示されます。

参考:原稿サイズを設定せずにスタートキーを押す と、送信する前に原稿サイズ設定画面が表示されま す。

2 原稿サイズを選択してください。

項目	方法	サイズ
定形サイズ 1	原稿のサイズを自動検知させ るか、または定形サイズから 選択します。	自動、A3、A4-R、A4、A5-R、A5、A6、B4、 B5-R、B5、B6-R、B6、216×340mm
定形サイズ2	定形サイズ1以外の定形サイ ズから選択します。	Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、 Statement、11 × 15"、Oficio II、Folio、8K、 16K-R、16K
その他	封筒、はがき、カスタム原稿 サイズ*から選択します。	はがき、往復はがき
サイズ入力	定形サイズ 1、2 に表示されて いないサイズを入力します。*	センチ よこ : 50 ~ 432 mm(1 mm 単位)、 たて : 50 ~ 297 mm(1 mm 単位)
		インチ よこ:2~17" (0.01" 単位)、 たて:2~11.69" (0.01" 単位)

* 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。詳しくは本体の**使用説明書**を参照 してください。

参考:読み込み解像度はファクス送信解像度と等しいか、ファクス解像度より高く設定する必要がありま す。ファクス送信解像度を読み込み解像度より高く設定した場合、読み込み解像度が自動的に、ファクス 送信解像度と同じ設定に変更されます。

3 [OK] を押してください。

3

送信スタート

スタートキーを押してください。送信が開始され ます。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

送信状況の確認



	状況			予約ジョブ			履歴	
ジョブ種	類 すべて	5	\mid					
香号	受付時刻	種類	宛	!先	#	-名	状況	
438	14:47	01	23456789			匆	心理中	^
439	14:50	01	23456779			1	寺機中	
								1/1
								\sim
中止		優先送信				詳細		
印刷シ	ジョブ	送信ジ	דבי	保存ジョブ	デバ	イス/通信	用紙/	消耗品
印刷シ	ジョブ	送信シ	ョブ	保存ジョブ	デバ	イス/通信	用紙/	消耗品

予約ジョブ 履歴 状況 ジョブ種類 すべて \geq 受付時刻 |種類| ~ 1/1 V 中止 **そ先送信** 詳細 デバイス/通信 用紙/消耗品 保存ジョブ 送信ジョフ

- 1 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 2 [送信ジョブ] を押してください。

受付時刻や宛先、状況がジョブごとに一覧表示さ れます。

待機中のジョブを優先して送信するには、送信 ジョブ確認画面で、ジョブを選択して[優先送 信]を押し、[はい]を押してください。

参考:送信中のファクス送信ジョブがある場合 は、送信中のジョブが終了してから優先送信を 設定したファクス送信ジョブを送信します。

送信を中止するには、送信ジョブ確認画面で、 ジョブを選択して [**中止**]を押してください。

中止の確認画面で、[はい]を押してください。

参考:原稿読み込み中は、送信画面で操作パネ ルのストップキーを押すと、送信を中止しま す。

送信を中止しても、中止するまでに送信された ファクスは相手の方に届く場合があります。 誤って受信していないか相手の方に確認してく ださい。

自動受信する(ファクス専用自動受信)

本機で電話を受けずにファクス専用として使用する場合は、ファクス専用自動受信にしてください。受信時には特に操作の必要はありません。

受信方法について

本機の受信方法には次の4種類があります。

- ファクス専用自動受信 [自動(普通)]
- ファクス / 電話自動切替受信 [自動 (ファクス / 電話)] (6-7 ページ参照)
- ファクス / 留守番電話自動切替受信 [自動(留守番電話)](6-9ページ参照)
- 手動受信 [手動] (4-15 ページ参照)

受信方法の確認と変更

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「受信方式」の[変更]の順 に押してください。
- **3** [自動(普通)] を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

受信開始

ファクスが送られてくると、登録された回数の呼び出し音が鳴った後、受信を開始します。
 受信が始まると、受信ランプが点滅します。

参考:呼び出し音が鳴る回数は変更することができ ます。(6-11ページの呼び出しベルの回数を変更す る【ベル回数】を参照)

受信を中止するときは、3-14ページの送/受信の中止(通信の切断)を参照してください。

代行受信とは

用紙切れや紙づまりなどで印刷できない場合、本機は 送られてきた原稿をいったん画像メモリーに記憶しま す。そして印刷可能な状態になると、印刷を行いま す。

保存できる枚数は原稿によって変りますが、目安として、解像度ノーマルでA4サイズ原稿が約700枚保存できます。

代行受信が行われると、状況確認画面の印刷ジョブに ファクス受信印刷ジョブが表示されます。受信原稿を 印刷するときは、用紙を補給するか、紙づまりを解除 してください。

参考:状況確認画面については本体の使用説明書を 参照してください。

受信印刷



2 受信した原稿は、印刷された面を下にして内部ト レイまたはジョブセパレータートレイに排出され ます。内部トレイの収納枚数は普通紙(80 g/m²) で250枚、ジョブセパレータートレイの収納枚数 は普通紙 (80 g/m²) で 30 枚までです。ただし、 使用用紙の状態により収納枚数は変わります。 また、手差しトレイに用紙をセットしてファクス を印刷することもできます。手差しトレイでは、 カセットにはセットできないサイズや種類の用紙 にもファクスを印刷できます。 手差しトレイの用紙を使ってファクスを印刷する 設定については、6-18 ページの手差しトレイの使 用 / 不使用を選択する【手差しトレイ受信】を参 照してください。 手差しトレイにセットする用紙の種類について は、6-16ページの使用する用紙の種類を限定する 【受信用紙種類】を参照してください。

重要:収納可能な枚数は、排紙先によって異なりま す。本体の使用説明書を参照してください。収納可 能な枚数を超えるときは、内部トレイまたはジョブ セパレーターの用紙をすべて取り出してください。

用紙切れや紙づまりなどで本機が印刷できない状態 であっても、受信は行われます。(代行受信)

通信を中止する

本機で通信を中止する方法は、送信方法(メモリー送信またはダイレクト送信)や通信形態によって異なります。ここでは、さまざまなケースでの中止方法を説明します。

メモリー送信(原稿読み込み中)の中止

メモリー送信で、原稿の読み込みを中止するには、操 作パネルのストップキーまたは、タッチパネルの[中 止]を押してください。原稿の読み込みを中止し、原 稿を排出します。原稿送り装置に原稿が残っていると きは、原稿排紙テーブルから取り出してください。

メモリー送信(通信中)の中止

メモリー送信で、原稿の読み込みが終了して通信が開始した後に中止するには、次の手順で行ってください。

参考:回線を切って、送/受信を中止させることができます。詳細は、3-14ページの送/受信の中止(通 信の切断)を参照してください。

送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って受信していないか相手の方に確認してください。

	状況			予約ジョブ		履歴	ž 📄
ジョブ種券	頃 すべて						
番号	受付時刻	種類		宛先	-د	ザー名 状	况
438	14:47	99	0123456789			処理中	
					1		1/1
							\sim
中止		是先送	8			詳細	
印刷ジ	ョブ	送	信ジョブ	保存ジョブ	Ť	バイス/通信	用紙/消耗品
	ジョブ種 新号 438 中止 印刷ジ 状況	状況 ジョブ種類 すべて 高号 炎付時刻 438 14.47 	状況 ジョブ種類 すべて 書号 受付参約 438 14.47 中止 B先送付 印刷ジョブ 送 状況	状況 ジョブ種類 すべて 専号 受付時期 単加 0123456789 日 0123456789 日 0123456789 中止 B先送信 印刷ジョブ 送信ジョブ	状況 予約ショブ ジョブ種類 すべて 第月 先付時刻 438 14.47 14.47 季 0123456789	状況 予約ジョブ ジョブ種類 すべて 第号 先付時刻 単数 第先 438 14.47 14.47 100	状況 予約ジョブ 展開 ジョブ種類 すべて ジョブ種類 第先 ユーザー名 秋 書号 炎付時刻 堆刻 完先 ユーザー名 秋 438 14.47 10123456789 単端 中止 10123456789 10123456789 10123456789 印刷ジョブ 送信ジョブ 第細

- 1 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 2 [送信ジョブ] を押してください。
- 3 中止したいジョブを選択して [中止] を押してく ださい。

中止の確認画面で、[はい]を押してください。 通信が中止されます。

タイマー送信(待機中)の中止と即時送信

タイマー送信で待機中のジョブを中止する、または指定時刻を待たずに今すぐ送信するには、次の手順で 行ってください。

- 1 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- [送信ジョブ] → [予約ジョブ] の順に押してく ださい。

状	況確認							
		状況			予約ジョブ		履歴	
	番号	受付時刻	種類		宛先	ユーザー名	開始時刻	
	0007	9:30		A OFFICE			12:00 🕐	
	<u> </u>					1	1	1/1
	<u> </u>							
								\sim
ĺ	中止 今すぐ開始 詳細							
	印刷ジ	ヨブ	送信	ジョブ	保存ジョブ	デバイス/通	i信 用紙	/消耗品

3 中止するときは、中止したいジョブを選択して [中止]を押してください。 中止の確認画面で、[はい]を押してください。 送信が中止されます。 即時送信するときは、送信したいジョブを選択して [今すぐ開始]を押してください。 送信の確認画面で、[はい]を押してください。

送信が開始します。

ダイレクト送信の中止

ダイレクト送信で、送信中に中止するときは、操作パネルのストップキー、またはタッチパネルの[キャン セル]を押してください。読み込み中の原稿を排出し、送信の初期画面に戻ります。原稿送り装置に原稿が 残っているときは、原稿送り装置から取り出してください。

参考:送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って 受信していないか相手の方に確認してください。

送/受信の中止(通信の切断)

通信中の回線を切って、送信または受信を中止するときは、次の手順で行ってください。

参考:ファクスキットを2台装着しているときは、通信中の回線を選択して切断します。

送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って受信していないか相手の方に確認してください。



- **1** 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 2 [デバイス/通信]を押してください。
- 「ファクス回線 1」または「ファクス回線 2」(オプション)の[回線を切る]を押してください。
 中止の確認画面で、[はい]を押してください。
 通信中の回線を切ります。

ポーリング送信 /F コード掲示板送信の中止

ポーリング送信 /F コード掲示板送信を中止するには、ポーリングボックス内に保存されているポーリング送 信用原稿を削除してください。削除方法は、4-56 ページのポーリングボックスからの削除のしかたを参照し てください。

3

宛先をアドレス帳から選ぶ

アドレス帳に登録されている送り先を選択します。

参考:送信キーを押したときに、アドレス帳の画面を表示するように設定することができます。詳しくは、本体の使用説明書の送信の初期画面の設定を参照してください。





(信) ファクス ^{宛先を入力して}	^{宛先数} 0	
© OFFICE 1234568907	001/001	
ポーズ スペース		
© 0001 AAA BBB	002 0003 0004 0005 EEE	■ 宛先確認
© 0006 FFF GGG	007 0008 0009 0000 JJJ	1/100
宛先簡単	設定 原稿/ 画質 応用/ 送信形式	その他 プログラム

1 ファクスの基本画面で、[**アドレス帳**] を押して ください。

2 リストの中から、チェックボックスを押して送り 先を選択してください。送り先は複数選択できま す。選択された送り先はチェックボックスに チェックマークがつきます。LDAPのアドレス帳 を使用する場合は、「アドレス帳」の[拡張アド レス帳]を選択してください。 「表示順」のプルダウンメニューから[フリガ ナ]、[番号]を選択すると、送り先のリストを並 べ替えることができます。

参考:選択を解除するときは、チェックボックスを 押してチェックマークを消してください。 拡張アドレス帳については、Command Center RX 操作手順書を参照してください。

[OK] を押してください。
 選択した送り先が宛先リストに登録されます。

参考:登録した送り先を削除するときは、その送り 先を選択して[削除]を押してください。

「表示順」の初期値を変更することができます。詳 しくは、本体の使用説明書の表示順の設定を参照し てください。

送り先の検索

アドレス帳		
アドレス帳アドレス帳	▶ 表示順 フリガナ	\otimes
宛先 番号 種類 名前	詳細	
0001 😡 A OFFICE	1234567890	フリガナ検索
0002 🧕 B OFFICE	1234568907	番号検索
0003 😳 C OFFICE	1234569078	1/2 アドレス帳
0004 🐚 D OFFICE	1234568790	登録/編集
0005 😡 E OFFICE	1234568860	
b h t t t	は ま や ら わ 0-9	A-Z
-	779ス	¥ グループ
	++>+	th N OK
		2011/12/12 10

アドレス帳に登録された送り先の検索や絞り込み検索ができます。

使用するキー	検索方法	検索語句など
1	フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。
2	番号検索	登録されているアドレス番号で検索します。
3	送り先タイプ絞り込み検索	登録されている送り先の種類(メール、フォル ダー(SMB/FTP)、ファクス、インターネットファ クス、グループ)で絞り込み検索します。
		アドレス帳を表示したときに、送り先の種類が選 択されているように設定することができます。詳 しくは、本体の 使用説明書 の送り先タイプ絞り込 みの設定を参照してください。
4	頭文字絞り込み検索	登録されている名称の頭文字で絞り込み検索しま す。

フリガナ検索

[フリガナ検索]を押して、検索したいフリガナを入力してください。

番号検索

[番号検索]を押して、検索したいアドレス番号を入力してください。

送り先タイプ絞り込み検索

[ファクス] または [グループ] を押してください。その種類が登録されている送り先が表示されます。

頭文字絞り込み検索

頭文字の絞り込み検索には、かな検索、アルファベット検索、および数字検索があります。

3

かな検索



検索したい頭文字がある行のキー([**あ**] ~ [**わ**])を 押すと、その行の列(例:たちつてと)のキーが表示 されます。表示された列のキーを押すと、その文字で 始まる送り先が宛先リストに表示されます。

例えば、"ち"から始まる送り先を検索する場合、 [た]を押して [ち]を押してください。"ち"で始ま る送り先が宛先リストに表示されます。

• アルファベット検索

アルファベット検索キー [A-Z] を押すと、かな検索のキー([**あ**] ~ [**わ**])が [ABC]、[DEF] ... のアルファベットのキーに変わります。検索したい頭文字があるアルファベットのキーを押すと、それらの文字で始まる送り先が宛先リストに表示されます。

例えば、"M"から始まる送り先を検索する場合、[A-Z]を押して [MNO] を押してください。"M、N、O" から始まる送り先が宛先リストに表示されます。

* アルファベット検索の間、[A-Z] キーは [かな] の表示に変わります。[かな] を押すとかな検索ができ る画面に戻ります。

数字検索

数字検索キー [0-9] を押すと、数字で始まる送り先が宛先リストに表示されます。

登録内容の変更と削除

登録した宛先(個人)やグループの内容変更/削除ができます。

宛先編集 - アドレス帳				
	表示順	フリガナ	\otimes	
番号 種類 名前	1	詳細		
0001 🥵 ABCDE				
0003 🛔 CCCCC	ccccc		\square	番号検索
			1/1	新規登録
			\sim	詳細
あかさたなは	ま や (5 7 0-9 A	-z	削除
🚪 個人 🕌 グループ				
			لع	閉じる
状況				2011/12/12 10:10

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [宛先編集] →「アドレス帳」の[登録/編集]の 順に押してください。
- 3 編集する宛先またはグループを選択してください。

参考:宛先とグループは、フリガナ、アドレス番号 で並べ替えたり検索したりできます。

4 [詳細] を押してください。

5 個人登録の宛先またはグループを編集 / 削除して ください。

個人登録の宛先を編集する場合

「アドレス番号」、「名前」、「フリガナ」、送信先の ファクス番号や送信詳細設定を変更してくださ い。変更方法は、個人登録(ファクス)の手順3 ~23、または個人登録(インターネットファク ス)の手順3~17を参照してください。

グループを編集する場合

- 「アドレス番号」、「名前」、「フリガナ」を変 更してください。変更方法は、グループ登 録の手順3~9を参照してください。
- **2** [メンバー] を押してください。
- 3 グループに宛先を追加する場合は、[新規登録]を押してください。追加方法は、グループ登録の手順12~13を参照してください。
 グループから宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択して[削除]を押してください。
 削除の確認画面で[はい]を押すと、削除されます。
 [詳細]を押すと、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

個人登録の宛先またはグループを削除する場合

[削除]を押してください。削除の確認画面で [はい]を押すと削除されます。

6 [登録] を押してください。変更の確認画面で [はい] を押してください。登録内容の変更や削 除がアドレス帳に反映されます。

宛先をワンタッチキーで選ぶ

	宛先数 1	
© ннн 123456890	^{001/}	001 アドレス帳 アドレス帳 参 新規ファクス
ポーズ スペ オンフック ダイレク	ース く / バック スペース ト チェーン 詳細 削除 (再宛先 萬宛先確認
0001 00 AAA BBB	0002 0003 0004 00 CCC DDD EEE	05 番号
Image: Second state FFF GGG	0007 V 0008 0009 00 00 JJJ	
兜九 状況	^{御単設定 原稿/} 闘員 送信形式	wの用/その他 プログラム 2011/12/12 10:10

ワンタッチキーで送り先を選択できます。

[**宛先**] 画面で、送り先が登録されているワンタッチ キーを押してください。

参考:タッチパネル上に宛先のワンタッチキーが表示されていない場合は、右の [∧] / [∨] を押してください。次 / 前のワンタッチキーが表示されます。

3

番号キーを使う

4桁(0001~1000)のワンタッチキー番号(短縮番号)を指定して、宛先を選択できます。

参考:ワンタッチキーの登録方法は、2-15ページのワンタッチキーを使うを参照してください。



[宛先] 画面で短縮キーまたは [番号] を押し、番号 入力画面にワンタッチキー番号をテンキーで入力後、 [OK] を押してください。

参考:1桁、2桁または3桁のワンタッチキー番号 を入力する場合は、先頭の0は省略できます。 (例:1や01の入力ができます)

同じ相手に再送信する(リダイヤル)

リダイヤルは、直前に入力された番号にもう一度ダイヤルする機能です。

自動リダイヤル

送信しようとしても相手先が応答しないときに、本機が自動的にダイヤルし直す機能です。

自動リダイヤルに特に設定は必要ありません。一定の間隔をあけて繰り返し行われますので、相手先の通信 が長引いた場合でも安心です。

参考:ダイレクト送信時は、自動リダイヤルは行われません。

自動リダイヤルの回数は、0~14回の間で変更できます。詳細は、6-13ページのリダイヤルする回数を変 更する【リダイヤル回数】を参照してください。

リダイヤル待機中の即時送信はできません。

手動リダイヤル(再宛先呼び出し)

送信を試みたが、相手先が応答しない。もう一度同じ相手先にファクスしたい。そんなときに[**再宛先**]を 押すと、直前にダイヤルした相手先を宛先リストに呼び出すことができます。

(信) ファクス ^{宛先を入力し[・]}	アクス送信できます。 ^{先を入力してください。}					
	-		001/001		D アドレス帳 新規ファクス	
オンフック	^			月 宛先	≣ 宛先確認	
0001 BBB	0002 0003 CCC	0004 DDD	0005 EEE	番号		
90006 FFF GGG	0007 0008 HHH	₩ 0009 III	90010 😡	1/100		
宛先 簡直	単設定 原稿/ 送信形	一直	質応	用/その他	プログラム	

1 [再宛先] を押してください。直前の相手先が宛 先リストに表示されます。

参考: 直前の送信が同報送信やコンピューター、 メールなどの宛先を含んでいる場合は、それらもあ わせて表示されます。必要に応じて相手先の追加や 削除などを行ってください。

2 スタートキーを押してください。送信を開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

次の条件で再宛先情報は破棄されます。

・電源を切ったとき

・次の送信操作を行ったとき(新しい再宛先情報が 登録されます。)

・ログアウトしたとき

3

送信する原稿のイメージを確認する

読み込んだ原稿のプレビューをタッチパネル上に表示して、送信画像を確認することができます。

(1) ファクス送信できます。 宛先数 × 送信イメージ センター移動 -•• 枠消し ◎ 縮小/拡大 ファクス タイマー送信 AB COS **___** OK! 連続読み込み ◎ 文書名入力 ジョブ 終了通知 ファクス ダイレクト送信 ✓ 資
○ 送信控え印刷 送信控え保存 ◎ ファクス ポーリング受信 プレビュー 原稿/ 送信形式

プレビュー: 2007040410574501	
	サイズ : A4 「 一 解像度 : 200x100dpi
状況	2011/12/12 10:10

- **1** 3-3 ページの自動送信するを参照して、送信の準備をしてください。
- 2 [簡単設定] 画面、[原稿/送信形式] 画面、[画 質] 画面、[応用/その他] 画面のうち、いずれ かの画面の左側にある [プレビュー] を押してく ださい。

原稿を読み込み、プレビューを表示します。

[詳細表示]を押すと、プレビュー画面が表示されます。[@]を押すと拡大し、[@]を押すと 縮小します。拡大表示中は、[^]、[~]、[<]、 [>]を押して、表示部分を移動できます。

参考:次の送信機能が変更されている場合は、その 結果がプレビューに反映されます。送信機能の詳細 については、3-3ページの自動送信する、または4-1 ページのファクスの操作方法(応用編)を参照して ください。

- 解像度の選択
 原稿セット向き
- 濃度の選択
- 原稿サイズ選択
 - 《選択 ・ 枠消し
- 送信サイズ選択
 縮小/拡大

原稿送り装置に複数ページの原稿をセットしている 場合は、すべての原稿を読み込み、1枚目のプレ ビューを表示します。[詳細表示]を押すと、読み 込んだすべてのページのプレビュー画面を表示させ ることができます。[~]を押すと、読み込んだ順 にプレビューを表示します。

プレビューが表示されている間は、送信機能を変更 できません。

- 送信機能を変更する場合はストップキー、または[中止]を押してください。プレビューが削除されて、宛先がキャンセルされます。送信機能を変更し、宛先を選択すると、再度プレビューを表示できます。
- 送信する場合はスタートキーを押してください。
 送信が開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、本体の使用説明書の送信前の宛先確認画面の設定を参照してください。

原稿送り装置を使用して、再度プレビューを表示す るときは、原稿をセットしなおしてください。

ポーリング送信時にも同様のプレビューが参照でき ます。この場合は、スタートキーを押すと原稿を読 み込み、ポーリングボックスに保存します。ポーリ ング送信の詳細については、4-49ページのポーリン グ送信を参照してください。

次の場合はプレビューを表示できません。

- 原稿混載モードを使用している場合
- ダイレクト送信時
- ポーリング受信時
- 長尺原稿の設定を「設定する」にしている場合

簡単設定画面について

ファクスの基本画面で[簡単設定]を押すと、一般的によく使われるファクス送信の設定をまとめた簡単設 定画面が表示されます。



参考:簡単設定画面で設定できる項目は、簡易的な設定です。

詳細な設定を行う場合は、[簡単設定] 画面、[原稿 / 送信形式] 画面、[画質] 画面、[応用 / その他] 画 面から行ってください。

簡単設定画面に登録できる機能

簡単設定画面に登録されている機能と、登録できる機能は次のとおりです。

出荷時に登録されている機能	登録できる機能
1: 原稿のサイズ	• 原稿サイズ
2: ファクス送信解像度	 ・ 送信サイズ ・ 濃度
3: 濃度	• ファクス送信解像度
4: 両面/見開き原稿	連続読み込み両面/見開き原稿
5: 連続読み込み	• 原稿セット向き
6: 原稿の画質	 原稿の画質 縮小/拡大

3

登録変更のしかた



簡単設定画面で、あらかじめ登録されている「濃
度」の代わりに「縮小 / 拡大」機能を登録する場
合を例に、操作方法を説明します。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「簡単設定登録」の[次へ] →
 「縮小/拡大」の[変更]の順に押してください。
- **3**入れ替える位置のキー、ここでは [キー 3] を押 してください。

4 [OK] を押してください。確認画面が表示されますので [はい] を押してください。新しく [縮小 / 拡大] が登録されます。

 ファクス - 縮小/拡大 ・ 縮小/拡大機能を簡単設定画面に登録します。 	
設定しない キー1 キー2 キー4 キー5 キー6	
<u>+</u>	ンセル (J OK

ショートカット登録

簡単設定画面にショートカットを登録し、よく使う機能を簡単に呼び出すことができます。登録したショー トカットキーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。ショートカットは6つまで登録できます。

印刷を開始する」 設定を変更する	場合はスタートキーを 場合は[中止]を押して	を押してください。 ください。		^{部数} 1
⊐ピ-1≯-ジ A				
原稿 : A4 倍率 : 100%	自動	100% 縮小/拡大	ふつう	ショートカット 4 ヹ ショートカット 5
用紙 : A4 ■ 中止	片面→片面	 設定しない ページ集約 	設定しない ステープル	 ショートカット 6
簡単設定 原稿/ /仕_	用紙 カラー/面 上げ	回賀 レイアウト/ 編集	応用/その他	プログラム 2011/12/12 10:10

ショートカットの登録

ショートカットの登録は、各機能の設定画面で行います。画面に [ショートカットに登録] が表示される機 能はすべて、ショートカットに登録できます。

ショートカットを登録する操作手順は、次のとおりです。



- 1 各機能の設定画面で、登録したい状態を設定して から、[ショートカットに登録]を押してください。
- 2 登録するショートカット番号 (01 ~ 06) のキーを 押してください。

参考: すでに登録されているショートカット番号を 選択すると、新しいショートカットに置き換えるこ とができます。

3 名前を入力し、[登録]を押してください。登録 したショートカットが追加されます。

ショートカットの変更と削除

ショートカットの番号/名前の変更や、ショートカット削除の手順は次のとおりです。

- 1 各機能の設定画面で、画面下の [ショートカット に登録]を押してください。
- [編集]を押して、変更または削除するショート カット番号(01~06)のキーを選択してください。
- 3 変更する場合は、登録時と同じ方法で [変更]を 押してボタンの番号とショートカット名を変更 し、[OK]を押してください。[登録]を押し、変 更の確認画面で [はい]を選択すると、ショート カットキーが変更されます。

削除する場合は、[このショートカットを削除] を押してください。削除の確認画面で[はい]を 押すとショートカットキーが削除されます。

4 ファクスの操作方法(応用編)

この章では、ファクスを効率的に使う方法について説明します。

- 長い原稿を読み込む【長尺原稿】...4-2
- ・ 時刻を指定して送信する【タイマー送信】...4-3
- 1回の操作でたくさんの相手先に送信する【同報送信】...4-6
- 通信中に別の原稿の送信を予約する【送信予約】...4-9
- 別の原稿を優先して送信する【割り込み送信】…4-10
- フリーダイヤルなどの特定の局番を省略して送信する【チェーンダイヤル】...4-11
- 相手先に電話して手動で送信する【手動送信】…4-13
- ・ 送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】…4-15
- ・ 電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】...4-17
- 受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】…4-19
- 受信した原稿を管理する【ファクスボックス機能】...4-37
- Fコードを使って通信する【Fコード通信】…4-44
- 送信する相手や設定内容などを登録する【プログラムダイヤル】...4-47
- 受信側の操作で通信を開始する【ポーリング通信】...4-49
- ファクス番号のテンキー入力を禁止する ...4-57
- ファクスの使用状況などを管理する【管理機能】...4-58
- その他の便利な機能 ...4-61

長い原稿を読み込む【長尺原稿】

原稿送り装置を使用して、長尺原稿(給紙される方向に長い原稿)を読み込むことができます。

参考:長尺原稿は、片面しか送信できません。

1,600 mm までの原稿を読み込むことができます。

- **1 ファクス**キーを押してください。
- 2 原稿送り装置に原稿をセットしてください。
- 3 [原稿 / 送信形式] → [長尺原稿] の順に押してく ださい。
- 4 長尺原稿として読み込む場合は[設定する]を、 定形サイズとして読み込む場合は[設定しない] を押してください。
- **5** [OK] を押してください。
- 宛先を指定し、スタートキーを押してください。
 送信が開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

時刻を指定して送信する【タイマー送信】

タイマー送信は、送信開始の時刻をセットしておくと、その時刻に自動的に送信する機能です。同報送信な どの機能と併用することができます。

ここでは、1件の宛先に開始時刻を指定して送信する方法を説明します。

重要:タッチパネル上に表示されている現在時刻が合っていないと、指定時刻に正しく通信できません。 表示されている現在時刻が合っていないときは正しく調整してください。詳細は、2-4 ページの日付と時 **刻を設定する**を参照してください。

参考:ダイレクト送信は選択できません。

時刻は、00:00~23:59までの1分単位で指定できます。

送信予約、割り込み送信とあわせて、200件までのタイマー送信を指定できます。

同じ指定時刻のタイマー送信が2つ以上ある場合は、指定した順に送信されます。ただし、指定した順に 関わらず同じ宛先への送信は、まとめて行われます。

タイマー送信は、指定時刻の前にキャンセルできます。また、指定時刻の前に送信することもできます。 詳細は、3-13ページの**タイマー送信(待機中)の中止と即時送信**を参照してください。

タイマー送信は、指定時刻の前に宛先の変更をすることもできます。詳細は、4-4 ページのタイマー送信 ジョブの変更 / 削除のしかたを参照してください。

ユーザーボックスの文書をファクスで送信するときにタイマー送信を使用すると、送信が終了するまで文 書の移動はできません。ユーザーボックスの操作については、本体の**使用説明書**を参照してください。

一括送信機能

タイマー送信を使用して、同じ宛先のファクスを同じ送信開始時刻にセットすると、10件までを一度にまと めて送信します。同じ宛先に通信を繰り返すといったムダがなくなり、通信コストの削減につながります。

参考:ダイレクト送信は一括送信されません。

宛先にテンキー入力とワンタッチキーを組み合わせた場合、一括送信ができません。

同報送信を使用して同じ送信開始時刻のファクスを2件以上セットしたときに、それぞれの宛先の中に同 じ相手先番号がある場合は一括送信されません。

送信開始時刻に、同じ相手先に対してリダイヤル待機中のファクスがある場合は、リダイヤル待機原稿も あわせて一括送信されます。

部門管理を有効にしているときは、同じ部門コードでタイマー送信を使用した原稿だけが一括送信されま す。

- **1** ファクスキーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- 3 [応用 / その他] → [ファクスタイマー送信] の順 に押してください。

(信) ファクス: ^{廃先を入力して}	送信できます。	^{宛先数}
ファクス タイマー送信	- 開始時刻	
	80.000 80元する アンキー 00	00 - + 724-
倍率 : 100% 送信 : A4 プレビュー ショートカットに登	録 キャンセ	<i>ι</i> ν (4 οκ

4 [設定する] を押し、[+] または [-] で、送信 の開始時刻を入力してください。

参考:[テンキー]を押して、テンキーで入力する こともできます。

- **5** [OK] を押してください。
- 6 宛先を指定し、スタートキーを押してください。 原稿が読み込まれ、指定時刻になると送信が開始 します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」 に設定している場合は、スタートキーを押したとき に、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、5-12 ページの宛先確認画面についてを参照してください。

タイマー送信ジョブの変更 / 削除のしかた

登録した宛先を変更または削除できます。

参考:タイマー送信の中止と即時送信の操作については、3-13ページのメモリー送信(通信中)の中止を 参照してください。

操作手順は次のとおりです。

状況			予約ジ	ョブ		ļ	覆歴	
番号 受付時刻	種類		宛先	1	ユーザー名	開	始時刻	
0007 9:30	•	A OFFICE				12:0	0 🕐	^
				1				
	İ			ĺ		1		1/1
						-		1
	1							
	_						_	
中止	今すぐ開	始				詳細)
印刷ジョブ	送	言ジョブ	保存ジ	ョブ	デバイス	/通信	用紙	/消耗品
48.00							- 20	11/12/12 1
认成						<u> </u>	20	11/12/12 1
詳細 ジョブ番号:	000080							
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号:	000080			結果/宛先	Ē	(詳細/編集	*
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080	000080			結果/宛先 処理中	Ē	(詳細/編集	₩ >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類:	000080			結果/宛先 処理中 宛先数:	Ē	(詳細/編集	* >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類: ファクス送信	000080			結果/宛先 処理中 宛先数: ABCDE	Ē	(詳細/編集	* >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類: ファクス送信 ユーザー名:	000080			結果/宛先 処理中 宛先数: ABCDE	ĉ	(詳細/編集	* >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類: ファクス送信 ユーザー名: User1	000080			結果/宛先 処理中 宛先数: ABCDE	ĉ	(詳細/編集	* >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類: ファクス送信 ユーザー名: User1 ジョブ名:	000080			結果/宛先 宛先数: 	č	(詳細/編集	* >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類: ファクス送信 ユーザー名: User1 ジョブ名: doc20081010051	000080			結果/宛先 <u>処理中</u> 宛先数: 	ĉ	(詳細/編集	* >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類: ファクス送信 ユーザー名: User1 ジョブ名: doc20081010051 開始時刻	000080			結果/宛先 <u>処理中</u> 宛先数: 	t .	(詳細/編集	* >
詳細 ジョブ番号: ジョブ番号: 000080 ジョブ種類: ファクス送信 ユーザー名: User1 ジョブ名: doc20081010051 開始時刻 10:10	51			結果/宛先 処理中 宛先数: ABCDE	5	(詳細/編集	* >
詳細 ショブ番号. ジョブ番号. 000080 ジョブ種類. ファクス送信 ユーザー名: User1 ジョブ名: doc20081010051 開始時刻 10:10	51			結果/宛先 <u>処理中</u> 宛先数: ABCDE	2	(詳細/編集	* >

- **1 状況確認 / ジョブ中止キー**を押してください。
- [送信ジョブ] → [予約ジョブ]の順に押してく ださい。
- 変更または削除したいジョブを一覧で選択し、
 [詳細]を押してください。
 詳細情報が表示されます。

「状況/宛先」の項目の**[詳細/編集]**を押してく ださい。

4



- 4 別の宛先を追加する場合
 - 1 アドレス帳で新しい宛先を選択するか、テン キーでファクス番号を入力してください。

[アドレス帳]を押した場合

1 リストから新しい宛先を選択して [OK] を押してください。

[新規ファクス] を押した場合

- 1 宛先をテンキーで入力してください。
- **2** [OK] を押してください。
- **2 [OK]**を押してください。

参考:「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定 しない]に設定している場合は、番号入力後、 [OK]を押すと、番号が確定されます。

「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定する]に 設定している場合は、番号入力後、[OK]を押すと、 確認画面が表示されます。 再度ファクス番号を入力して [OK] を押してください。

「新規宛先の入力」が**[禁止する]**に設定されているときは、テンキーを使って修正はできません。詳しくは、4-57ページのファクス番号のテンキー入力を禁止するを参照してください。

別の宛先に変更する場合

- 1 [~] または [**^**] を押して、変更する宛先 を選択してください。
- 2 [詳細 / 編集] を押すと、選択した宛先を変更 できます。
- **3 [OK]**を押してください。
- 4 変更の確認画面で [はい] を押してください。

タイマー送信ジョブを削除する場合

- 1 [~] または [**へ**] を押して、削除する宛先 を選択してください。
- 2 [削除]を押してください。
- **5** [OK] を押してください。

4-5

1回の操作でたくさんの相手先に送信する【同報送信】

1回の操作で同じ原稿を複数の宛先に送ることができる機能です。本機は送信する原稿をいったんメモリー に蓄積(記憶)し、その後で指定された宛先に自動的にダイヤルと送信を繰り返します。

参考:宛先にグループを使用すれば、1回の操作で最大 500 ケ所の相手先に送信することができます。

Fコード通信やタイマー送信と合わせて使用できます。

ダイレクト送信が選択されている場合は、送信時にメモリー送信に切り替わります。

宛先がファクスの場合

- **1** ファクスキーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- 3 宛先を選択してください。

ファクス番号を入力する

- 1 [新規ファクス] を押し、テンキーでファク ス番号を入力してください。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、
 [OK]を押すと、番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を [設定する] に設定している場合は、番号入力後、
 [OK] を押すと、確認画面が表示されます。
 再度ファクス番号を入力して [OK] を押してください。
- 「新規宛先の入力」の設定が [禁止にする] に 設定されているときは、テンキーを使って入 力できません。詳しくは、4-57ページのファ クス番号のテンキー入力を禁止するを参照し てください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次の ファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認画面の設定については、本体 の**使用説明書の新規宛先の入力確認画面の設定**を 参照してください。

2 すべての宛先が入力できたら、[OK] を押し てください。

宛先をアドレス帳から選択する

1 [アドレス帳]を押してください。
- リストの中から、選択する宛先のチェック ボックスにすべてチェックマークをつけてく ださい。
 LDAPのアドレス帳を使用する場合は、「ア ドレス帳」の[拡張アドレス帳]を選択して ください。
- 3 [OK] を押してください。

宛先をワンタッチキーから選択する

必要な宛先が登録されているワンタッチキーをす べて押してください。

参考:アドレス帳の詳細は、3-15 ページの宛先 をアドレス帳から選ぶを参照してください。

ワンタッチキーの詳細は、2-15ページの**ワン** タッチキーの新規登録を参照してください。

宛先は、直接入力、アドレス帳、ワンタッチ キーを組み合わせて選択することができます。

4 すべての宛先が選択できたら、スタートキーを押してください。送信が開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

宛先がインターネットファクスの場合

参考:インターネットファクスの詳細は、8-7ページのインターネットファクス送信を参照してください。

- 1 送信キーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- 3 宛先を選択してください。

インターネットファクスアドレスを入力する

- 1 [新規i-ファクス] を押してください。
- [i-ファクスアドレス]を押し、インター ネットファクスアドレスを入力して、[OK] を押してください。

- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定しない]に設定している場合は、アドレス入力後、
 [OK]を押すと、アドレスが確定されます。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定する]に設定している場合は、アドレス入力後、
 [OK]を押すと、確認画面が表示されます。
 再度インターネットファクスアドレスを入力して[OK]を押してください。

アドレス確定後、[新規i-ファクス]を押すと、次 のインターネットファクスアドレスが入力できます。

[詳細/編集]を押すと、入力したアドレスを変 更できます。

新規宛先の入力確認画面の設定については、本体 の使用説明書の新規宛先の入力確認画面の設定を 参照してください。

宛先をアドレス帳から選択する

- 1 [アドレス帳]を押してください。
- リストの中から、選択する宛先のチェックボック スにすべてチェックマークをつけてください。
 LDAPのアドレス帳を使用する場合は、「アドレス 帳」の[拡張アドレス帳]を選択してください。
- 3 [OK] を押してください。

宛先をワンタッチキーから選択する

必要な宛先が登録されているワンタッチキーをす べて押してください。

参考:アドレス帳の詳細は、3-15ページの宛先 をアドレス帳から選ぶを参照してください。

ワンタッチキーの詳細は、2-15ページの**ワン** タッチキーの新規登録を参照してください。

宛先は、直接入力、アドレス帳、ワンタッチ キーを組み合わせて選択することができます。

4 すべての宛先が選択できたら、**スタート**キーを押 してください。送信が開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

通信中に別の原稿の送信を予約する【送信予約】

通信中に原稿を読み込んで、次の送信を予約できます。通信が終わると、自動的に予約した送信を開始しま す。送信予約を使用すれば、同報送信などで通信が長引くときに待つ必要がなくなります。

参考:タイマー送信や割り込み送信と合わせて 200 件まで予約することができます。

同報送信を使用できます。

送信方法はメモリー送信で行ってください。メモリー送信の操作については、3-3ページの送信方法の選択を参照してください。

- 1 ファクスキーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- 宛先を選択し、使用する送信機能がある場合は設 定してください。
- **4** スタートキーを押してください。原稿の読み込み を開始して、次の送信を予約します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

5 通信が終わると、予約した送信が開始します。

別の原稿を優先して送信する【割り込み送信】

通信中にダイレクト送信を選択して原稿を読み込むと、割り込み送信ができます。同報送信などで通信が長 引く場合や、次の送信が予約されている場合でも、割り込み送信を使用した原稿を先に送信します。

参考:送信予約やタイマー送信がすでに200件ある場合は、割り込み送信ができません。

割り込み送信のタイミングによっては、すぐに割り込めない場合があります。

- **1 ファクス**キーを押してください。
- 2 割り込み送信する原稿をセットしてください。
- 3 [応用 / その他] → [ファクスダイレクト送信] の 順に押してください。
- 4 [設定する] を押してください。
- **5** [OK] を押してください。
- 6 宛先を指定し、スタートキーを押してください。 原稿が送信できる状態になれば、割り込み送信が 開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

ダイレクト送信の操作については、3-3ページの送 信方法の選択を参照してください。

割り込み送信の待機中に送信を中止するときは、操 作パネルのストップキーまたは、タッチパネルの [中止]を押してください。詳細は、3-13ページの 通信を中止するを参照してください。

7 割り込み送信が終了すると、中断していた通信や 送信予約が自動的に開始します。

フリーダイヤルなどの特定の局番を省略して送信する【チェーンダイヤル】

チェーンダイヤルは、複数の宛先に共通する番号でチェーン番号を作成し、相手先のファクス番号をつなげ てダイヤルする機能です。

国際電話や遠方の送信相手にファクス送信する場合に、電話会社をチェーン番号として複数登録しておき、 料金の安い電話会社を選択して送信することもできます。

参考:チェーン番号は、相手先のファクス番号の先頭に使用できます。

よく使用するチェーン番号は、アドレス帳またはワンタッチキーに登録しておくと便利です。アドレス帳 への登録は、2-5ページの宛先の新規登録、ワンタッチキーへの登録は、2-15ページのワンタッチキーの 新規登録を参照してください。

例として、「0120」をチェーン番号に使用します。

- 1 ファクスキーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- 3 [新規ファクス] を押して、テンキーで「0120」 を入力してください。アドレス帳またはワンタッ チキーを使用する場合は、「0120」が登録された 宛先を選択してください。

参考:アドレス帳とワンタッチキーについては、 3-15ページの宛先をアドレス帳から選ぶ、2-15 ページのワンタッチキーを使うを参照してください。

「新規宛先の入力」の設定が [禁止にする] に設定 されているときは、テンキーを使って入力できませ ん。詳しくは、4-57 ページのファクス番号のテン キー入力を禁止するを参照してください。

4 [チェーン] を押してください。

(自 ファク 成先を入	7ス送信 ⁻	できます。			^{宛先数}
¹¹ 10 120 120				001/001	アドレス帳 新規ファクス
ポーズス	^-⊼ 210 ₹±->		ノバックスペー	·ス 【	
OO01 BBE	0002 S	0003 🚱 C DDD	0004 SEE	0005	 考
© 0006 © GGC	0007 😡	0008 😡	ULU 9000	0010	100
宛先	簡単設定	原稿/ 送信形式	画質	応用/そ	の他 プログラム

5 チェーン番号につなげるファクス番号を入力します。

ファクス番号をテンキーで入力する

続けてファクス番号を入力してください。

- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定しない]に設定している場合は、番号入力後、
 [OK]を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定する]に設定している場合は、番号入力後、
 [OK]を押すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号を入力して[OK]を押してください。
- 「新規宛先の入力」の設定が [禁止にする] に 設定されているときは、テンキーを使って入 力できません。詳しくは、4-57ページのファ クス番号のテンキー入力を禁止するを参照し てください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次の ファクス番号が入力できます。その場合、チェー ン番号を再度入力してください。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認画面の設定については、本体 の**使用説明書の新規宛先の入力確認画面の設定**を 参照してください。

ファクス番号をアドレス帳から選択する

- 1 **[アドレス帳]**を押してください。
- 2 リストの中から、宛先を選択してください。 複数の宛先を選択できます。
- 3 [OK] を押してください。宛先にはすべて 「0120」が自動的に付加されます。

ファクス番号をワンタッチキーから選択する

ワンタッチキーの中から宛先を選択してください。宛先に「0120」が自動的に付加されます。

続けてワンタッチキーでファクス番号を入力する ときは、チェーン番号を再度入力してください。

6 スタートキーを押してください。送信が開始しま す。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を[設定す る]に設定している場合は、スタートキーを押した ときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してくだ さい。

相手先に電話して手動で送信する【手動送信】

相手先との回線がつながったことを確認した後、スタートキーを押して送信する方法です。本機にオプションのハンドセットあるいは電話機(市販品)を接続すれば、原稿を送信する前に相手と電話で話すことができます。

相手先との接続を確認してから送信する

相手先との回線がつながったことを音声で確認してから送信できます。

- **1 ファクス**キーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- **3** [オンフック] を押してください。
- 4 相手先の番号をテンキーで入力してください。

参考:操作を途中で中止するときは、[回線を切る] を押してください。

5 「ピー」という音が聞こえたら、相手先のファクスとつながっています。スタートキーを押してください。送信が開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

電話を使って送信する

原稿を送信する前に相手と電話で話したいときや、相手先機がファクスへの切り替えを必要とするときは、 この方法で送信してください。

- 1 原稿をセットしてください。
- オプションのハンドセットまたは電話の受話器を 上げて、相手先にダイヤルしてください。
- 3 相手先のファクスとつながったかどうか確認して ください。

「ピー」という音が聞こえたとき

相手先はファクスです。

- 1 ファクスキーを押してください。
- **2 [オンフック]**を押してください。
- 3 **スタート**キーを押してください。原稿の送信 が開始します。

相手先の話し声が聞こえたとき

相手先の電話につながっています。会話が終わったら、上記の手順1~3を行ってください。

4 送信が開始したら(操作パネルの**処理中**ランプが 点滅したら)、ハンドセットまたは受話器を元に 戻してください。

送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】

相手先との回線がつながったことを確認した後、[**手動受信**]を押して受信する方法です。本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続すれば、相手と話した後に原稿を受信することができます。

参考:本機の受信方式は、通常、ファクス専用自動受信が選択されています。手動受信を使用するには、 受信方式を手動受信に変更する必要があります。受信方式の変更については、6-14 ページの利用状況に合 わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】を参照してください。

ファクスキットを2台装着する場合、ポート2の受信方式はファクス専用自動受信のみです。

相手先との接続を確認してから受信する

相手先との回線がつながったことを音声で確認してから受信できます。

- 1 着信すると、本体から呼び出し音が鳴ります。
- **2** ファクスキーを押してください。
- **3** [オンフック] → [手動受信] の順に押してくだ さい。
- 4 相手側が送信すると、本機は受信を開始します。

電話を使って受信する

相手と話した後に原稿を受信したいときは、この方法で受信してください。

- 着信すると、接続された電話で呼び出し音が鳴り ます。
- オプションのハンドセットまたは電話の受話器を 上げてください。
- 3 相手先のファクスとつながったかどうか確認して ください。

「ポーッポーッ」という音が聞こえたとき

相手先はファクスです。

- 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 2 [デバイス/通信] → [手動受信] の順に押 してください。受信が開始します。

参考:トーン信号を送出できる電話機を使用し ている場合は、リモート切替機能で電話機から 受信を開始させることができます。(4-17 ペー ジの電話機を操作して受信させる【リモート切 替機能】参照)

状況確認 スキャナー 待機中です。	ハードディスク 上書き消去中です。
プリンター 待機中です。	
外部メモリー 接続されていません。	
フォーマット ファクス回線1	ファクス回線2
ダイヤル中です。 回線を切る 手動受信	受信中です。 回線を切る
🌍 ファクス 通信履歴	← 1-7ヶクス 受信問い合わせ
印刷ジョブ 送信ジョブ	保存ジョブ デバイス/通信 用紙/消耗品 2011/12/12 10:10

相手先の話し声が聞こえたとき

相手先の電話につながっています。会話が終わったら、上記の手順3の1~2を行ってください。

相手側が送信すると、本機は受信を開始します。

4 受信が開始したら(操作パネルの処理中ランプが 点滅したら)、ハンドセットまたは受話器を元に 戻してください。

電話機を操作して受信させる【リモート切替機能】

接続された電話機からの操作で、ファクスの受信を開 始させることができます。本機と電話機(市販品)を 離れた場所に設置して併用するときに便利な機能で す。

接続された電話機からの操作でファクスの受信を開始 させるときは、次の操作を行ってください。

参考:リモート切替を行うためには、トーン信号を 送出できる電話機(市販品)を本機に接続すること が必要です。ただし、トーン信号を発信することが できる電話機でも、種類によってはこの機能をうま く使用できない場合があります。詳しくは弊社代理 店またはお買い上げ店までご連絡ください。

リモート切替ダイヤルの登録のしかた

リモート切替ダイヤルは、工場出荷時では55になっていますが、変更することもできます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「リモート切り替えダイヤ ル」の[変更]の順に押してください。
- **3** [+]、[-] またはテンキーを押して新たに登録 する番号(00-99)を入力してください。
- **4** [OK] を押してください。

リモート切替ダイヤルの使いかた

接続された電話機からの操作でファクスの受信を開始させるときは、次の操作を行ってください。



1 接続された電話機で呼び出し音が鳴ります。

2 電話機の受話器を上げてください。

3 受話器からファクスの発信音が聞こえたら、2桁のリモート切替ダイヤルを電話機側のダイヤルボタンで入力してください。

参考:工場出荷時のリモート切替ダイヤル(2桁) は55です。 2桁のリモート切替ダイヤルを入力するときは、 ゆっくり押してください。短い間隔でダイヤルボタ ンを押すと、ファクスに切り替わらないことがあり ます。

回線は本体側に切り替わり、受信が開始されます。

受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】

ファクスまたはインターネットファクスを受信したとき、受信画像を他のファクス、コンピューターやファ クスボックスに転送したり、印刷部数を設定したりできます。

転送先の種類と転送条件

転送先と転送条件を指定することができます。

転送先の種類

他のファクス、インターネットファクス、ファクスボックス、メール送信、フォルダー(SMB)送信、フォ ルダー(FTP)送信に転送することができます。



転送条件

重要:指定されている転送条件に合致するファクスまたはインターネットファクスを1件転送します。複数の転送条件に当てはまるときは、転送条件の優先順位に従って転送されます。

転送条件は、下記の1~5です。転送条件の優先順位を変更する場合は、4-27ページの条件ごと設定の優 先順位をあげるをご覧ください。

転送条件は次のとおりです。

- 1 Fコード (Fコードサブアドレス)
- 2 送信元ファクス番号
- 3 ダイヤルイン番号
- 4 受信回線(ファクスキットを2台装着時)
- 5 相手先アドレス (インターネットファクス)

メモリー転送機能を使って次のような通信を行うことができます。

Fコード親展通信

受信した原稿を印刷せずに、あらかじめ登録しておいたファクスボックスに保存し、誰にも見られずに印刷 することができます。

設定例



- 1 ファクスボックスを登録する。(4-37ページ参照)
- 2 Fコード送信する。
- 3 メモリー転送で原稿をファクスボックスに保存する。
- 4 ファクスボックスから原稿を印刷する。(4-40ページ参照)

Fコード中継同報通信

受信した原稿を複数のファクスに転送します。Fコードを転送条件とすることで、特定の通信だけを中継同報することができます。

参考:メモリー転送時、本機で印刷する/しないの設定ができます。また、印刷する場合は部数の設定が できます。詳細は 4-30 ページの印刷部数の設定を参照してください。

設定例



- 1 Fコード送信する。
- 2 メモリー転送で複数のファクスに転送する。
- 3 各転送先でファクスを受信する。

すべての受信に適用する

ファクス - 条件付き受信/転送

設定しない

特定の受信に 適用する

ファクス - 転送先

受信した文書を条件ごとに印刷/転送します。

転送設定

印刷:

1部 有効時間

終日

すべての受信に設定を適用すると、受信したすべての文書を条件ごとに印刷/転送します。 すべての受信に設定を適用するときは次の手順を行ってください。

参考:受信条件ごとに設定を変更する場合は、4-23ページの特定の受信に適用するを参照してください。

登録内容を変更するときも、同様の操作を行ってください。

すべての受信に適用する場合は、ファクスボックスに保存できません。

次へ

変更

変更

>

キャンセル 🖌 OK

1/2 🗸

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ファクス]→「条件付き受信/転送」の[次へ] の順に押してください。
- **3** [すべての受信に適用する] を押してください。
- **4** 「転送設定」の [次へ] を押してください。

- **5** 「転送」の [変更] を押してください。
- 6 転送する場合は [設定する] を、また転送しない 場合は [設定しない] を選択し、[OK] を押して ください。
- 7 「転送先」の [変更] を押してください。
- 8 転送先を指定します。次のいずれかのキーを押し て相手先を選択し、[OK] を押してリストに追加 してください。

参考: 宛先は複数登録することができます。 宛先に グループを使用すれば、最大 500 件の相手先を指定 することができます。

	キャンセル J OK
	2011/12/12 10.10
+-	内容
アドレス帳	アドレス帳または拡張アドレスに登録している宛先を選択してくださ い。
新規メール	原稿をメール送信で転送します。転送する相手先のメールアドレスを 入力してください。

宛先	1010245670		🕛 アドレス帳
ABC	012345678		0 ### / #
UEF	9876543210		◎ 新規メール
🔊 GHI	abc@efg		参 新規 フォルダー
			🚱 新規ファクス
			新規 i→ファクス
		\sim	
詳細/編集 削除			
		キャンセル *	Ј ОК
状況		111	2011/12/12 10:10

+-			
新規フォルダー	原稿をフォルダー(SMB)送信またはフォルダー(FTP)送信で転送 します。転送する相手先のホスト名、パス、ログインユーザー名、ロ グインパスワードをそれぞれ入力してください。		
新規ファクス	原稿を他のファクスに転送します。相手先のファクス番号をテンキー で入力し、送信詳細設定をしてください。		
	「新規宛先の入力」が [禁止する] に設定されているときは、テンキー を使って入力はできません。詳しくは、4-57 ページの ファクス番号の テンキー入力を禁止する を参照してください。		
新規 i- ファクス	原稿をインターネットファクスで転送します。転送する相手先のイン ターネットファクスアドレスを入力し、相手機条件を設定してくださ い。		
	参考:登録した宛先を修正する場合は、リストから 修正する宛先を選択し、[詳細/編集]を押して修 正してください。		
	登録した宛先を削除する場合は、リストから削除す る宛先を選択し、[削除]を押してください。		
	9 [OK] を押してください。		
	10 必要に応じて、次の設定を変更することができます。		
	• ファイル形式設定		
	• メール件名付加情報設定		
	• FTP 暗号送信設定		
	• ファイル分割		
	参考:上記設定については、4-27 ページの転送詳細 設定を参照してください。		
	11 [OK] を押してください。		
	12 次の設定を変更することができます。		
	 印刷部数の設定 		
	• 有効時間設定		
	• 文書名登録		

参考:上記設定については、4-27 ページの転送詳細 設定を参照してください。

13 [OK] を押してください。転送が設定されます。

特定の受信に適用する

 </th<

 ∇

設定しない

有効 ▲ID

01 | FAX A

特定の受信に設定を適用するときは、次の手順を行ってください。

条件を100件まで登録することができます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス]→「条件付き受信/転送」の[次へ] の順に押してください。
- 3 [特定の受信に適用する] を押してください。
- **4** [新規登録] を押してください。

道用する すべての受信 に適用する	その他		1/1
	詳細 削除	優先順位を あげる 新規登録	
		キャンセル 🔊 0	к
状況		20	11/12/12 10:10

条件名

▲優先順位

- **5** 「条件番号」の [変更] を押してください。
- **6** [+]、[-] またはテンキーで、条件番号(001~100)を入力してください。
- **7** [OK] を押してください。
- **8** 「条件名」の [変更] を押してください。
- 9 条件名を入力し、[OK] を押してください。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 カ方法を参照してください。

条件名は、32文字まで入力できます。

- 10「条件」の[変更]を押してください。
- 11 ファクス受信を転送する場合は「ファクス」を選択して[次へ]を押してください。 インターネットファクス受信を転送する場合は 「i-ファクス」を選択して[次へ]を押してください。
- 12 条件を登録してください。

手順11で「ファクス」を選択した場合

条件	登録方法
F コード(F コード サブアドレス)	[Fコード]を押して、テンキーで送信元のサブアドレスを入力してください。
	サブアドレスは、0~9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って 20 桁まで入力できます。
送信元ファクス番号	[送信元ファクス番号]を押して、テンキーで送信元のファクス番号を入力 してください。20桁まで入力できます。転送条件に送信元ファクス番号を 選択した条件は、9件までしか登録できません。
	「新規宛先の入力」の設定が【禁止にする】に設定されているときは、テン キーを使って入力できません。詳しくは、4-57ページのファクス番号のテン キー入力を禁止するを参照してください。
ダイヤルイン番号	[ダイヤルイン]を押して、テンキーでダイヤルイン番号(4桁)を入力し てください。0000~9,999の番号が入力できます。
受信回線(ポート)	[ポート]を押して、「ポート1」または「ポート2」を選択してください。 ただし、ポートを選択すると、ファクスボックス転送はできなくなります。
	この項目は、ファクスキットを2台装着時のみ表示します。

手順11で「i-ファクス」を選択した場合

転送条件	登録方法
相手先アドレス	[i- ファクスアドレス] を押してください。
	相手先のインターネットファクスアドレスを入力してください。128 文字ま で入力できます。

参考:転送条件に送信元ファクス番号(相手機の自 局登録情報)を選び、送信元ファクス番号として何 も入力せずに転送を設定した場合に、送信元ファク ス番号が登録されていない相手先からのファクスを 転送できます。

送信元ファクス番号または相手先アドレスを転送条 件にする場合、[》]を押して、「検索条件」を設 定できます。

- 以下と一致する
- 以下で始まる
- 以下で終わる
- 以下を含む
- **13** [OK] を押してください。
- 14 「転送設定」の [次へ] を押してください。
- **15**「転送」の [変更] を押してください。
- 16 転送する場合は [設定する] を、また転送しない 場合は [設定しない] を選択し、[OK] を押して ください。

- **17**「転送先」の [変更] を押してください。
- 18 転送先を指定します。次のいずれかのキーを押して相手先を選択し、[OK]を押してリストに追加してください。

+-	内容
アドレス帳	アドレス帳または拡張アドレス帳に登録している宛先を選択してくださ い。
新規メール	原稿をメール送信で転送します。転送する相手先のメールアドレスを入 力してください。
新規フォルダー	原稿をフォルダー(SMB)送信またはフォルダー(FTP)送信で転送し ます。転送する相手先のホスト名、パス、ログインユーザー名、ログイ ンパスワードをそれぞれ入力してください。
新規ファクス	原稿を他のファクスに転送します。相手先のファクス番号をテンキーで 入力し、送信詳細設定をしてください。
	「新規宛先の入力」の設定が [禁止にする] に設定されているときは、 テンキーを使って入力できません。詳しくは、4-57 ページのファクス番 号のテンキー入力を禁止する を参照してください。
新規 i- ファクス	原稿をインターネットファクスで転送します。転送する相手先のイン ターネットファクスアドレスを入力し、相手機条件を設定してください。

参考:登録した宛先を修正する場合は、リストから 修正する宛先を選択し、[詳細 / 編集]を押して修 正してください。

登録した宛先を削除する場合は、リストから削除す る宛先を選択し、[削除]を押してください。

- **19** [OK] を押してください。
- 20 必要に応じて、次の設定を変更することができます。
- ファイル形式
- メール件名付加情報
- FTP 暗号送信
- ファイル分割

参考:上記設定については、4-27 ページの転送詳細 設定を参照してください。

- **21** [OK] を押してください。
- **22**「ファクスボックス保存」の[変更]を押してく ださい。
- 23 原稿をファクスボックスに保存するときは、[設定する]を押してください。ファクスボックスに保存しないときは、[設定しない]を選択し、[OK]を押して手順 25 に進んでください。

参考:転送先にファクスボックスを設定する場合 は、事前にファクスボックスを登録してください。 詳細は、4-37ページの受信した原稿を管理する 【ファクスボックス機能】を参照してください。

- 24 原稿を保存するファクスボックスを選択し、
 [OK] を押してください。
 ファクスボックスにパスワードが設定されている
 場合は、パスワード入力画面が表示されます。入
 力後、[OK] を押してください。
- 25 次の設定を変更することができます。
- 印刷部数の設定
- 有効時間設定
- 文書名登録
- 優先順位設定

参考:上記設定については、4-27 ページの**転送詳細** 設定を参照してください。

- **26** [登録] を押してください。転送設定が登録され ます。
- 27 別の転送設定を登録する場合は、手順4~26を繰り返してください。
- 28 条件に当てはまらない受信ファクスの転送を設定 する場合は、「その他」を選び[詳細]を押し、 設定を変更してください。

参考:「その他」を設定しない場合、条件に当ては まらない受信ファクスは印刷されます。

「その他」の設定では、ファクスボックス保存の設 定はできません。

29 リストの中から、チェックボックスを押して有効にする転送設定を選択してください。有効にする転送設定にはチェックマークがつきます。

参考:設定を無効にするときは、チェックボックス を押してチェックマークを消してください。

30 [OK] を押してください。条件ごとに設定が登録 されます。

条件ごと設定の変更 / 削除

条件ごと設定を変更または削除するときは次の手順で行ってください。

- 4-23ページの特定の受信に適用するの手順1~3を 行ってください。
- 削除または変更する条件名を選択してください。
 削除するときは次の手順に、変更するときは手順
 4に進んでください。
- **3** [削除] を押してください。確認画面が表示されたら [はい] を押し、手順6に進んでください。
- **4** [詳細] を押してください。
- **5** 4-23 ページの特定の受信に適用するの手順 5~26 を参考に設定を変更してください。
- 6 削除または変更が終わりましたら、[OK] を押し てください。

条件ごと設定の優先順位をあげる

条件ごと設定の優先順位をあげるときは次の手順で行ってください。

- 4-23ページの特定の受信に適用するの手順1~3を 行ってください。
- 2 優先順位をあげる条件名を選択してください。
- **3** [優先順位をあげる] を押してください。選択した条件の優先順位があがります。

条件付き受信 / 転送の解除

転送を解除するときは、次の手順を行ってください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ファクス]→「条件付き受信/転送」の[次へ] の順に押してください。
- 3 [設定しない] を押して、[OK] を押してください。

転送詳細設定

転送設定で次の詳細設定を変更できます。

有効時間設定

設定した条件が有効になる開始時刻と終了時刻を登録します。

すべての受信に適用する

4-21 ページの**すべての受信に適用する**の手順1~3を行ってください。

特定の受信に適用する

4-23 ページの特定の受信に適用するの手順1~3 を行い、条件を選択して[詳細]を押してください。

- **1** 「有効時間」の [変更] を押してください。
- 2 [終日] または [時間指定] を選択してください。 終日転送する場合は [終日] を選択し、[OK] を 押してください。

転送時刻を指定する場合は[時間指定]を選択 し、次の手順に進んでください。

3 [+] と [-] を押して開始時刻と終了時刻を入力し、[OK] を押してください。

参考:時刻は24時間制で入力してください。

優先順位設定

終日

登録した転送条件の優先順位を設定します。

開始

終了 00

00 :

 $\left[+\right]$

+

00

-+

00

+

4

- 4-23ページの特定の受信に適用するの手順1~3を 行い、条件を選択して[詳細]を押してください。
- **2** 「優先順位」の [変更] を押してください。
- **3** [+]、[-] またはテンキーで、優先順位を入力 してください。
- **4** [OK] を押してください。

ファイル形式設定

メール送信、フォルダー (SMB) 送信、またはフォルダー (FTP) 送信する場合に、ファイル形式を PDF、 TIFF または XPS から選択します。

すべての受信に適用する

4-21 ページのすべての受信に適用するの手順1~4 を行ってください。

特定の受信に適用する

4-23 ページの**特定の受信に適用する**の手順1~3 を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、 手順14を行ってください。

- 1 「ファイル形式」の [変更] を押してください。
- **2** [PDF]、[TIFF] または [XPS] を押して、[OK] を押してください。

参考:ファイル形式で PDF を選択した場合、PDF 暗号化機能を使用することができます。詳しくは本 体の**使用説明書**を参照してください。

3 [OK] を押してください。

メール件名付加情報設定

メールを送信するときに、メールの件名に情報を付加するかどうか設定します。情報を付加する場合は、送 信元名または送信元から選択します。

すべての受信に適用する

4-21 ページのすべての受信に適用するの手順1~
 4 を行ってください。

特定の受信に適用する

4-23 ページの**特定の受信に適用する**の手順1~3 を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、 手順14を行ってください。

- **1** 「メール件名付加情報」の**[変更]**を押してくだ さい。
- 2 [送信元名]、[送信元 ファクス番号/アドレス] または [設定しない] を押して、[OK] を押して ください。

FTP 暗号送信設定

転送するときに FTP 暗号送信をするかどうか設定します。

すべての受信に適用する

4-21 ページのすべての受信に適用するの手順1~4 を行ってください。

特定の受信に適用する

4-23 ページの特定の受信に適用するの手順1~3 を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、 手順14を行ってください。

1 「FTP 暗号送信」の [変更] を押してください。

- **2** [設定する] または [設定しない] を押してください。
- **3** [OK] を押してください。

参考:FTP 暗号送信機能を使用する場合、セキュア プロトコル設定の「SSL」の設定を [使用する] に してください。詳しくは本体の使用説明書を参照し てください。

ファイル分割

メール送信、フォルダー(SMB)送信またはフォルダー(FTP)送信する場合に、ページ分割するかどうか 設定します。

すべての受信に適用する

4-21 ページのすべての受信に適用するの手順1~4 を行ってください。

特定の受信に適用する

4-23 ページの**特定の受信に適用する**の手順1~3 を行い、条件を選択して[詳細]を押したあと、 手順14を行ってください。

- 1 「ファイル分割」の [変更] を押してください。
- 2 [設定しない] または [ページごと] を押してください。
 ページごとにファイルを作成する場合は、[ページごと] を選択します。
- **3** [OK] を押してください。

印刷部数の設定

転送するときに本機で印刷するかどうか設定します。また、印刷部数の設定ができます。

すべての受信に適用する

4-21 ページの**すべての受信に適用する**の手順1~3を行ってください。

特定の受信に適用する

4-23 ページの特定の受信に適用するの手順1~3 を行い、条件を選択して[詳細]を押してください。

1 「印刷」の [変更] を押してください。

2 [設定する] または [設定しない] を押してください。

[設定する]を選択した場合は、[+]や[-]、 またはテンキーを押して印刷部数を設定してくだ さい。

3 [OK] を押してください。

文書名登録

転送時に作成するファイルの文書名を設定します。その他、日時やジョブ番号、またはファクス番号(イン ターネットファクスの場合はアドレス)の情報も付加できます。

すべての受信に適用する

4-21 ページのすべての受信に適用するの手順1~3 を行ってください。

特定の受信に適用する

4-23 ページの特定の受信に適用するの手順1~3 を行い、条件を選択して[詳細]を押してください。

- **1** 「文書名」の [変更] を押してください。
- **2** [文書名] を押してください。
- 3 文書名を入力して、[OK] を押してください。

参考: 文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 カ方法を参照してください。

付加情報を入れていない場合、ファイル名が同じに なり、フォルダー(SMB)送信やフォルダー (FTP)送信で転送するとファイルを上書きします ので注意してください。

5 [OK] を押してください。

Command Center RX からの転送設定(条件付き受信/転送)

本機にネットワーク接続されたコンピューターから Command Center RX を使って転送の設定を行えます。 ネットワークの設定については、本体の使用説明書を参照してください。

Command Center RX へのアクセス

🚱 🔵 🗢 🙋 http://192.168	3.48.21
KYDCERa	mmand Center
EE	ininana cencer i
<u>*-4</u>	日本語
2 ユーザー名	デバイス状況
- バスワード	デバイス

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- アドレスバーまたはロケーションバーに本機の IP アドレスを入力します。

例) http://192.168.48.21/

本機および Command Center RX に関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

3 管理者のユーザー名とパスワードを入力し、ログ インをクリックします。

管理者のユーザー名とパスワードを設定すると、 スタートページ以外への一般ユーザーのアクセス を制限できます。セキュリティを確保するため に、管理者のユーザー名およびパスワードの設定 をおすすめします。工場出荷時の設定値は、ユー ザー名、パスワードともに「Admin」です。

- 4 画面左のナビゲーションバーから設定/登録を選択します。
- 5 ファクス/iファクスをクリックします。

設定画面が表示されます。

詳細は Command Center RX 操作手順書を参照し てください。

転送設定

ファクス /i ファクス > 共通 > 条件付き受信 / 転送 > 基本

転送設定を行います。

転送のページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
オフ	条件付き受信 / 転送処理を行いません。受信されたファクスは、紙に印 刷されます。
条件リストを使用する	あらかじめ設定した条件ごとに転送処理を行います。(設定項目につい ては 4-33 ページの 条件リストの追加 参照)
すべて	条件を指定せず、転送処理を行います。受信されたファクスは、同様に 処理されます。ただし、ファクスボックスへ保存する処理は設定できま せん。(設定項目については4-33ページの条件リストの追加参照)

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

条件リストの追加

ファクス /i ファクス > 共通 > 条件付き受信 / 転送 > 条件リスト > 追加

転送する条件の設定を行います。

条件リストの追加ページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
条件番号	ユーザーが管理する転送条件の ID を入力します。
名前	ここで設定する条件に、識別しやすい名前を付けます。
状況	条件を使用するかどうかを指定します。
条件有効時間設定	時刻指定を行うかどうかを設定します。
条件有効時間	設定した条件が有効になる時刻と無効になる時刻を登録します。 0:00 ~ 23:59 の間で登録できます。
ファイル名	転送時に作成するファイルの文書名を設定します。
付加情報	ファイル名に日時やジョブ番号や相手先アドレスの情報を付加します。
送信元情報の付加	発信元情報を付加する位置を設定します。 自局ファクス番号が発信元情報となります。
検索優先順位	転送条件を検索するときの優先順位を設定します。
条件の形式	条件の種類を次から選択します。
	 ファクスFコードサブアドレス ファクス番号 ファクスダイヤルイン ファクス受信ポート i-ファクスアドレス
	項目を選択すると必要な情報を入力できます。詳細は Command Center RX 操作手順書を参照してください。
印刷	印刷するときは、印刷をクリックしてください。印刷のページが表示さ れます。(4-34 ページの 印刷設定 参照)
転送	転送先を選択するときは、転送をクリックしてください。転送のページ が表示されます。(4-34 ページの 転送先設定 参照)
ファクスボックスへ保 存	ファクスボックスへ保存するときは、ファクスボックスへ保存をクリッ クしてください。ファクスボックスへ保存のページが表示されます。 (4-35 ページのファクスボックス保存設定参照)

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

条件に当てはまらない受信ファクスの転送を設定する場合は、条件リストの条件に該当しない場合の詳細を クリックしてください。状況をオンに設定し、続けて各項目を設定します。条件リストを使用するを選択し た時に、リストに登録されていない条件で受信した時の動作を設定します。ファクスボックスへは保存でき ません。

状況をオフに設定すると、条件に当てはまらない受信ファクスは印刷されます。

印刷設定

ファクス /i ファクス > 共通 > 条件付き受信 / 転送 > 条件リスト > 追加 > 印刷

印刷設定を行います。

印刷のページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
名前	条件の名前を表示します。
状況	現在、その条件が使用されているかどうかを表示します。
印刷	転送するときに本機で印刷するかどうかを設定します。
印刷部数	印刷する部数を指定します。

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

転送先設定

ファクス /i ファクス > 共通 > 条件付き受信 / 転送 > 条件リスト > 追加 > 転送

転送先を選択します。

転送のページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
名前	条件の名前を表示します。
状況	現在、その条件が使用されているかどうかを表示します。
転送	転送するかどうかを設定します。
ファイル形式	転送したときに保存されるファイル形式を PDF 、PDF/A または TIFF か ら選択します。
FTP 暗号送信	暗号送信を行う場合は オン を選択します。SSL プロトコルを オン にする 必要があります。
件名付加情報	転送する宛先がメールに設定されている場合、メールの件名に 送信元名 または 送信元ファクス番号 / アドレス を付加して転送します。 なし を選ぶと何も付加しません。
ページ分割	コンピュータに転送するときにページ分割するかどうかを選択します。
宛先数	登録ずみの宛先数を表示します。
宛先リスト	あらかじめ設定されている転送宛先を一覧で表示します。ここに表示さ れている宛先すべてに転送が行われます。
	宛先リストには、次の項目で編集します。
	 追加(送信先の追加については4-35ページの宛先リストの追加参照) 個人アドレス帳から挿入 グループアドレス帳から挿入 削除

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

ファクスボックス保存設定

ファクス/iファクス>共通>条件付き受信/転送>条件リスト>追加>ファクスボックスへ保存 転送するファクスボックスを選択します。

ファクスボックス保存のページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
名前	条件の名前を表示します。
状況	現在、その条件が使用されているかどうかを表示します。
ファクスボックスへ保 存	ファクスボックスへ保存するかどうかを指定します。
名称	保存するファクスボックスを指定します。

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

宛先リストの追加

ファクス/iファクス>共通>条件付き受信/転送>条件リスト>追加>転送>追加

宛先リストに送信先を追加します。

宛先リストの追加ページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
宛先種類	送信先の種類を選択します。
	 メール SMB FTP
	 ファクス
	• i-ファクス

宛先種類に**メール**を選択した場合は以下の項目を設定してください。

・メール

宛先種類に SMB または FTP を選択した場合は以下の項目を設定してください。

- ホスト名
- ポート番号
- ・ パス
- ログインユーザー名
- ログインパスワード

宛先種類にファクスを選択した場合は以下の項目を設定してください。

- ファクス番号
- 送信開始速度
- ECM
- F コード サブアドレス
- F コード パスワード
- 暗号鍵 No.
- 暗号ボックス
- 暗号ボックス No.

宛先種類に i- ファクスを選択した場合は以下の項目を設定してください。

- i-ファクスアドレス
- 接続モード
- 送信解像度
- 圧縮方式
- 用紙サイズ

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

受信した原稿を管理する【ファクスボックス機能】

ファクスボックスとは

受信原稿を保存するボックスをファクスボックスと呼びます。メモリー転送機能を使って、受信した原稿を ファクスボックスに保存することができます。

ファクスボックスの登録のしかた

ファクスボックスは100 個まで登録することができます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [文書ボックス / 外部メモリー] →「ファクスボッ クス」の[次へ] →「ボックス登録 / 編集」の [登録 / 編集] の順に押してください。
- **3** [新規登録] を押してください。

4 登録する各内容の [変更] を押してください。

参考:「所有者」と「共有設定」はユーザー管理が 有効であるときに表示されます。

「ボックス番号」を選択したとき

- 1 [+]、[-] またはテンキーを押して、ボッ クス番号を入力してください。
- 2 [OK] を押してください。

参考:「0000」が表示されている場合は、自動 的に空いている番号を割り当てます。

「所有者」を選択したとき

 ボックスの所有者を選択してください。 フリガナ検索またはログイン名検索で所有者 を検索することもできます。
 [詳細]を押して「ユーザー名」、「ユーザー 名(フリガナ)」、「ログインユーザー名」、 「アクセスレベル」、「所属部門」、「メールア ドレス」「部門名」を確認できます。確認が 終了したら[閉じる]を押してください。

文書ボッ	- クス/外部メモリー - ボックス登録	/編集			
▲ 番号	▲ 名前	▲ 所有者	使用量		
0001	営業	Anonymous		\land	名前検索
					番号検索
				1/1	新規登録
	1				
_			-		
		詳細/編集	削除		
				لے	閉じる

 所有者の選択が終了したら [OK] を押して ください。

「ボックス名」を選択したとき

- 1 ファクスボックス名を入力してください。32 文字まで入力できます。
- 2 入力が終われば [OK] を押してください。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字 の入力方法を参照してください。

「ボックスパスワード」を選択したとき

- 1 [パスワード]を押してパスワードを入力し てください。16 桁まで入力できます。
- 2 確認のため [パスワード(確認)]を押して 同じパスワードを入力してください。
- 3 入力が終われば [OK] を押してください。

参考:ボックスパスワードは、ユーザー管理が 無効である場合、またはユーザー管理が有効で ファクスボックスを他のユーザーと共有する場 合に設定できます。

パスワードは必要な時に設定してください。

パスワードを設定したときは、変更 / 削除と印 刷の際にパスワードが必要です。

「共有設定」を選択したとき

- ファクスボックスを個人で使用する場合は [所有者のみ]を押してください。他のユー ザーと共有する場合は[共有する]を押して ください。
- 2 選択が終了したら [OK] を押してください。

「印刷後削除」を押したとき

ファクスボックス内の受信原稿を印刷したとき に、自動的に削除するかの設定ができます。

- 1 [設定する] または [設定しない] を押して ください。
- **2** [OK] を押してください。
- 5 すべての内容の登録が終了したら[登録]を押してください。その他のファクスボックスの登録を行うときは手順3~5を繰り返してください。

ファクスボックスの変更 / 削除のしかた

文書ボックス/外部メモリー - ボックス登録/編集 ▲ 番号 🔺 名前 ▲ 所有者 使用量 0001 営業 ~ An 名前検索 番号検索 新規登録 1/1 \checkmark 詳細/編集 削除 🖌 閉じる 0011/10

- **1** 4-37 ページのファクスボックスの登録のしかたの 手順1~2を行ってください。
- 2 削除または変更するボックスを選択してください。

削除する場合は次の手順に、変更する場合は手順 4に進んでください。

[削除] を押してください。削除の確認画面で
 [はい] を押してください。

手順5に進んでください。

- 【詳細 / 編集】を押して、4-37 ページのファクス ボックスの登録のしかたの手順4~5を参照して 変更してください。
- 5 その他のファクスボックスの削除や変更を行うと きは手順2~4を繰り返してください。
- 6 すべてのファクスボックスの削除や変更が終了したら [閉じる] を押してください。

4

ファクスボックスからの印刷のしかた

ファクスボックスへ送られた原稿は、次の操作を行って印刷してください。

ĥ	ファクスボ	ックス画面です	•		空き容量
▲ 番号	▲ 名前	▲ 所有者	使用量		
0001	1 ボックス	Anonymous		^	名前検索
0002	2 ボックス	Anonymous			番号検索
				1/1	ボックス
				1/1	登録/編集
					ボックス
				\sim	
		詳細	開く		
ユーザー	-ボックス ジョブボ	ックス 外部メモリー	ファクスボッ	ウス /	プログラム
44.20				<u>m</u> r	2011/12/12 10:10

- 1 文章ボックスキーを押してください。
- **2** [ファクスボックス] を押してください。
- **3** ファクスボックスを選択し、[開く] を押してく ださい。

参考:次の場合はボックスパスワードの入力が必要 です。

- ユーザー管理が無効の場合
- ユーザー管理が有効でユーザー権限でログイン しているときに、別の所有者のファクスボック スを選択した場合
- 4 リストの中から、チェックボックスを押して原稿 を選択してください。選択した原稿にはチェック マークがつきます。

参考:選択を解除するときは、チェックボックスを 押してチェックマークを消してください。

[**____**]を押すと、原稿の画像のサムネイルが表示 されます。

原稿の画像を確認したいときは、プレビューを参照することができます。プレビューについては、4-42ページのプレビューの参照のしかたを参照してください。

ファクスボックス内の一覧の操作については、本体 の**使用説明書**を参照してください。

ファクスボックスからは印刷のみできます。送信は できません。

5 [印刷] を押してください。

- 6 印刷後に原稿データをファクスボックスから消去 するか選択します。消去するときは[設定する] を押してください。
 - 7 [印刷開始]を押してください。印刷を開始します。

ボックス:				
			:::::	
☑ ▲ 文書名	▲ 日時	▲サイズ		
0001 🔽 🗎 1 文書	2010/10/10 09:00	100 MB	_	名前検索
			1/1	
				詳細
			\sim	プレビュー
EDRI		削除		
				1
			4	閉じる
状況			111	2011/12/12 10:10

ファクスボックスからの削除のしかた

▲ 日時

2010/10/10 09:00

☑ ▲ 文書名

0001 🔽 🗎 1 文書

印刷

ファクスボックスへ送られた原稿を削除するときは、次の操作を行ってください。

名前検索

詳細

プレビュー

↓ 閉じる

2011/12

=

1/1

V

100 MB

▲サイズ

削除

- **1** 4-40 ページのファクスボックスからの印刷のしか たの手順1~4を行ってください。
- **2** [削除] を押してください。

3 削除の確認画面で [はい] を押してください。原 稿を削除します。

詳細情報の確認 / ファイル名の変更のしかた

ファクスボックスへ送られた原稿の詳細情報を確認できます。また、ファイル名を変更できます。

- 4-40 ページのファクスボックスからの印刷のしか たの手順1~4を行ってください。
- **2** [詳細] を押してください。

3 選択した原稿の詳細情報が表示されます。

項目	説明
文書名	原稿のファイル名
	[変更]を押すと、ファイル名を変更できます。
ページ数	原稿の枚数
解像度	原稿の解像度
日時	原稿が送られた日時

4 確認を終了するときは、[閉じる] を押してくだ さい。



プレビューの参照のしかた

ファクスボックスへ送られた原稿の画像を、タッチパネル上で参照できます。

 ボックス:

 ● 文書名
 ▲ 日時
 ▲ サイズ

 ● 1 文書
 2010/10/10 09:00
 100 M6
 ●

 ● 1 文書
 2010/10/10 09:00
 100 M6
 ●

 ● 1 文書
 10/10/10 09:00
 100 M6
 ●

 ● 1 文書
 2010/10/10 09:00
 100 M6
 ●

 ● 1 文書
 10/10/10 09:00
 100 M6
 ●

 ● 1 文書
 10/10/10 09:00
 100 M6
 ●

 ● 1 文書
 10/10/10 09:00
 100 M6
 ●

 ● 1 文書
 ●
 ●
 ●

 ● 1 文書
 ●
 ●
 ●

 ● 1 ○
 ●
 ●
 ●

 ● 1 ○
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●

 ●
 ●
 ●
 ●<

プレビュー画面の使い方



- **1** 4-40 ページのファクスボックスからの印刷のしか たの手順1~4を行ってください。
- **2** [プレビュー]を押してください。プレビュー画 面が表示されます。

- **1** [**Q**] を押すと拡大し、[**Q**] を押すと縮小 します。
- 拡大したときに [^]、[~]、[<]、[>]を 押して、表示部分を移動します。
- 3 原稿が複数ページある場合は、[∧] または
 [∨] を押すと、1ページずつ移動します。
 [木] を押すと最初のページに、[⊻] を押すと最終ページに移動します。また [番号] を 押すと、移動するページ数を指定できます。
- 4 [閉じる]を押してプレビュー画面を終了し ます。
ファクスボックスリストの印刷のしかた

登録されているファクスボックスのボックス番号、ボックス名の一覧が記載されたファクスボックスリスト を印刷することができます。また、ファクスボックスに原稿がある場合はそのページ数が表示されます。

参考:ユーザー管理が有効の場合は、管理者がログインしたときに印刷できます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [文書ボックス / 外部メモリー] →「ファクスボッ クス」の[次へ] →「ファクスボックスリスト」 の[印刷]の順に押してください。
- **3** 印刷の確認画面で [はい] を押してください。 ファクスボックスリストを印刷します。

Fコードを使って通信する【F コード通信】

Fコード通信とは

Fコード通信とは、ITU-T(国際電気通信連合)の勧告に準拠したサブアドレスやパスワードを付加して送/ 受信する通信をいいます。Fコードを使用することにより、本来弊社機間でしかできなかった親展通信(受 信側機に設けられた原稿受け渡しボックスに送る通信)やポーリング通信(受信側から操作して送信側の原 稿を受信する通信)などの通信が他社機との間でも可能になります。本機では、Fコード通信とメモリー転 送機能を使って、受信した原稿をファクスボックスに保存したり、他の複数のファクスに転送したりするな ど、高度な通信ができます。

参考:Fコード通信を行うためには、相手機にも同様のFコード通信機能が備わっている必要があります。

Fコードを使った通信は、各種機能通信とも併用することができます。また、FコードサブアドレスやF コードパスワードをアドレス帳やワンタッチキーに登録しておけば、送信時に入力を省略することができま す。詳しくは、各通信方法や登録方法の手順内の記述を参照してください。

Fコードについて

本機では、F コードサブアドレスとF コードパスワードがF コードにあたります。

Fコードサブアドレス

Fコードサブアドレスは0~9までの数字とスペース、「#」、「*」を使って20桁まで入力することができます。本機で受信する場合、Fコードサブアドレスはメモリー転送の転送条件として使用されます。

Fコードパスワード

Fコードパスワードは0~9までの数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力することができます。本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

Fコード送信のしかた

Fコード送信は次の手順で行ってください。

重要: F コード送信を行う場合は、あらかじめ受信側に設定されている F コードサブアドレスと F コード パスワードを確認してください。

Fコード送信時は、暗号送信を行うことができません。

本機で受信する場合の設定方法は、4-19ページの受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】 を参照してください。

- **1 ファクス**キーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- 3 [新規ファクス] を押してください。

参考:アドレス帳の宛先にFコードを登録している 場合には、その宛先が使用できます。また、アドレ ス帳でFコードを登録している宛先をワンタッチ キーに使用している場合はそれらも使用できます。 その場合手順9に進んでください。

- 4 テンキーを使って相手先のファクス番号を入力してください。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を [設定しない] に設定している場合は、番号入力後、[OK] を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定する]
 に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押 すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号 を入力して[OK]を押してください。

番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次の ファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認画面の設定については、本体 の**使用説明書**の新規宛先の入力確認画面の設定を 参照してください。

参考:「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする] に設定されているときは、テンキーを使って入力で きません。詳しくは、4-57ページのファクス番号の テンキー入力を禁止するを参照してください。

- 5 [詳細]を押してください。
- **6** 「F コード」の [変更] を押してください。
- **7** [サブアドレス] を押して、テンキーでサブアドレスを入力してください。

参考:サブアドレスは、0~9の数字とスペース、 「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できま す。

「新規ファクス - Fコード
サブアドレス 1234567890 パスワード スペース バック
Fコードを設定します。 サプアドレスおよびパスワードはテンキーで 入力します。(最大20桁)
「キャンセル」 「よ OK

8 [パスワード]を押して、テンキーでFコードパス ワードを入力してください。

参考:Fコードパスワードは0~9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

- **9** [OK] を押してください。
- **10** [OK] を押してください。
- **11 スタート**キーを押してください。送信が開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

Fコード受信のしかた

Fコード受信を行うときは、あらかじめ送信側に本機のFコードサブアドレスとFコードパスワードを伝えておく必要があります。

Fコード受信を行うと、次の機能を使用できます。

- 受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】…4-19ページ
- Fコード親展通信 ...4-20 ページ
- Fコード中継同報通信 ...4-20 ページ
- Fコード掲示板通信 ...4-49 ページ

重要:Fコード受信の機能については、事前に設定が必要です。設定方法については、4-19ページの受信 した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモリー転送】または 4-53 ページの Fコードを使用するポーリン グ受信のしかたを参照してください。

送信する相手や設定内容などを登録する【プログラムダイヤル】

送信する相手先や送信時刻など送信条件をプログラムとして登録できます。登録後は、プログラム番号を押 すだけで呼び出すことができます。また、各プログラムに名前をつけておくと、プログラムを呼び出すとき にわかりやすく便利です。

参考:プログラムにはコピー機能も登録できます。コピー機能、送信機能を合わせて最大 50 件のプログ ラムを登録できます。

ユーザー管理が有効であるときは、登録できるのは管理者のみです。

プログラムの登録のしかた

- **1** 登録する送信条件を設定した状態で、プログラム キーを押してください。
- **2** [登録] を押してください。
- 3 登録するプログラム番号(1~50)を押してください。

参考: すでに登録されているプログラム番号を選択 すると、現在設定されている機能に置き換えること ができます。

4 プログラム名を入力し、[登録]を押してください。プログラムが登録されます。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 カ方法を参照してください。

登録内容の変更と削除のしかた

プログラム番号とプログラム名を変更したり、プログラムを削除したりできます。

- **1 プログラム**キーを押してください。
- [編集]を押して、変更または削除するプログラ ム番号(1~50)のキーを押してください。
- プログラム番号を変更する場合は、「番号」の
 [変更]を押してください。[+]、[-]またはテンキーを押して、プログラム番号を変更し、
 [OK]を押してください。

プログラム名を変更する場合は、「名前」の [変 更]を押してください。プログラム名を入力し、 [OK]を押してください。プログラム名が正しく 入力できているか確認してください。 4 [登録] を押してください。変更の確認画面で [はい] を選択すると、プログラムが変更されます。

削除する場合は、[このプログラムを削除]を押 してください。削除の確認画面で[はい]を押す と、プログラムが削除されます。

1 プログラムキーを押してください。

- **2** 原稿をセットしてください。
- 3 [呼び出し]を押して、呼び出すプログラム番号 (1~50)のキーを押してください。[番号]を押 すと、プログラム番号を直接入力して呼び出すこ とができます。

参考:呼び出したプログラムから送信する相手先の 変更など送信条件を変更することもできます。

4 スタートキーを押してください。送信が開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

プログラムの使いかた

)1 IDカードコピー █	02 エココピー ()	03 マル秘スタンプ 🔯	04 Send 1	番号
05 Send 2	06 FAX 1	07 FAX 2	08 Box 1	
09	10	11	12	1/3
13	14	15	16	
17	18	19	20	

受信側の操作で通信を開始する【ポーリング通信】

ポーリング通信とは、受信側から操作して送信側の原稿を受信する通信方法です。受信側は自分の都合に合わせて原稿を受け取ることができます。本機では、ポーリング送信とポーリング受信ができます。

重要:この通信は、受信側から送信側にダイヤルする操作を行うため、電話料金は通常受信側の負担になります。

ポーリング送信

ポーリング送信用として原稿をポーリングボックスに保存します。相手先からのポーリング受信要求がある と自動的に送信します。

相手先に送信されたポーリング送信用の原稿は自動的に削除されますが、ポーリング送信後原稿の削除を [設定しない] にしておけば、原稿は削除するまでポーリングボックスに保存されます。同じ原稿を何度で もポーリング送信することができます。(4-50ページ参照)

参考:ポーリング送信用の原稿は10件まで保存できます。

相手先からポーリング受信要求があるまでは、送信する原稿を後から追加、上書きすることができます。 詳細は、4-50ページの上書き保存許可設定を参照してください。

さらに、Fコードを使用すると、次のような通信が可能になります。

Fコード掲示板通信

ポーリングボックスを掲示板のように使用し、多数の相手先が自由に原稿を受信できる通信方法です。ポー リング送信後原稿の削除を[設定しない]にして、同じ原稿を何度でもポーリング送信できるようにしてお きます。さらに、F コード[†]を使用することによって、相手先が他社機であっても、同様のF コード掲示板通 信機能を備えていれば通信することができます。



重要:相手先が、同様のFコード掲示板通信機能を備えていることが必要です。ファクスによっては、原稿を保存できなかったり、ポーリング受信ができなかったりする場合があります。それぞれの状況に合わせた機能が備わっていることを、送信側と受信側であらかじめ確認してください。(例えば、本機がポーリングボックスに原稿を保存しても、受信側のファクスにポーリング受信機能が備わっていない場合は通信が成立しません。)

送信側は、FコードサブアドレスとFコードパスワードを受信側に伝えておく必要があります。

* 本機ではFコードサブアドレスとFコードパスワードです。

参考:Fコードについての詳細は、4-44 ページのFコードを使って通信する【Fコード通信】を参照して ください。

F コード掲示板通信での受信方法は、4-53 ページの F コードを使用するポーリング受信のしかたを参照してください。

ポーリング送信後原稿の削除

相手先に送信されたポーリング送信用の原稿は自動的に削除します。同じ原稿を複数の相手先にポーリング 送信する場合は、[**設定しない**] にしてください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [文書ボックス / 外部メモリー] →「ポーリング ボックス」の[変更] →「送信済み文書削除」の [変更]の順に押してください。
- **3** [設定しない] または [設定する] を選択してく ださい。
- **4** [OK] を押してください。

上書き保存許可設定

上書き保存するときは [許可する] にしてください。

ポーリングボックスに保存された文書で、同じ文書名を付けた場合、上書き保存できます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [文書ボックス / 外部メモリー] →「ポーリング ボックス」の[変更] →「上書き保存許可」の [変更]の順に押してください。
- **3** [禁止する] または [許可する] を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

ポーリング送信のしかた

- 1 文書ボックスキーを押してください。
- **2** 原稿をセットしてください。
- 3 [ファクスボックス] → [ポーリングボックス]
 → [文書保存] の順に押してください。

4 保存する原稿に必要な機能を変更してください。 各機能の使いかたは本体の使用説明書を参照して ください。原稿の画質については 3-8 ページの操 作で変更してください。

機能	
縮小/拡大	保存サイズに合わせて、原稿を自動で縮小 / 拡大して読み込むことが できます。
原稿セット向き	原稿を正しい向きに保存するため、原稿の上部の向きを指示します。 次の機能を使用する場合は、原稿のセット向きを選択する必要があ ります。
	 両面 / 見開き原稿
	 枠消し
枠消し	原稿のまわりにできる黒い枠を消去して読み込みます。
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを選択します。不定形サイズの原稿を使用す る場合は、必ず原稿サイズを選択してください。
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用して、サイズの異なる原稿をまとめてセットし、 保存できます。この方法で原稿送り装置にセットできる枚数は、最 大 30 枚です。
文書名入力	読み込む原稿のファイル名を変更できます。ジョブ番号や日付も付 加できます。
濃度	原稿の読み込み濃度を調整します。
両面 / 見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。
保存サイズ	保存サイズ(保存する原稿のサイズ)を選択します。
読み込み解像度	原稿をどの程度細かく読み込むかを選択します。
連続読み込み	原稿送り装置に一度にセットできない枚数の原稿を、数回に分けて 読み込んだ後、一つのデータとして保存できます。この方法では、 [読み込み終了]を押すまで、原稿を読み込み続けます。
長尺原稿	原稿送り装置を使用して、長尺原稿(給紙される方向に長い原稿) を読み込むことができます。
センター移動	原稿サイズと送信サイズを指定してスキャンした場合、サイズに よっては、用紙の下側または左右どちらかに余白ができます。セン ター移動すると、この余白が上下左右均等になるように画像を配置 することができます。
ジョブ終了通知	ジョブが終了すると、メールで知らせることができます。
原稿の画質	原稿の種類に合わせて、画質を選択します。

- 5 F コードを使用する場合は [∨] → [F コード]
 → [設定する]の順に押してください。
- **6** [サブアドレス] を押して、テンキーでFコードサ ブアドレスを入力してください。

参考: F コードサブアドレスは、0~9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。

7 F コードパスワードを設定する場合は、[パスワード] を押して、テンキーでFコードパスワードを入力してください。

参考: F コードパスワードを入力した場合は、パス ワードが一致しないと送信しません。

F コードパスワードは0~9の数字とスペース、 「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できま す。

- **8** [OK] を押してください。
- 9 スタートキーを押してください。原稿を読み込み、ポーリングボックスに保存します。

参考:[プレビュー]を押すと、保存する画像のプ レビューを参照できます。詳細は、3-22 ページの送 信する原稿のイメージを確認するを参照してくださ い。

ポーリング受信

受信側からダイヤルして、送信側に保存されている原稿を自動的に送信させる機能です。複数の相手先を指 定した場合は、順次ダイヤルと受信を繰り返します。

参考:宛先にグループを使用すれば、1回の操作で最大500ケ所の相手先から原稿を受信することができます。暗号通信が登録されている宛先を指定した場合、暗号通信を無効にしてポーリング受信をします。

ファクスキットを2台装着しているときに、受信専用ポートが設定されている場合は、受信専用ではない 方のポートから通信を行います。

ポーリング受信を行うためには、相手先があらかじめポーリング送信を準備している必要があります。 (4-49ページのポーリング送信参照)

ポーリング受信のしかた

参考:相手先が F コードを使用しているときは、次の F コードを使用するポーリング受信のしかたを参照 してください。

- 1 ファクスキーを押してください。
- [応用 / その他] → [ファクスポーリング受信] の 順に押してください。
- 3 [設定する] を押してください。
- **4** [OK] を押してください。

- 5 宛先を選択してください。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を [設定しない] に設定している場合は、番号入力後、[OK]
 を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定する] に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押 すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号 を入力して[OK]を押してください。
- 「新規宛先の入力」の設定が[禁止にする]に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、4-57ページのファクス番号のテンキー入力を禁止するを参照してください。
 番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。

新規宛先の入力確認画面の設定については、本体 の**使用説明書の新規宛先の入力確認画面の設定**を 参照してください。

参考:選択できる宛先は、ファクス番号のみです。

宛先は、テンキー入力、アドレス帳およびワンタッ チキーを組み合わせて選択することができます。

6 スタートキーを押してください。受信のための動 作を開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してください。

Fコードを使用するポーリング受信のしかた

ポーリング受信時に、相手先で設定されているFコード(本機ではFコードサブアドレスとFコードパス ワード)を入力します。相手先が他社機であっても、同様のFコード通信機能を備えていれば通信が可能で す。

重要:相手先に設定されている F コード (F コードサブアドレスと F コードパスワード)をあらかじめ確認してください。

- **1 ファクス**キーを押してください。
- [応用 / その他] → [ファクスポーリング受信] の 順に押してください。
- 3 [設定する] を押してください。

- **4** [OK] を押してください。
- 5 宛先を選択してください。その際に、4-44 ページ のFコード送信のしかたを参照して、Fコードを 入力してください。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を [設定しない] に設定している場合は、番号入力後、[OK] を押すと番号が確定されます。
- 「新規宛先の入力確認画面の設定」を[設定する] に設定している場合は、番号入力後、[OK]を押 すと確認画面が表示されます。再度ファクス番号 を入力して[OK]を押してください。
- 「新規宛先の入力」の設定が [禁止にする] に設定されているときは、テンキーを使って入力できません。詳しくは、4-57ページのファクス番号のテンキー入力を禁止するを参照してください。
 番号確定後、[新規ファクス]を押すと、次のファクス番号が入力できます。

[編集]を押すと、入力した番号を変更できます。 新規宛先の入力確認画面の設定については、本体 の使用説明書の新規宛先の入力確認画面の設定を 参照してください。

参考:選択できる宛先は、ファクス番号のみです。

宛先は、テンキー入力、Fコードが登録されている アドレス帳およびワンタッチキーを組み合わせて選 択することができます。

6 スタートキーを押してください。受信のための動 作を開始します。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を[設定す る]に設定している場合は、スタートキーを押した ときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してくだ さい。

ポーリングボックスからの印刷のしかた

ポーリングボックスに保存されている原稿を印刷できます。

- 1 文書ボックスキーを押してください。
- [ファクスボックス] → [ポーリングボックス]
 の順に押してください。

3 リストの中から、チェックボックスを押して原稿 を選択してください。選択した原稿にはチェック マークがつきます。

参考: 選択を解除するときは、チェックボックスを 押してチェックマークを消してください。

原稿の画像を確認したいときは、プレビューを参照 することができます。プレビューについては、4-42 ページのプレビューの参照のしかたを参照してくだ さい。

ポーリングボックス内の一覧の操作については、本 体の使用説明書を参照してください。

[印刷]を押してください。

印刷の確認画面で [はい] を押してください。印 刷を開始します。

	削除	文書保存
	لې	閉じる
	m e	2011/12/12 10:10

	▲ 文書名	▲日時	▲サイズ		
~	doc20101010094533	2011/12/12 09:45	23 KB		名前検索
	doc20101010095022	2011/12/12 09:50	4 KB		
	doc20101010100011	2011/12/12 10:00	5 KB	1/1	
				1/1	
					詳細
				\sim	プレビュー
刷			削除		文書保存
				لي ا	閉じる
状況				<mark>111</mark> E	2011/12/12 10:10

ポーリングボックスからの削除のしかた

▲日時

2011/12/12 09:50

2011/12/12 10:00

☑ ▲ 文書名

☑ △ 文書名

doc20101010095022

 \checkmark

 \checkmark

doc20101010095022

doc20101010100011

 $\overline{}$

 \checkmark

 \checkmark

印刷

ポーリングボックスに保存されている原稿を削除します。

.....

 $\overline{}$

V

名前検索

詳細 プレビュー

文書保存 閉じる

▲サイズ

23 KB

4 KB

5 KB 1/1

削除

^

名前検索

▲サイズ

参考:ポーリング送信後原稿の削除を[設定する]にしている場合は、ポーリング送信後の原稿は自動的 に削除されます。(4-50ページ参照)



2 [削除] を押してください。

3 削除の確認画面で [はい] を押してください。原 稿を削除します。

詳細情報の確認/ファイル名の変更のしかた

▲日時

2011/12/12 09:50 4KB

ポーリングボックスに保存されている原稿の詳細情報を確認できます。また、ファイル名を変更できます。

- 1 4-54 ページのポーリングボックスからの印刷のし **かた**の手順1~3を行ってください。
- **2** [詳細] を押してください。

3 選択した原稿の詳細情報が表示されます。

	doc201010101000	11	2011/12/12 10	0:00	5 KB	1/1		
							₽¥ ém	
							6770	
						\leq	JULI-	
印刷					削除		文書保存	
						لع	閉じる	
状況							2011/12	12 10:10
文書:		doc20081010101	033					
文書名: 	71010095033	変更	>					
ページ数:								
<u> </u>								
解像度:			日時:					
200x100	dpi ノーマル		20	11/12/12	10:10			_
F⊐−⊦ĭ								
1234567	890							
						لم	閉じる	
状況						<u>m</u> r	2011/12	12 10:10

項目	説明	
文書名	原稿のファイル名	
	[変更]を押すと、ファイル名を変更できます。	
ページ数	原稿の枚数	
解像度	読み込み時の解像度	
Fコード	設定されている F コードサブアドレス	
	情報がない場合は項目が表示されません。	
日時	原稿が保存された日時	

4 確認を終了するときは、[閉じる] を押してくだ さい。

プレビューの参照のしかた

ポーリングボックスに保存されている原稿の画像を、タッチパネル上で参照できます。

- 4-54 ページのポーリングボックスからの印刷のし かたの手順1~3を行ってください。
 - **2** [プレビュー]を押してください。プレビュー画 面が表示されます。

プレビュー画面については、4-42 ページの**プレ** ビューの参照のしかたを参照してください。

ーリングボ	ックス				1
	文書名	▲日時	▲サイズ		
	doc20101010094533	2011/12/12 09:45	23 KB		名前検索
$\overline{\checkmark}$	doc20101010095022	2011/12/12 09:50	4 KB		
\checkmark	doc20101010100011	2011/12/12 10:00	5 KB	1/1	
					詳細
				\sim	プレビュー
刷			削除		义言体行
				_	
				[4]	閉じる

ファクス番号のテンキー入力を禁止する

ファクスを送信するときに、テンキーでの直接入力を禁止することができます。 禁止すると、アドレス帳やワンタッチキーに登録した相手先以外にファクス送信できなくなります。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ファクス] → [新規宛先の入力] の順に押して ください。
- 3 [禁止する] (テンキーでのファクス番号入力を禁止する)、または [許可する] を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

ファクスの使用状況などを管理する【管理機能】

管理機能は、本機を使用できるユーザーを特定するユーザー管理と部門別の使用量を管理する部門管理に分かれます。ユーザー管理ではユーザー名とパスワードによって1,000人までのユーザーを管理できます。部門 管理では部門コードを入力してから送信や通信予約を行うことによって、1,000部門までのファクスの使用状 況を各部門ごとに把握することができます。各管理方法については本体の**使用説明書**を参照してください。

ユーザー管理設定の内容

項目	内容
ローカルユーザーリスト	ユーザーの権限、ユーザー名やパスワードなどを登録します。
ユーザー管理の有効 / 無効	ユーザー管理を有効または無効にします。

参考:詳細は本体の使用説明書を参照してください。

部門管理設定の内容

項目	内容
部門リスト	部門名や部門コード(最大8桁)を登録します。
部門管理	部門管理を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。使用の禁止や制限をなくすこと もできます。
ファクスポート制限†	使用するポートを制限します。
使用枚数の集計	全部門または部門別に、ファクスの送信ページ数やファクスの送信 に使用した時間を参照しリセットできます。
部門レポートの印刷	全部門で集計された印刷や送信のページ数を印刷できます。

† ファクスキットが2台必要です。

参考:詳細は本体の使用説明書を参照してください。

部門管理の対象となる通信形態

- 通常送信
- タイマー送信
- 同報送信
- F コード送信
- 暗号送信
- 本機より相手先へダイヤルした場合の手動送信
- ポーリング受信
- Network FAX 送信*
- インターネットファクス送信
- 文書ボックスからの送信
 - * 送信先として、ファクスおよびインターネットファクスを含みます。

使用機能の制限

部門管理を有効にすると、次の操作を行うときには部門コードの入力が必要となります。

- 通常送信
- タイマー送信
- 同報送信
- F コード送信
- ファクスボックスからの印刷
- 暗号送信
- 本機より相手先へダイヤルした場合の手動送信
- ポーリング受信
- Network FAX 送信*
- インターネットファクス送信
- 文書ボックスからの送信
 - *送信先として、ファクスおよびインターネットファクスを含みます。

重要:「接続された電話で電話をかける」、「ファクスボックスの履歴確認」、「通信管理レポート印刷」は、 部門コードや管理者番号の入力なしでも行うことができます。

部門管理が有効であるとき、一括送信機能は部門コードが同一のものについてのみ働きます。部門コードが 異なる通信は一括送信されません。

通常、発信元記録には自局名称が印刷されますが、部門管理が有効であるときに部門コードを入力して送信 を行った場合は、部門名または自局名称から選択したものが印刷されるように設定できます。設定方法につ いては、6-5ページの自局情報の登録を参照してください。

ユーザー管理が有効であるときにログインする

ユーザー管理を有効にすると、本機を使用する際に、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

1-ザー名と/	パスワードを入力してください。	
認証先:	□- <i>カ</i> ル	
ログイン ユーザー名	abcdef	
	-	テンキー
ログイン パスワード	******	
		テンキー
		ICカード ログイン
カウンター参照		キャンセル 🚽 ログイン
状況		2011/12/12 10:10

1 [**ログインユーザー名**] を押してください。

ユーザー名を入力して、[OK] を押してください。

参考:文字の入力方法は付録 -2 ページの文字の入 力方法を参照してください。

- **3** [ログインパスワード] を押してください。
- **4** パスワードを入力して、[OK] を押してください。
- 5 正しいユーザー名とパスワードが入力されている ことを確認して、[ログイン]を押してください。
- **6** ファクスの操作を行ってください。

参考:操作が終了したら、認証/ログアウトキーを 押してください。

部門管理が有効であるときにログインする

部門管理を有効にすると、本機を使用する際に部門コードを入力する必要があります。

参考:ユーザー管理と部門管理が両方有効である場合には、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

□ 部門コードを入力してください。	

カウンター参照	↓ ログイン
状況	2011/12/12 10:10

1 テンキーで部門コードを入力して、[**ログイン**] を押してください。

参考:部門コードを入力して [カウンター参照] を 押すと、その部門が使用した枚数を確認できます。 カウンター参照画面で [閉じる] を押すとログイン します。

2 ファクスの操作を行ってください。

参考:操作が終了したら、認証 / ログアウトキーを 押してください。

ファクス送信された原稿を設定した宛先にも送信する

ユーザーがファクスを送信すると、送信した原稿が管理者の設定した宛先にも送信するように設定できま す。

参考:この機能は、送信機能での設定を行うことで、ファクスにも設定されます。ファクスのみ設定する ことはできません。 設定方法については、本体の使用説明書を参照してください。

その他の便利な機能

ファクスを送信するときに使用できる便利な機能を紹介します。各機能の使いかたは本体の**使用説明書**を参照してください。

原稿サイズを選択する【原稿サイズ】

原稿の読み込みサイズを選択します。不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを選択してく ださい。 原稿サイズは、ファクス送信時に選択できます。

送信サイズを選択する【送信サイズ選択】

送信サイズ(送信する画像のサイズ)を選択します。

原稿を縮小または拡大して送信する【縮小 / 拡大】

送信サイズに合わせて、原稿を自動で縮小 / 拡大して読み込むことができます。

参考:原稿を等倍で読み込んだ場合でも、相手機側で設定している用紙サイズによっては縮小されて送信 されることがあります。

サイズの異なる原稿を一緒に送信する【原稿サイズ混載】

原稿送り装置を使用して、サイズの異なる原稿をまとめてセットし、送信できます。この方法で原稿送り装置にセットできる枚数は、最大 30 枚です。

参考:ダイレクト送信時は、原稿サイズ混載を使用できません。(3-3ページの送信方法の選択参照)

原稿の種類を選択する【両面 / 見開き原稿】

原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。

原稿	種類	とじ方向
片面のシート原稿	片面原稿	-
両面のシート原稿	両面原稿†	左/右とじ、上とじ
雑誌や本などの見開きの原稿	見開き原稿サヤ	左とじ、右とじ

† 原稿送り装置を使用時のみ。

↑↑ 原稿ガラスを使用時のみ。

参考:ダイレクト送信時は、[両面原稿] と [見開き原稿] を使用できません。(3-3 ページの送信方法の 選択参照)

両面のシート原稿を選択しているときは、原稿セット向きの変更ができます。

原稿の置きかたを決める【原稿セット向き】

原稿を正しく読める向きに送信するため、原稿の上部の向きを指示します。両面/見開き原稿を設定する場 合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

原稿に合わせて画質を変更する【原稿の画質】

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。

項目	詳細
文字+写真	文字と写真が混在する原稿の場合。
写真	写真原稿の立体感を出す場合。
文字	えんぴつや細線をくっきりと再現する場合。
	文字を選択した場合、OCR 画面 [†] が表示されます。OCR アプリケーション ソフト(画像として取り込んだデータをテキストデータに変換するソフト ウェア)での読み込みに適した画質にする場合は[使用する]を、しない場 合は[設定しない]を押してください。

↑ ファクスの送信時は、[文字] に変更されます。

大量の原稿を一度に送信する【連続読み込み】

原稿の枚数が多く原稿送り装置に一度にセットできないときに、数回に分けて読み込んだ後、一括送信でき ます。この方法では、[読み込み終了]を押すまで、原稿を読み込み続けます。

読み込みの途中で、次の機能を変更できます。

- 原稿サイズ選択
- 片面 / 両面選択
- 送信サイズ選択
- 原稿セット向き
- 原稿の画質
- 読み込み濃度
- ファクス送信解像度
- 縮小/拡大
- 枠消し

参考:ダイレクト送信時は片面/両面選択のみ変更できません。

原稿のまわりを消去する【枠消し】

原稿のまわりにできる黒い枠を消去して読み込みます。枠消しには次の方法があります。

シート枠消し



ブック枠消し



シート原稿のまわりにできる黒い枠を消します。

4

分厚い本などを読み込む際、本のまわりや中央の黒い 枠を消します。枠消しの幅は、本の周りと中央を別々 に設定できます。

個別枠消し



上下左右の枠消し幅を別々に設定できます。 枠消しの各方法で使用できる枠消し幅は0~50mm (1mm 単位)です。

送信が終了したことを通知する【ジョブ終了通知】

送信の完了をメールで知らせる機能です。

送信する原稿の控えを印刷する【送信控え印刷】

送信するとき、送信する原稿の控えを印刷することができます。

送信する原稿の控えを保存する【送信控え保存】

送信するとき、送信する原稿の控えを文書ボックスに保存することができます。

5 通信結果や登録した内容の確認

この章では、ファクスの通信結果やファクス機能の登録内容を確認する方法を説明します。

- 通信結果や登録した内容を確認する ...5-2
- ファクスジョブの送信 / 受信履歴を確認する ...5-3
- 管理レポートを印刷する ...5-7
- ファクスの受信結果をメールで知らせる5-11
- 宛先確認画面について ...5-12

通信結果や登録した内容を確認する

ファクスの通信結果や登録内容は次の方法で確認できます。

確認方法	表示場所	確認できる内容	確認のタイミング	参照ページ
ファクスジョブの履 歴確認	タッチパネル	最近の送 / 受信およびファク ス保存 100 件の履歴	任意	5-3 ページ
送信結果レポート /	レポートを印刷	直前の送信または受信の結果	送/受信のたびに自動印刷	5-7 ページ
受信結果レポート			(印刷なし/エラー時のみも選 択可)	5-8 ページ
通信管理レポート	レポートを印刷	最近の送/受信 50 件の結果	任意、および送/受信 50 件ご とに自動印刷(印刷なしも選 択可)	5-8 ページ
ステータスページ	レポートを印刷	自局ファクス番号、自局名称、 回線などの登録状況	任意	5-10 ページ
受信結果のメール通 知	コンピューター	ファクスの受信	ファクスを受信するとメール 通知	5-11 ページ

ファクスジョブの送信 / 受信履歴を確認する

最近の送/受信それぞれ100件までをタッチパネルに表示させ、確認することができます。

参考:部門管理が有効である場合でも、部門コードに関係なく、送信結果、受信結果それぞれ 100 件が表示されます。

ジョブの履歴確認についてさらに詳しくは、本体の使用説明書を参照してください。

ジョブ履歴画面の表示

- **1** 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 送信結果を確認するときは [送信ジョブ]、受信 結果を確認するときは [印刷ジョブ]、ファクス ボックスおよびポーリングボックスへの保存の結 果を確認するときは [保存ジョブ] を選択し、 [履歴] を押してください。
- 「ジョブ種類」の [♥] を押して「ファクス」または「i-ファクス」を選択してください。

		状況		予約ジョブ			履歴	
	ジョブ種類	すべて	\otimes					
	番号	すべて	宛先		-د	ザー名	結果	
	438 1	🕎 ファクス					処理中	\sim
		🀚 ⊢ファクス						
		🖾 メール						1/1
		淕 フォルダー					1	
		📓 アプリケーション						\sim
l h		▼ 次へ			1			
						86 86	斜田	
	印刷ジョブ	送信ジョブ		保存ジョブ	Ť	バイス/通信	R _ F	月紙/消耗品
	状況							2011/12/12 10:10

ジョブ履歴画面の内容

各ジョブ履歴画面で表示される項目と各キーの働きは次のとおりです。

印刷ジョブ履歴画面

表示 / キー	説明
番号	ジョブ受付番号
終了日時	ジョブ終了日時
種類	ジョブの種類を示すアイコン
	「「シーファクス受信
	🍖 インターネットファクス受信
ジョブ名	ジョブ名
ユーザー名	ユーザー名
	情報がない場合は空欄になります。
結果	結果表示
	正常終了:ジョブは正常に終了しました。
	中止:ジョブはキャンセルされました。
	エラー:ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。
「ジョブ種類」の [≫]	特定の種類のジョブだけを表示できます。(ここではファクス受信またはイン ターネットファクス受信)
[詳細]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。 (5-5ページのジョブ履歴の詳細情報の確認参照)

送信ジョブ履歴画面

 表示 / キー	説明
番号	ジョブ受付番号
終了日時	ジョブ終了日時
種類	ジョブの種類を示すアイコン
	「「」 ファクス送信
	🍥 インターネットファクス送信
宛先	送信先(宛先名 / ファクス番号 / インターネットファクスアドレスのいずれか)
ユーザー名	ユーザー名
	情報がない場合は空欄になります。
結果	結果表示
	正常終了:ジョブは正常に終了しました。
	中止:ジョブはキャンセルされました。
	エラー:ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。
	結果未達:送信を行ったが、相手先から受取信号が送られてきません。
「ジョブ種類」の [≫]	特定の種類のジョブだけを表示できます。(ここではファクス送信またはイン ターネットファクス送信)
	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください (5-5 ページのジョブ履歴の詳細情報の確認参照)。

保存ジョブ履歴画面

表示 / キー	説明
番号	ジョブ受付番号
終了日時	ジョブ終了日時
種類	ジョブの種類を示すアイコン
	「「」 ファクス受信データの保存
	🎯 インターネットファクス受信データの保存
ジョブ名	ジョブ名
ユーザー名	ユーザー名
	情報がない場合は空欄になります。
結果	結果表示
	正常終了:ジョブは正常に終了しました。
	中止:ジョブはキャンセルされました。
	エラー:ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。
「ジョブ種類」の [≫]	特定の種類のジョブだけを表示できます。
[詳細]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください (5-5 ページのジョブ履歴の詳細情報の確認参照)。

参考:ポーリングボックスへ保存したジョブの種類はスキャナー (
) になります。

ジョブ履歴の詳細情報の確認

各ジョブ履歴の詳細情報を確認することができます。

ジョブ履歴の詳細情報の表示

詳細 ジョブ番号: 000080		
ジョブ番号:	結果/宛先	詳細/編集
000080	処理中	>
ジョブ種類:	宛先数:	
ファクス送信	ABCDE	
ユーザー名:		
User1		
ジョブ名:		
doc2008101005151		
開始時刻		
10:10	^	1/2
		↓ 閉じる
秋況		2011/12/12 10:10

- 1 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 2 [印刷ジョブ]、[送信ジョブ] または [保存ジョブ] → [履歴] の順に押してください。
- 3 確認するジョブを選択し、[詳細]を押してくだ さい。

選択したジョブの詳細情報が表示されます。

参考: [∧] または [∨] を押して、次 / 前のページの情報を確認できます。

4 確認を終了するときは、[閉じる] を押してくだ さい。

詳細画面の内容

項目	説明
ジョブ番号	ジョブ受付番号
結果(結果/宛先)	結果表示
	正常終了:ジョブは正常に終了しました。
	中止:ジョブはキャンセルされました。
	エラー:ジョブはエラーが発生したため正常に終了できませんでした。
	[詳細]を押すと、送信先ごとの結果を確認できます。
ジョブ種類	ジョブの種類
宛先数	送信先件数を表示します。
ユーザー名	ユーザー名
	情報がない場合は空欄になります。
ジョブ名	ジョブ名
受付時刻	ジョブの受付時刻
終了時刻	ジョブの終了時刻
原稿ページ数	原稿の枚数
カラー / 白黒	原稿読み込み時のカラーモード
通信先	相手機に登録されている自局名または自局ファクス番号(ファクス受信、 手動受信の場合)
	i- ファクスの差出人アドレス(i- ファクス受信の場合)
	情報がない場合は空欄になります。
印刷ページ数	印刷の枚数

管理レポートを印刷する

ファクスの送信結果をレポートで印刷します。
 ※複数の宛先にメール/フォルダーが含まれる送信結果も同時に印刷します。

全体を添付

キャンセル

Lه] ОК 2011/12/12 10

111

送信画像の添付

設定しない

さまざまな管理レポートを印刷して、通信結果やファクス機能の設定状況などを確認することができます。

送信結果レポート

設定しない

設定する

エラー時のみ

送信するごとにレポートを印刷させて、正常に送信されたかを確認することができます。また、送信結果レ ポートに送信した画像を印刷できます。



- 2 [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→ 「送信結果レポート」の「次へ]→「ファクス」 の[変更]の順に押してください。
- [設定しない](常に印刷しない)、[設定する] 3 (常に印刷する)、または [エラー時のみ] を選択 してください。

[設定する] または [エラー時のみ] を選択した 場合は、送信画像の添付について、[設定しない] (送信画像を印刷しない)、[一部を添付](送信画 像を等倍で印刷する)または [全体を添付](送 信画像の全体を印刷する)を選択してください。

......

4 [OK] を押してください。

送信画像なし

送信結果レポート	
完了	

送信画像あり 送信結果レポート 完了

送信前に中止されたジョブのレポート

送信を開始する前にジョブを中止したときに、送信結果レポートを印刷します。

- 1 **システムメニュー**キーを押してください。
- 2 [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→ 「送信結果レポート」の[次へ]→「送信前の中止 レポート」の[変更]の順に押してください。
- **3** [設定しない]または[設定する]を押してください。
- **4** [OK] を押してください。



受信結果レポート

受信するごとにレポートを印刷させて、正常に受信できたかを確認することができます。

参考:受信結果レポートの代わりに、受信をメールで通知するように変更できます。(5-11 ページのファ クスの受信結果をメールで知らせる参照)

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [レポート]→「結果通知設定」の[次へ]→
 「ファクス受信結果通知」の[変更]の順に押してください。
- 3 [設定しない](常に印刷しない)、[設定する] (常に印刷する)、または[エラー/ボックス保存 のみ]を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。



通信管理レポート

通信管理レポートには、ファクス発信管理レポートとファクス着信管理レポートがあり、それぞれ最近の発信または着信 50 件の情報を確認できます。自動印刷にすると、発信 50 件または着信 50 件ごとに、自動的にレポートが印刷されます。

通信管理レポートの印刷

最近の発信または着信50件の情報をレポートにして印刷します。

- **1** 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 2 [デバイス/通信] →「ファクス」の[通信履歴] の順に押してください。
- 3 ファクス発信管理レポートを印刷する場合は [発信]を、ファクス着信管理レポートを印刷する場合は [着信]を押してください。

5

1	アァクス通信履	Æ				
5		発信	着信			
	日時	家 失		学细	結里	
	10/10 09:50	A OFFICE	12345678	07.44	正常終了。	
	10/10 09:45	A OFFICE	12345678		エラー 💈	<u>8</u>
	10/10 09:30	A OFFICE	12345678		正常終了 🕻	1/1
	10/10 09:25	A OFFICE	12345678		正常終了	×
	10/10 09:15	A OFFICE	12345678		正常終了 🧯	
(レポート印刷				詳細	
					a ا	羽じる
	状況				111 1	2011/12/12 10:10

4 [レポート印刷] を押してください。

参考:表示されているファクスジョブを選択して、 [詳細]を押すと、各ジョブの詳細情報を確認でき ます。

5 印刷の確認画面で [はい] を押してください。レ ポートが印刷されます。



自動印刷

発信 50 件または着信 50 件ごとに、自動的に通信管理レポートが印刷されます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [レポート] →「管理レポート設定」の[次へ]
 →「ファクス発信レポート」または「ファクス着
 信レポート」の[変更]の順に押してください。
- **3** [設定しない](印刷しない)または [設定する] (印刷する)を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

ステータスページ

ステータスページには、ユーザーが本機に設定したさまざまな項目が記載されています。ファクス関連で は、自局ファクス番号、自局名、回線設定などがあります。必要に応じて印刷してください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [レポート] →「レポート印刷」の[次へ] →
 「ステータスページ」の[印刷]の順に押してください。
- **3** 印刷の確認画面で [はい] を押してください。ス テータスページが印刷されます。



ファクスの受信結果をメールで知らせる

Job No.: 000019 Result: OK End Time: Sun 23 Apr 2006 14:53:38 File Name: doc23042006145300

Result Job Type Address

OK FAX 123456

XX-XXXX [00:c0:ee:1a:01:24] ファクスを受信したときに、受信結果レポートを印刷 する代わりに、メールで知らせることができます。

参考:この設定は、「ファクス受信結果通知」が [設定する] または [エラー / ボックス保存のみ] であるときに表示されます。詳しくは、5-8 ページ の受信結果レポートを参照してください。

メール通知は、「ファクス受信結果通知」の設定に したがって実行されます。「ファクス受信結果通知」 が[設定する]の場合は毎回メール通知されます。 [エラー/ボックス保存のみ]の場合は、エラーが 起こったとき、または受信原稿がファクスボックス に転送されたときのみメール通知されます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [レポート] →「結果通知設定」の[次へ] →
 「受信結果通知方法」の[変更]の順に押してください。
- 3 送信先をアドレス帳から選択するときは、[メー ルアドレス帳]を押して、[アドレス帳]を押し てください。

メールの送信先を指定して、**[OK]**を押してくだ さい。

参考:アドレス帳で送信先を選択する手順は、3-15 ページの宛先をアドレス帳から選ぶを参照してくだ さい。

アドレスを直接入力する場合は、[メールアドレ ス入力]を押して、[メールアドレス]を押して ください。

メールアドレスを入力して、[OK] を押してくだ さい。128 文字まで入力できます。

参考:文字の入力方法は、付録 -2 ページの文字の 入力方法を参照してください。

4 [OK] を押してください。

宛先確認画面について

送信前の宛先確認画面の設定を[設定する]に設定している場合は、スタートキーを押すと、宛先を確認す るための宛先確認画面が表示されます。詳しくは、本体の使用説明書の送信前の宛先確認画面の設定を参照 してください。

宛先確認画面の操作手順は、次のとおりです。

宛先リストを最終ページまで確認してください。 リストを確認後、「確認完了」を押して、スタートキーを押してください。				^{宛先数} 1
A OFFICE	宛先 1234567 1234567 	詳細 1990	▲1/1✓	詳細
状況 🔒 ユー	ザー: Admin			2011/12/12 10:10

1 [∨]または [∧]を押して、すべての送り先を 確認してください。

[詳細]を押すと、選択した送り先の詳しい情報 が参照できます。

送り先を削除するときは、削除する送り先を選択 して[削除]を押してください。削除の確認画面 で[はい]を押すと送り先が削除されます。

送り先を追加するときは、[**キャンセル**]を押し て元の画面に戻ってください。

2 [確認完了] を押してください。

参考:必ずすべての送り先をタッチパネルに表示し て確認してください。すべての送り先を表示しない と[確認完了]キーは機能しません。

3 スタートキーを押してください。送信が開始され ます。

6 各種設定と登録

この章では、各種の設定や登録のしかたについて説明します。

- 電話回線の種類を選択する ... 6-2
- ・ 送信したファクスに印刷される発信元記録を設定する ...6-3
- 発信元の情報を設定する ...6-4
- ファクスと電話を自動で切り替える【ファクス/電話自動切替受信】...6-7
- ファクスと留守番電話を自動で切り替える【ファクス/留守番電話自動切替受信】...6-9
- 呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】…6-11
- スピーカーの音量を調整する【音量調整】…6-12
- リダイヤルする回数を変更する【リダイヤル回数】…6-13
- 利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】...6-14
- 受信した日時や情報などを印刷する【受信日時記録】…6-15
- ・ 使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】...6-16
- 手差しトレイの使用 / 不使用を選択する【手差しトレイ受信】…6-18
- ファクス通信網を使用して受信する【Fネット無鳴動受信】...6-19
- 1回線で電話とファクスを使い分ける【ダイヤルイン】...6-20
- ・ 通信する相手先を限定する【送受信制限】...6-21
- 原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】...6-29
- 用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】...6-34
- 幅が同じ原稿を受信したときは両面に印刷する【両面受信】…6-35
- 2 枚の原稿を1 枚にまとめて受信する【2in1 受信】...6-36
- サービスセンターからの通信で本機を診断する【リモート診断】…6-37
- ・ 時間を指定してファクスの印刷を禁止する【使用禁止時間】...6-38
- 排紙先を設定する【排紙先】...6-39

電話回線の種類を選択する

契約している電話回線の種類を選択してください。この選択を誤ると、ファクスの送信ができませんのでご 注意ください。

参考:ファクスキットを2台装着して電話回線を2回線使用する場合は、それぞれの回線の種類を選択してください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「送信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「回線設定(ポート1)」また は「回線設定(ポート2)」の[変更]の順に押し てください。
- 契約している電話回線の種類に合わせて、[プッシュ回線 (DTMF)]、[ダイヤル回線 (10PPS)]
 または [ダイヤル回線 (20PPS)] を押してください。
- **4** [OK] を押してください。
送信したファクスに印刷される発信元記録を設定する

発信元記録とは、相手先で受信したファクスに印刷されるこちら側(発信元)の情報のことで、送信日時や 送信ページ数、名前、ファクス番号、インターネットファクスアドレスなどがあります。本機では、発信元 記録を受信側で印刷させるかどうかを選択することができます。印刷させる場合の位置も、送信ページ画像 の内側、外側を選択できます。

参考:発信元記録は、ファクス送信とインターネットファクス送信で同一の設定です。

通常、発信元記録には自局名称が印刷されますが、部門管理が有効であるときに部門コードを入力して送信を行った場合は、部門名または自局名称から選択したものが印刷されるように設定できます。設定方法については、6-5ページの自局情報の登録を参照してください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「送信設定」の[次へ] →「基本 設定」の[次へ] →「発信元記録」の[変更]の 順に押してください。
- **3** 印刷させるときはその位置を、印刷させないとき は[設定しない]を押してください。

4 [OK] を押してください。

ファクス - 発信元記録	
送信画像に発信元の情報を付けます。	
設定しない 原稿外側	原稿内側
	キャンセル 🖌 OK
状況	2011/12/12 10:10

発信元の情報を設定する

発信元記録に印刷される名前(自局名)とファクス番号や、ファクス ID(自局情報)を登録します。発信元の情報を登録すると、受信側ではどこから送られてきた原稿なのかを容易に知ることができます。

名前(自局名)の登録

発信元記録に印刷する発信元の名前を登録します。

参考:ファクスキットを2台装着して電話回線を2回線使用する場合は、2回線分の自局名を登録できます。ただし、登録できるファクス ID は1 つだけです。

登録内容を変更するときも、同様の操作を行ってください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「送信設定」の[次へ] →「基本 設定」の[次へ] →「自局名登録(ポート1)」 または「自局名登録(ポート2)」の[次へ] → 「自局名登録」の[変更]の順に押してください。

入力画面が表示されます。

参考:「自局名登録(ポート1)」で設定した内容 は、インターネット FAX に反映されます。

3 登録する自局名を入力してください。32 文字まで 入力できます。

参考:文字の入力方法は、付録 -2 ページの文字の 入力方法を参照してください。

- **4** [OK] を押してください。
- **5** 「自局名登録(フリガナ)」の[**変更**]を押してく ださい。

入力画面が表示されます。

6 登録する自局名のフリガナを入力してください。 半角カタカナおよび半角英数で32文字まで入力 できます。

参考:文字の入力方法は、付録 -2 ページの文字の 入力方法を参照してください。

7 [OK] を押してください。

キーボードで入力してください。 	制限:32 文字 入力:0 文字
【全角ひらがな ♥ □-マ字漢字 ♥ ↓ ↑ ←	→ バックスペース
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 -	^ ¥
qwertyuiop@	
asdfghjkl::	1
z x c v b n m 、 。 ·	
大文字 小文字 数字・記号 スペース 変換	改行/確定
キャンセル	دل OK

6

自局情報の登録

発信元記録に印刷する発信元の自局情報(自局ファクス番号)を登録します。自局ファクス ID は送受信制 限で使用します。(6-21 ページの通信する相手先を限定する【送受信制限】参照) また、自局情報に部門名や部門コードを設定することができます。 部門名や部門コードの登録方法については、本体の使用説明書を参照してください。

参考:ファクスキットを2台装着して電話回線を2回線使用する場合は、2回線分の自局ファクス番号が 登録できます。ただし、登録できる自局ファクス ID は1つだけです。

登録内容を変更するときも、同様の操作を行ってください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「送信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ]の順に押してください。

自局ファクス番号を登録するときは次の手順に、 自局ファクス ID を登録するときは手順6に進ん でください。

自局ファクス番号登録

ファクス - 自局ファクス番号1	
自局のファクス番号を登録/編集します。 テンキーで入力してください。	
123456789	
キャンセル 🖌 OK	
₩2 2011/12/12 10	0:10

自局ファクス ID 登録

- 3 「自局ファクス番号 1」または「自局ファクス番号
 2」の[変更]を押してください。
 すでに登録されている場合は、現在の登録番号が 表示されます。
- 4 テンキーを使って、登録する自局ファクス番号を 入力してください。
- 20 桁まで入力できます。
- [スペース]を押すと、半角スペースが入力され ます。
- [<]または[>]を押すと、カーソルが移動します。
- [バックスペース]を押すと、カーソルの前の1 文字が削除されます。
- **5** [OK] を押してください。
- 6 「自局ファクス ID」の [変更] を押してください。入力画面が表示されます。



部門名使用の設定

 7 [+]、[-] またはテンキーを押して、登録する 自局ファクス ID の番号を4桁で入力してください。

- **8** [OK] を押してください。
- **9** [閉じる] を押してください。
- **10**「基本設定」の [次へ] →「自局名に部門名を使用」の [変更]の順に押してください。
- **11** 自局名に部門名を使用するときは [設定する] を、自局名称を使用する場合は [設定しない] を 押してください。
- **12** [OK] を押してください。

ファクスと電話を自動で切り替える【ファクス/電話自動切替受信】

1回線で電話とファクスの両方を使用するときに便利な受信方法です。ファクス原稿が送られてくれば自動 的に受信し、相手先が電話のときは本機で呼び出し音が鳴り、応答を促します。

重要:ファクス/電話自動切替受信するためには、本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続することが必要です。

電話機で呼び出し音が設定回数分鳴った後は、受信側が応答しない場合でも発信側に電話料金がかかります。

受信の流れ



参考:会話終了後に手動で受信することもできます。(4-15ページの送られてきたファクスを手動で受信 する【手動受信】参照)

受信の操作

6-14 ページの利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】を参照して、[自動(ファクス/電話)]を選択してください。





 まず接続された電話機(またはオプションのハン ドセット)で呼び出し音が鳴ります。ただし、呼 び出し音が鳴る回数(ファクス/電話自動切替 用)が「0」に設定されている場合は呼び出し音 が鳴りません。

参考:呼び出し音が鳴る回数は変更することができ ます。(6-11ページの呼び出しベルの回数を変更す る【ベル回数】参照)

- 2 相手先が電話のとき
 - 本機で呼び出し音が鳴り、応答を促します。
 30秒間以内に電話の受話器を上げてください。

参考:30秒間以内に受話器を上げない場合、 ファクスの受信に切り替わります。

2 会話をしてください。

参考:会話終了後に手動で受信することもでき ます。(4-15ページの送られてきたファクスを 手動で受信する【手動受信】参照)

相手先がファクスのとき

ファクスの受信を開始します。

ファクスと留守番電話を自動で切り替える【ファクス/留守番電話自動切替 受信】

留守番電話機とファクスを併用するときに便利な方法です。ファクス原稿が送られてくれば自動的に受信 し、相手先が電話のときは接続された留守番電話機の機能にしたがうため、不在の場合には相手先からの メッセージを留守番電話に残すことができます。

重要:ファクス/留守番電話自動切替受信機能の使用時、相手先からの電話がつながってから、1分間経 過するまでの間に30秒以上無音状態が続くと、本機の無音検出機能が働き、ファクス受信に切り替わり ます。

参考:ファクス/留守番電話自動切替受信をするためには、本機に留守番機能付電話機(市販品)を接続 することが必要です。

応答メッセージ等は、各留守番電話機の使用説明書を参照してください。

本機の呼び出しベルの回数は、留守番電話の呼び出しベルの回数よりも多くしてください。(6-11 ページ の呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】を参照)

受信の流れ



受信の操作

6-14 ページの利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】を参照して、[自動(留守番電話)]を選択してください。



1 接続された電話機で設定された回数の呼び出し音が鳴ります。

参考:電話機で呼び出し音が鳴っているときに受話 器を上げた場合は、手動受信のときと同じ状態にな ります。(4-15ページの送られてきたファクスを手 動で受信する【手動受信】参照)

2 留守番電話機が応答します。

相手先は電話だが不在のとき

留守番電話機から応答メッセージが流れ、用件の 録音を開始します。

参考:録音中に無音状態が 30 秒間続くとファ クスの受信に切り替わります。

相手先がファクスのとき

ファクスの受信を開始します。

呼び出しベルの回数を変更する【ベル回数】

相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を、必要に応じて変更することができます。ベル回数は、 本機の受信方式のうち、ファクス専用自動受信、ファクス/留守番電話自動切替受信、ファクス/電話自動 切替受信について、それぞれ変更できます。

参考:ファクス専用自動受信、ファクス/留守番電話自動切替受信のベル回数は1~15回まで、ファクス/ 電話自動切替受信のベル回数は0~15回までの間で変更できます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ]の順に押し、ベル回数を切り替 えたい受信方式の[変更]を押してください。
- **3** [+]、[-] またはテンキーを押して、ベル回数 を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

スピーカーの音量を調整する【音量調整】

本機のモニター音、スピーカー音のボリュームを調整できます。

スピーカー音量:オンフックで電話したときや、相手先の音声とプッシュ回線の信号音を確認したいとき に、スピーカー音量を調整してください。

モニター音量: FAX 通信中の信号音を確認したいときに、モニター音量を調整してください。



- **1 システムメニュー**キーを押してください。
- 【共通設定】→「音設定」の【次へ】→「ファク ススピーカー音量」または「ファクスモニター音 量」の【変更】の順に押してください。
- **3** [1] (小)、[2]、[3] (中)、[4]、[5] (大) また は [0] (消音)を選択してください。

4 [OK] を押してください。

リダイヤルする回数を変更する【リダイヤル回数】

自動的にリダイヤルする回数を変更できます。

参考:リダイヤル回数は0~14回までの間で設定できます。リダイヤルについては、3-21ページの同じ 相手に再送信する(リダイヤル)を参照してください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「送信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「リダイヤル回数」の[変 更]の順に押してください。
- **3** [+]、[-] またはテンキーを押して、リダイヤ ルの回数を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

利用状況に合わせて受信のしかたを切り替える【受信方式】

本機の受信方式には次の4種類があります。

- ファクス専用自動受信 [自動(普通)]
- ファクス / 電話自動切替受信 [自動(ファクス / 電話)](6-7 ページ参照)
- ファクス / 留守番電話自動切替受信 [自動(留守番電話)](6-9ページ参照)
- 手動受信 [手動] (4-15 ページ参照)

本機の使用状況に合わせて、受信方式を選択してください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「受信方式」の[変更]の順 に押してください。
- 3 切り替えたい受信方式を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

受信した日時や情報などを印刷する【受信日時記録】

受信日時記録は、ファクスが印刷されるときに、受信した日時、相手先の情報、ページ数を本機側で付加 し、各ページの先頭に印刷する機能です。時差がある地域から送られてきた原稿を、いつこちらが受信した か確認できて便利です。

参考:受信データが複数ページに分割されるときは、最初の1ページに受信日時記録が印刷され、次のページ以降には印刷されません。

メモリー転送時に、転送された受信データには、受信日時記録は付加されません。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「基本 設定」の[次へ] →「受信日時記録」の[変更] の順に押してください。
- 3 [設定する] を押してください。
- **4** [OK] を押してください。

使用する用紙の種類を限定する【受信用紙種類】

ファクスが印刷されるときに使用する用紙を、用紙の種類で限定できます。

選択できる用紙種類:全用紙種類、普通紙、薄紙、ラベル紙、再生紙、ボンド紙、はがき、カラー紙、封筒、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム1~8

参考:用紙種類のカスタム1~8については、本体の使用説明書を参照してください。

							3
77	クス - 用紙種類 1 ファクスでも	5 用する用紙種類を	設定します。				Ū
	全用紙種類	普通紙	ĺ	薄紙	ラベル紙		
	再生紙	ボンド紙	はがき	カラー紙	封筒		
	厚紙	加工紙	上質紙	カスタム1	カスタム2		
	カスタム3	カスタム4	カスタム5	カスタム6	カスタム7		
	カスタム8						
				キャンセ	اله (ما	ж	
拔	況				me	2011/12/12 10:10	

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「基本 設定」の[次へ] →「用紙種類」の[変更]の順 に押してください。
- 3 用紙種類を選択してください。用紙種類を指定し ない場合は[全用紙種類]を押してください。

4 [OK] を押してください。

ファクス受信出力をするカセットを設定する

用紙種類を限定することで、用紙種類を設定した該当のカセットからファクス受信が可能となります。また、設定された用紙サイズで自動的に縮小されます。詳細は、6-34ページの用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】を参照してください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [共通設定] →「原稿 / 用紙設定」の[次へ] → 「カセット設定」の[次へ]の順に押してください。
- 3 「カセット設定」で、[カセット 1] ~ [カセット
 4] のいずれかを選択して [次へ] を押し、「用紙
 サイズ」の [変更] を押してください。

参考: [カセット 3] ~ [カセット 4] は、オプションのペーパーフィーダー装着時のみ表示されます。



<u>i</u> カセット1でき	吏用する用紙種類を	設定します。		
普通紙			薄紙	1
再生紙	プレプリント	ボンド紙		カラー紙
パンチ済み紙	レターヘッド	1	厚紙	上質紙
<u> </u> ታスタム1	カスタム2	カスタム3	カスタム4	カスタム5
カスタム6	カスタム7	カスタム8	7	
]			

4 [自動] を押して、[A 系 /B 系] を選択してくだ さい。

- 5 [OK] を押してください。前画面に戻ります。
- 6 「用紙種類」の [変更] を押して、用紙種類を選 択し、[OK] を押してください。前画面に戻りま す。

- **7** [閉じる] を押して、システムメニューの初期画 面に戻ってください。

手差しトレイの使用 / 不使用を選択する【手差しトレイ受信】

ファクスが印刷されるときに、手差しトレイを使用するかどうか選択できます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「基本 設定」の[次へ] →「手差し」の[変更]の順に 押してください。
- **3** [使用しない] または [使用する] を選択してく ださい。
- **4** [OK] を押してください。

ファクス通信網を使用して受信する【F ネット無鳴動受信】

NTT が提供するファクス通信網(Fネット)に接続してファクス通信をする場合は、「Fネット無鳴動受信」 を[使用する]にしてください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「Fネット無鳴動受信」の [変更]の順に押してください。
- **3** [設定しない] または [設定する] を選択してく ださい。
- **4** [OK] を押してください。

1回線で電話とファクスを使い分ける【ダイヤルイン】

NTTのダイヤルインサービスを利用することにより、1回線で電話とファクスとの併用を可能にする機能です。

ダイヤルインサービスでは、契約時にNTTから電話用とファクス用の2つの番号が与えられます。相手先に対して、電話用とファクス用にそれぞれ別の番号を伝えておけば、相手側では、電話をかけるときは電話用の番号を使い、ファクスを送るときはファクス用の番号を使います。

本機側では、それらの番号を事前に電話用とファクス用に登録しておくため、電話かファクスかを区別して受信することができます。

参考:ダイヤルインサービスのサービス内容や契約方法については、NTTの営業窓口にお問い合せください。また、サービスをお受けになるときは、ダイヤルイン番号を4桁の任意の数字でお申し込みください。

ファクス/電話自動切替受信やファクス/留守番電話自動切替受信との併用はできません。

電話を受けるためには、オプションのハンドセットあるいは併用電話機(市販品)を接続することが必要 です。

受信の流れ



- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「ダイヤルイン」の[変更] の順に押してください。
- 3 [設定する] を選択し、電話番号として使用する 番号をテンキーで入力してください。

4 [OK] を押してください。

通信する相手先を限定する【送受信制限】

通信条件を満たすときだけ送 / 受信を可能にする機能です。この機能を使うと、通信する相手先を限定する ことができます。

具体的には、あらかじめ通信条件(許可ファクス番号/許可 ID 番号)を登録し、送受信制限を設定しておきます。送/受信時は、この機能についての特別な操作の必要はなく、通常の操作を行います。そして、実際に送/受信が開始されたとき、通信条件を満たす送/受信は正常に行われますが、条件を満たさない送/受信はエラーとなります。また、受信制限を[拒否リスト]に設定すると、拒否ファクス番号に登録した相手先と自局ファクス番号を登録していない相手先からの受信を拒否することができます。

参考:送受信制限は、下記の前提条件、通信成立条件、および受信拒否条件をよくお読みになり、送信や 受信を可能にする相手先とあらかじめよく打ち合わせた上で行うようにしてください。

	前提条件	通信成立条件
送信制限	 許可ファクス番号または許可 ID 番号を登録 する。†(6-22 ページの許可ファクス番号の登 	 相手先の自局ファクス番号と本機に登録され ている許可ファクス番号が一致する。
	録のしかた、または 6-26 ページの許可 ID 番 号の登録のしかた参照)	 相手先の自局ファクス ID と本機に登録され ている許可 ID 番号が一致する。
	 ・ 送信制限設定で、送信制限を[アドレス帳+ 許可リスト]に設定する。(6-28ページの送 信制限設定のしかた参照) 	 アドレス帳、ワンタッチキーを使ってダイヤ ルした場合、ダイヤルした番号の下4桁と相 手先の自局ファクス番号の下4桁が一致す
	 相手先で自局ファクス番号または自局ファクス ID を登録する。 	る。(手動送信時を除く)
受信制限	 許可ファクス番号または許可 ID 番号を登録 する。⁺⁺ (6-22 ページの許可ファクス番号の登 	 相手先の自局ファクス番号と本機に登録され ている許可ファクス番号が一致する。
	録のしかた、または 6-26 ページの許可 ID 番 号の登録のしかた参照)	 相手先の自局ファクス ID と本機に登録され ている許可 ID 番号が一致する。
	 ・ 受信制限設定で、受信制限を [アドレス帳 + 許可リスト] に設定する。(6-28 ページの受 信制限設定のしかた参照) 	 相手先の自局ファクス番号の下4桁と一致するファクス番号が、本機のアドレス帳に登録されている。
	 相手先で自局ファクス番号または自局ファクス ID を登録する。 	

† 許可ファクス番号と許可 ID 番号の両方が未登録の場合は、送信制限しません。

↑↑ 許可ファクス番号と許可 ID 番号の両方が未登録の場合は、受信制限しません。

	前提条件	受信拒否条件
受信拒否	 拒否ファクス番号を登録する。†(6-24ページの拒否ファクス番号の登録のしかた参照) 	 相手先が自局ファクス番号を登録していない。
	 受信制限設定で、受信制限を [拒否リスト] に設定する。(6-28 ページの受信制限設定のしかた参照) 	 相手先の自局ファクス番号と本機に登録され ている拒否ファクス番号が一致する。

† 拒否ファクス番号を登録していない場合、自局ファクス番号(実際の回線番号ではなく、ファクスの自局登録情報 を指します。)を登録していない相手先のみ拒否します。 許可ファクス番号の登録のしかた

ファクスの通信を許可する相手先電話番号を登録します。(最大50個)

参考:最大 50 個の許可ファクス番号を登録することができます。

~

1/1

新規登録

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「通信制限設定」の[次へ] →
 「通信許可番号リスト」の[登録/編集]の順に 押してください。
- **3 [新規登録]**を押してください。

	8羊細	削除		
			4	」 閉じる
状況			mr	2011/12/12 10:10
ファクス-通信許可番号				
通信許可番号を登録	編集します。			
テンキーで入力して	ください。			
123456	789			
ポーズ	<i>⊼~−</i> ⊼	$\langle \rangle $	バックスペース	
		للكالك		
		+	マンセル 4	Ј ОК
状況			111	2011/12/12 10:10

4 テンキーを使って許可ファクス番号を入力してく ださい。20 桁まで入力できます。

参考:[ポーズ]を押すと、番号の間にポーズ(-) が入力されます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[く] または [>] を押すと、カーソルが移動します。

[バックスペース] を押すと、カーソルの前の一文 字が削除されます。

- **5** [OK] を押してください。
- 6 その他の許可ファクス番号を登録するときは手順 3~5を繰り返してください。
- **7** [閉じる] を押してください。

6

許可ファクス番号の変更 / 削除のしかた

ファクス - 通信許可番号リスト	
ファクスの通信を許可する相手先電話番号を登録します。(最大50個)	
電話番号	
· 0120999333	
	- 1/1 新規登録
詳細 削除	
	<↓ 閉じる
状況	2011/12/12 10:10

通信許可番号を登録/編集します。 テンキーで入力してください。
123456789
キャンセル el OK

- 6-22 ページの許可ファクス番号の登録のしかたの 手順1~2を行ってください。
- 2 変更または削除する許可ファクス番号を選択して ください。

変更するときは手順3に、削除するときは手順6 に進んでください。

- **3** [詳細] を押してください。
- 4 テンキーを使って許可ファクス番号を入力しなお してください。20 桁まで入力できます。

参考:[ポーズ]を押すと、番号の間にポーズ(-) が入力されます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[く] または [>] を押すと、カーソルが移動します。

[バックスペース]を押すと、カーソルの前の一文 字が削除されます。

- 5 [OK] を押してください。変更の確認画面で [はい] を押してください。手順7に進んでください。
- 6 [削除] を押してください。削除の確認画面で[はい] を押してください。
- 7 その他の許可ファクス番号を変更や削除するときは手順2~6を繰り返してください。

8 [閉じる] を押してください。

拒否ファクス番号の登録のしかた

1 ファクスの通信を拒否する相手先電話番号を登録します。(最大50個)

参考:最大 50 個の拒否ファクス番号を登録することができます。

新規登録

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「通信制限設定」の[次へ] →
 「通信拒否番号リスト」の[登録/編集]の順に 押してください。
- **3 [新規登録]**を押してください。

بلغ الله الله الله الله الله الله الله ال	<u></u>
407	12/12 10:10
	12/12 10:10
通信拒否番号を登録/編集します。 テンキーで入力してください。	
90/034321	
	_
キャンセル 4 OK	

4 テンキーを使って拒否ファクス番号を入力してく ださい。20 桁まで入力できます。

参考:[ポーズ]を押すと、番号の間にポーズ(-) が入力されます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[く] または [>] を押すと、カーソルが移動します。

[バックスペース] を押すと、カーソルの前の一文 字が削除されます。

- **5** [OK] を押してください。
- 6 その他の拒否ファクス番号を登録するときは手順 3~5を繰り返してください。
- **7** [閉じる] を押してください。

拒否ファクス番号の変更/削除のしかた

ファクス - 通信拒否番号リスト	
ファクスの通信を拒否する相手先電話番号を登録します。(最大50価)
電話番号	
wg 5555555555	<u>^</u>
	1/1 新規登録
	\sim
詳細	
	↓ 閉じる
大況	2011/12/12 10:10

「ファクス - 通信拒否番号
▲信拒否番号を登録/編集します。
987654321
キャンセル 🛃 OK
状況 2011/12/12 10:10

- 6-24 ページの拒否ファクス番号の登録のしかたの 手順1~2を行ってください。
- 2 変更または削除する拒否ファクス番号を選択して ください。

変更するときは手順3に、削除するときは手順6 に進んでください。

- 3 [詳細] を押してください。
- 4 テンキーを使って拒否ファクス番号を入力しなお してください。20 桁まで入力できます。

参考: [ポーズ] を押すと、番号の間にポーズ(-) が入力されます。

[スペース]を押すと、半角スペースが入力されます。

[く] または [>] を押すと、カーソルが移動します。

[バックスペース] を押すと、カーソルの前の一文 字が削除されます。

- 5 [OK] を押してください。変更の確認画面で [はい] を押してください。手順7に進んでください。
- 6 [削除] を押してください。削除の確認画面で[はい] を押してください。
- 7 その他の拒否ファクス番号を変更や削除するときは、手順2~6を繰り返してください。
- 8 [閉じる] を押してください。

6

許可 ID 番号の登録のしかた

ファクスの通信を許可する相手先IDを登録します。(最大25個)

詳細

参考:最大 25 個の許可 ID 番号を登録することができます。

~

1/1

V

新規登録

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ファクス] →「通信制限設定」の[次へ] →
 「通信許可 ID リスト」の[登録 / 編集]の順に押してください。
- **3 [新規登録]**を押してください。



削除

4 [+]、[-] またはテンキーで、許可 ID 番号 (0000 ~ 9999) を入力してください。

参考:クリアキーを押すと、入力前の番号に戻りま す。

- **5** [OK] を押してください。
- 6 その他の許可ID番号を登録するときは手順3~5を 繰り返してください。
- **7** [閉じる] を押してください。

許可 ID 番号の変更 / 削除のしかた

ファクス - 通信許可IDリスト	
ファクスの通信を許可する相手先IDを登録します。(最大25個)	
ファクスID	_
vg 12345678	$\overline{}$
	1/1 新規登録
詳細	
	🛃 閉じる
北 沼	2011/12/12 10:10

- ファクス - 通信許可ID - 通信許可IDを登録/編集します。	
(0000~9999)	
2222	
キャンセル 4 OK	
★況 201	1/12/12 10:10

- 6-26ページの許可 ID 番号の登録のしかたの手順1 ~2を行ってください。
- 2 変更または削除する許可ID番号を選択してください。

変更するときは手順3に、削除するときは手順6 に進んでください。

- **3** [詳細] を押してください。
- **4** [+]、[-] またはテンキーで許可 ID 番号(0000 ~ 9999)を入力しなおしてください。

参考: クリアキーを押すと、入力前の番号に戻りま す。

- 5 [OK] を押してください。変更の確認画面で [はい] を押してください。手順7に進んでください。
- 6 [削除] を押してください。削除の確認画面で [はい] を押してください。
- 7 その他の許可 ID 番号を変更や削除するときは、手 順2~6を繰り返してください。
- **8** [閉じる] を押してください。

6

送信制限設定のしかた

送信する相手先を、許可ファクス番号と許可 ID 番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限できます。送信制限を変更する場合は次の手順で行ってください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- **2** [ファクス] → 「通信制限設定」の[次へ] → 「送信制限」の[変更]の順に押してください。
- 3 送信制限を行わない場合は、[制限しない]を押してください。許可ファクス番号と許可 ID 番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限するときは、[許可リスト+アドレス帳]を押してください。
- **4** [OK] を押してください。

受信制限設定のしかた

受信する相手先を、許可ファクス番号と許可 ID 番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限できます。また、受信制限を [拒否リスト] に設定すると、拒否ファクス番号に登録した相手先と自局ファクス番号を登録していない相手先からの受信を拒否することができます。受信制限を変更する場合は次の手順で行ってください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- **2** [ファクス] → 「通信制限設定」の [次へ] → 「受信制限」の [変更]の順に押してください。
- 3 受信制限を行わない場合は、[制限しない]を押してください。許可ファクス番号と許可 ID 番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限するときは、[許可リスト+アドレス帳]を押してください。拒否ファクス番号に登録した相手先からの受信を拒否するときは、[拒否リスト]を押してください。
- **4** [OK] を押してください。

番号不明受信の処理

受信制限が[**拒否リスト**]に設定されているとき、ファクス番号を通知してこない相手先からの受信を許可 するか、拒否するか設定できます。ファクス番号を通知してこない相手先から、受信制限を変更する場合は 次の手順で行ってください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] → 「通信制限設定」の [次へ] → 「番号不明受信の処理」の [変更]の順に押して ください。
- 3 受信を許可する場合は [許可する] を押してくだ さい。受信を拒否するときは [拒否する] を押し てください。
- **4** [OK] を押してください。

原稿を暗号化して安全に通信する【暗号通信】

送信側で原稿を暗号化して通信する方法です。したがって、通信途中にある送信原稿を第3者が何らかの方 法により盗み見ようとした場合でも、本当の原稿の内容を知ることはできません。送られた原稿は受信側で 元の原稿に戻して(平文化されて)印刷されます。第3者には絶対に知られてはならないような極秘の機密 文書などを送る際に非常に有効な通信方法です。

重要:暗号通信を行うためには、相手機が同方式の暗号通信機能を備えた弊社機であることが必要です。

暗号通信では、原稿の暗号化、平文化を行うために、送信側と受信側で同じ16桁の暗号鍵を使用しますが、 その暗号鍵が送信側と受信側で合致しない場合、暗号通信は成立しません。したがって、送信側と受信側で あらかじめ取り決めを行い、両者で同じ暗号鍵を2桁の鍵番号と一緒に登録しておく必要があります。



送信・受信側での設定内容

設定内容	送信側	受信側	参照ページ
暗号鍵番号	(A) 2桁	(B) 2 桁	6-30 ページ
暗号鍵	(C) 16 桁	(C) 16 桁	6-30 ページ
アドレス帳(または直 接ダイヤル入力時)の 鍵番号	(A) 2 桁		6-30 ページ
送信先暗号ボックス番 号†	(D) 4 桁		6-32 ページ
暗号ボックス番号†		(D) 4桁	_
受信設定での鍵番号		(B) 2 桁	6-33 ページ

* 本機で受信する場合は、暗号ボックスを使用しません。

参考:上記表中のアルファベットが同じものは同じ文字列を設定してください。例えば、暗号鍵(C)は送信、受信側で同じ文字列です。

暗号鍵の登録のしかた

暗号鍵は、送信側では暗号通信用として使用するアドレス帳を登録する(または直接テンキーで相手先を入 力する)ときに、受信側では暗号受信設定をするときに必要になります。

暗号鍵の作成には、0~9までの数字とアルファベットのA~Fの文字を使用し、それらを任意に16個ならべたものが暗号鍵となります。作成した暗号鍵には、01~20の2桁の鍵番号をつけて登録します。

多考 ・喧方獎は20 個よじ宝蛷りることかできまり。	参考	:暗号鍵は	20 個まで登録す	-ることができます。
-----------------------------------	----	-------	-----------	------------

ファクス - 暗号鍵登録 ファクスの暗号送信	で使用する鍵を登録します。(最大20個)		
	暗号鍵		
Key01			
% Key02			
9 Key03		1/4	登録/編集
9 Key04			
9 Key05		\sim	
	削除		
		4	」 閉じる

■ 暗号鍵を登録/編集します。 0~9の数字とA~Fの文字を16個入力してください。		
暗号鍵		
	キャンセル	ок
状況	<u> </u>	2011/12/12 10:10

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「送受信共通設定」の[次へ] → 「暗号鍵登録」の[登録/編集]の順に押してく ださい。
- **3** 未登録の暗号鍵を選択して、[登録 / 編集] を押し てください。

4 [暗号鍵] を押してください。

- 5 タッチパネル上の数字(0~9)とアルファベット (A~F)を使って暗号鍵(16桁)を入力し、 [OK]を押してください。
- 6 [OK] を押してください。他の暗号鍵を登録する ときは手順3~6を繰り返してください。

6

暗号鍵の登録内容の変更 / 削除のしかた

ファクス - 暗号鍵登録	
1 ファクスの暗号送信で使用する鍵を登録します。(最大20個)	
暗号鍵	
Key01	<u>^</u>
% Key02	
% Key03	1/4 登録/編集
9 Key04	
9 Key05	\checkmark
削除	1
]
	<→ 閉じる
状況	2011/12/12 10:10

- **1** 6-30ページの暗号鍵の登録のしかたの手順1~2を 行ってください。
- 変更または削除する暗号鍵を選択してください。
 変更するときは手順3に、削除するときは手順7 に進んでください。

- 3 [登録/編集]を押してください。
- **4** [暗号鍵] を押してください。
- 5 [バックスペース]を押して、前の暗号鍵を削除してください。タッチパネル上の数字(0~9)とアルファベット(A~F)を使って暗号鍵(16桁)を入力し、[OK]を押してください。
- 6 [OK] を押してください。変更の確認画面で [はい] を押してください。

手順8に進んでください。

- 7 [削除] を押してください。削除の確認画面で [はい] を押してください。
- 8 その他の暗号鍵を変更または削除するときは、手順2~7を行ってください。

送信側の操作方法

暗号送信を行う場合は、暗号通信用として登録したアドレス帳を使用します。または、直接テンキーでダイ ヤルするときに暗号送信を設定して送信してください。

参考:暗号送信は、同報送信でも行うことができます。

暗号通信時は、Fコード通信を行うことができません。

- 受信側と取り決めた暗号鍵を登録してください。
 (6-30ページの暗号鍵の登録のしかた参照)すで に登録されている場合は、次の手順に進んでくだ さい。
- **2** ファクスキーを押してください。
- 3 原稿をセットしてください。
- 4 [新規ファクス] を押してください。
- 5 テンキーで相手先のファクス番号を入力してください。

詳しくは、3-5ページの相手先のダイヤルを参照 してください。

参考:アドレス帳またはワンタッチキーの宛先に暗 号送信の設定がされている場合には、その宛先が使 用できます。

- 6 [詳細] →「暗号送信」の[変更]の順に押して ください。
- **7** [設定する] を押して、暗号鍵番号を選択してく ださい。

8 [OK] を押して、手順 11 に進んでください。相手 先で暗号ボックスの選択が必要な場合は、[暗号 ボックス] を押して次の手順に進んでください。

参考:本機で受信する場合は、暗号ボックスを使用 しません。受信した文書を第三者に見られたくない 場合は、ファクスボックスによる転送機能を使用し てください。

	^{宛先数} 0			
新規フ	ァクス-詳細			
•	F⊐−ド	:		変更
0	送信開始速度	: 33600bps		変更
•	ECM	: 設定する		変更
0	暗号送信	:設定しない		変更 >
			キャンセル	∉Ј ОК
状況				2011/12/12 10:10

【日 ファクス 宛先を入力して	く送信できます。						
新規ファクス - 暗号送信							
設定しない							
設定する	暗号鍵番号						
	💡 Key 01	<u>^</u>					
	9 Key 02						
	9 Key 03	1/1					
	? Key 04	1	使用しない				
	9 Key 05	\sim	◎ 暗号ボックス				
		キャンセル	∉ ок				
状況			2011/12/12 10:10				



9 [使用する] を押し、テンキーで暗号ボックス番号(4桁)を入力して、[OK] を押してください。

- **10** [OK] を押してください。
- **11** [OK] を押してください。
- **12 スタート**キーを押してください。送信を開始しま す。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を[設定す る]に設定している場合は、スタートキーを押した ときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、 5-12ページの宛先確認画面についてを参照してくだ さい。

受信側の操作方法

暗号通信を行う場合、受信側では次の手順にしたがって操作を行ってください。

参考:暗号通信時は、Fコード通信できません。

1	送信側と取り決めた暗号鍵を登録してください。
	(6-30ページの暗号鍵の登録のしかた参照)

- **2** システムメニューキーを押してください。
- **3** [ファクス] →「受信設定」の [次へ] →「暗号 受信」の [変更]の順に押してください。
- **4** [設定する] を押し、暗号鍵番号を選択して [OK] を押してください。

5 相手先から暗号送信が行われます。暗号通信が正常に行われた場合、暗号原稿を暗号化する前の状態に戻して印刷します。

ファクス - 暗号受信					
_					
設定しない					
設定する		暗号鍵番号			
	💡 Key 01		\sim		
	9 Key 02				
			1 1		
	Y Key 03		1/2		
	💡 Key 04				
	9 Key 05				
			キャンセル	4	ок
状況				m	2011/12/12 10:10

用紙サイズより大きい原稿を縮小して受信する【縮小受信】

受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小して印刷できます。

項目	内容		
設定しない	受信データを 100% のまま、	複数枚の用紙に分割して印刷します。	
設定する	用紙サイズに合わせて、受信	データを縮小して印刷します。	
	1	システムメニュー キーを押してください。	
	2	[ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「基 設定」の[次へ] →「縮小受信」の[変更] の に押してください。	本 D順
	3	[設定しない] または [設定する] を選択して ださい。	<

4 [OK] を押してください。

幅が同じ原稿を受信したときは両面に印刷する【両面受信】

複数ページの受信データが、すべて同じ幅であるとき、受信データと同じ幅の用紙に両面で印刷します。

- **1** システムメニューキーを押してください
- [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「基本 設定」の[次へ] →「両面印刷」の[変更]の順 に押してください。
- **3** [設定しない] または [設定する] を選択してく ださい。
- **4** [OK] を押してください。

2枚の原稿を1枚にまとめて受信する【2in1受信】

A5 サイズで複数ページの原稿を受信したときに、2ページをA4の用紙1枚にまとめて印刷します。

参考:2in1 受信と両面受信を両方設定すると2in1 受信は機能しません。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「基本 設定」の[次へ] →「2in1 印刷」の[変更]の順 に押してください。
- **3** [設定しない] または [設定する] を選択してく ださい。
- **4** [OK] を押してください。

サービスセンターからの通信で本機を診断する【リモート診断】

本機で問題が発生したときにサービス実施店等に連絡をいただくと、弊社サービスセンターのコンピュー ターから電話回線を介して本機にアクセスし、その状況や問題点などを確認することができます。

参考:リモート診断機能を使用するときは、あらかじめサービス実施店と契約の上、決められた ID を本機に登録する必要があります。詳しくは弊社サービス実施店またはお買い求めいただいた販売店にお問い 合わせください。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- [ファクス] →「送受信共通設定」の[次へ] →
 「ファクスリモート診断」の[変更]の順に押してください。
- **3** [設定しない] または [設定する] を選択してく ださい。

[設定する] を選択した場合は、[+]、[-] また はテンキーを押して、あらかじめ指定された ID を入力してください。

4 [OK] を押してください。

時間を指定してファクスの印刷を禁止する【使用禁止時間】

受信したファクスの印刷を禁止する時間帯を設定します。

重要:使用禁止時間を設定すると、禁止時間中はファクスの印刷以外にも、コピー印刷、プリンター印刷、USBメモリーからの印刷など、すべての印刷が禁止されます。

禁止時間中に受信したファクス受信や印刷ジョブは、使用禁止時間の終了後、または使用禁止時間を一時 解除したときに印刷されます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [√] → [日付 / タイマー] の順に押してください。

ユーザー認証画面が表示されます。ログインユー ザー名とパスワードを入力し、[ログイン] を押 してください。ログインユーザー名とパスワード の工場出荷時の値は、ともに「2500」です。

- 3 [∨] → 「使用禁止時間」の [変更] の順に押し てください。
- **4** [設定する] を押し、[+] または [-] で、開始 時刻と終了時刻を入力してください。

参考:開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定する と、終日の設定になります。

5 禁止時間中に一時的に使用するための解除コード を設定します。 [解除コード]を押し4桁で入力してください。

参考:禁止時間中に一時的に使用する場合は解除 コードを入力し、[ログイン]を押してください。

- **6** [OK] を押してください。
- 7 [OK] を押してください。
排紙先を設定する【排紙先】

ファクスを受信したときの印刷用紙の排紙先を設定します。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [共通設定] →「排紙先」の[次へ]の順に押し てください。
- 3 「ファクス回線1」または「ファクス回線2」の [変更]の順に押してください。
- 4 排紙先を選択してください。
- **5** [OK] を押してください。

7 オプションについて

この章では、ファクスキットで使用できるオプション機器を紹介します。

- Internet Fax Kit (A) ...7-2
- ハンドセット7-3
- 拡張メモリー...7-5
- マルチポートについて ...7-5

Internet Fax Kit (A)

本機でインターネットファクスが利用できるようになります。詳しくは、8-1 ページのインターネットファ クスについて(オプション)を参照してください。

ハンドセット

本機で音声通話ができるようになります。また、手動での送/受信の際にも使用します。



- 1 ハンドセット ... 会話や手動送 / 受信を行うときに使用します。
- 2 ハンドセット台 ... ハンドセットを置く台です。
- 3 フックボタン...回線を切るときやダイヤルしなおすときに押してください。
- 4 ダイヤルボタン...相手先の電話番号を入力します。
- 5 回線種別切替スイッチ...電話回線の種類を切り替えます。契約している電話回線の種別に合わせて次の 3 種類から選択してください。
 - 20:ダイヤル (パルス)回線の 20PPS
 - 10:ダイヤル (パルス)回線の 10PPS
 - トーン:プッシュ(トーン)回線

参考:回線種別を誤って選択すると、電話をかけたり、原稿の送信ができなくなりますのでご注意ください。

- 6 呼び出し音量調節スイッチ ... 呼び出し音の音量を切り替えます。
 - 大:音量大
 - 小:音量小
 - 切:呼び出し音は鳴りません

電話のかけかた

電話をかけるときは、次の手順で行ってください。

電話の受けかたは、4-15ページの送られてきたファクスを手動で受信する【手動受信】を参照してください。

1 ファクスの送/受信が行われていないことを確認 してください。

参考:送/受信が行われているときは、操作パネル の送信または受信ランプが点滅し、タッチパネル下 の「状況」に「送信ジョブ ## 実行中です。」(送信 中)または「ファクス受信中です。」(受信中)が表 示されます。また、状況確認/ジョブ中止キーを押 し、[デバイス/通信]を押すと、「ファクス回線 1」 に「送信中です。」または「受信中です。」が表示さ れます。

2 ハンドセットを上げてください。

参考:ハンドセットを上げずに、タッチパネルの [オンフック] を押すことも可能です。このとき、 音声は本体側のスピーカーから聞こえます。

- ハンドセットのダイヤルボタンまたは本体操作パネルのテンキーを使って、相手先の番号を入力してください。
- 4 相手先が応答したら会話をしてください。

参考:手順2で [オンフック] を押したときは、相手の声が本体側のスピーカーから聞こえます。ハンドセットを上げてください。相手と話ができます。

5 会話が終わったら、ハンドセットをハンドセット 台に置いてください。



7

拡張メモリー



拡張メモリーは 128MB で画像蓄積用メモリーが増加 し、メモリーに蓄積できる受信原稿のページ数を増や すことができます。拡張メモリーの取り付けおよび取 り外しは、弊社のサービス担当者が行います。

マルチポートについて



ファクスキットを2台装着すると、マルチポートとし て電話回線を2回線使用できます。これにより、複数 の相手先に送信する同報送信などは、すべての相手先 に送信するまでの時間を短縮できます。さらに送/受 信が同時に行えるため、送信中に相手先から受信でき ないということは少なくなります。

マルチポートの設定

6-2 ページの電話回線の種類を選択する、6-5 ページの自局情報の登録を参照して、2回線分の設定を行って ください。

受信ポートの選択

2回線のうち、片方の回線を受信専用にすることができます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ファクス] →「受信設定」の[次へ] →「ファ クス」の[次へ] →「受信専用ポート」の[変 更]の順に押してください。
- 3 受信専用にするポートを選択してください。受信 専用のポートを使用しない場合は、[使用しない] を選択してください。
- **4** [OK] を押してください。

部門管理のポート制限

部門管理が有効であるときに、片方の回線に使用を制限することができます。

- **1** システムメニューキーを押してください。
- 2 [ユーザー/部門管理]を押してください。

ユーザー認証画面が表示されます。ログインユー ザー名とパスワードを入力し、[**ログイン**]を押 してください。ログインユーザー名とパスワード の工場出荷時の値は、ともに「2500」です。

- 3 「部門管理設定」の [次へ] →「部門リスト」の
 [登録 / 編集] → [新規登録] の順に押してください。
- 4 [√] →「ファクスポート制限」の[変更]を押してください。
- **5** [設定しない]、[ポート 1 のみ使用] または [ポート 2 のみ使用] を選択してください。
- 6 [OK] を押してください。
 他の使用制限や部門管理の詳細は、本体の使用説明書を参照してください。

8 インターネットファクスについて(オプション)

この章では、Internet Fax Kit(A)を使用してインターネットファクスを利用する方法について説明します。

- インターネットファクスとは...8-2
- インターネットファクスを設定する…8-4
- インターネットファクス送信…8-7
- インターネットファクス受信 ...8-12

インターネットファクスとは

インターネットファクスとは、電話回線を使用せずにインターネットを経由してファクスの送/受信をする 機能です。

主な特徴は次のとおりです。

- 電話回線を使用しないので、通信費の削減が可能
- 宛先指定にアドレス帳(本体内/コンピューター内)を利用可能
- 複数の相手先に同報送信が可能
- メモリー転送(4-19ページ参照)を使用して、本機で受信したファクスをインターネットファクスで複数の相手先に転送することが可能
- 送信結果のメール通知

大阪支社から京都営業所ヘインターネットファクスで送信する場合のイメージ



インターネットファクスの送信の流れ

インターネットファクスの送信は次の流れで行います。



インターネットファクスの受信の流れ

インターネットファクスの受信は次の流れで行われます。



インターネットファクス使用上の注意

- インターネットファクスを使用するためには、ネットワークケーブルで本体とコンピューターを接続し、 ネットワークの設定を行う必要があります。詳細は、8-4ページのインターネットファクスを設定するを 参照してください。
- 相手先に正しく送信できなかった場合、通常サーバーからエラーメールが返信されますが、何らかの原因によりエラーメールが受信されない場合があります。重要なファクスなどは正しく受信されたか相手先に確認してください。
- インターネットを使用した通信では機密性が低いため、重要文書などを送信する場合は、電話回線を 使ったファクス送信をお勧めします。
- インターネットを使用した通信では、ネットワークの状況や通信障害により送信に時間がかかることが あります。緊急のファクスなどでは、電話回線を使ったファクス送信をお勧めします。
- インターネットファクスでは、ファクス原稿をEメールの添付ファイルとして送信しますので、相手先 と直接通信することはできません。
- インターネットを経由しての通話はできません。
- 送信できる解像度・圧縮方式・用紙サイズは、相手機の性能に依存します。相手機の性能を確認してから送信してください。相手機の性能がわからない場合は、解像度を200×200 dpi、圧縮方式をMH、用紙サイズをA4にして送信することをお勧めします。

送信時に使用できない機能

次の機能は、通常のファクス送信では使用できますが、インターネットファクスの送信では使用できま せん。

- タイマー送信
- ダイレクト送信
- ポーリング送信
- ECM を使った送信

- 暗号送信
- F コード送信
- 許可ファクス番号による送信制限
- 許可 ID 番号による送信制限

受信時に使用できない機能

次の機能は、通常のファクス受信では使用できますが、インターネットファクスの受信では使用できま せん。

- F コードを使った受信
- ポーリング受信
- 暗号受信
- 許可ファクス番号による受信制限
- 許可 ID 番号による受信制限
- 拒否ファクス番号による受信制限
- 縮小受信

フルモードについて

本機は ITU-T T.37 勧告に準拠したフルモードインターネットファクス対応機です。相手機がフルモード対応 機であれば送信時に送達確認を行い、送信した原稿が相手機に届いたかを確認することができます。

本機が受信する場合

相手先からの送達確認の要求に対して受信能力情報を返送します。本機で受信できる解像度、圧縮方式、用紙サイズの情報を相手先に送ります。

本機が送信する場合

フルモードを選択した相手先に送達確認を行います。相手先から返送された送達確認結果はファクス発信管 理レポートに記載されます。

ファクス発信管理レポートに関しては、5-8ページの通信管理レポートを参照してください。

相手機条件の設定に関しては、2-9 ページの個人登録(インターネットファクス)または、8-7 ページのイン ターネットファクス送信を参照してください。

インターネットファクスを設定する

インターネットファクスを送/受信するためには、SMTP サーバーと POP3 サーバーを設定する必要があります。

ここでの設定は、本機にネットワーク接続されたコンピューターから Command Center RX を使って行います。

ネットワークの設定については、本体の使用説明書を参照してください。

Command Center RX へのアクセス

🕒 🗢 🖉 http://192.168	3.48.21	
🛿 KYOCERA	mmand Co	
	innanu ce	//ЦЕ/Г
▲ <u>ホーム</u>	日本語	•
2 ユーザー名	デバイス状況	
	デバイス	

- **1** Web ブラウザーを起動します。
- アドレスバーまたはロケーションバーに本機の IP アドレスを入力します。

例) http://192.168.48.21/

本機および Command Center RX に関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

3 管理者のユーザー名とパスワードを入力し、ログ インをクリックします。

管理者のユーザー名とパスワードを設定すると、 スタートページ以外への一般ユーザーのアクセス を制限できます。セキュリティを確保するため に、管理者のユーザー名およびパスワードの設定 をおすすめします。工場出荷時の設定値は、ユー ザー名、パスワードともに「Admin」です。

- 4 画面左のナビゲーションバーから設定/登録を選 択します。
- **5** ファクス/iファクスのタブをクリックします。 設定画面が表示されます。

詳細は Command Center RX 操作手順書を参照し てください。

インターネットファクスの設定

ファクス /i- ファクス >i- ファクス > 初期設定

インターネットファクスを使用する設定です。

初期設定のページで表示される項目は次のとおりです。

項目	説明
i-ファクス†	i-ファクス機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合はオンを選択します。

インターネットファクス SMTP の設定

ファクス /i- ファクス >i- ファクス >SMTP

インターネットファクスで使用する SMTP サーバーの設定を行います。

SMTP のページで設定する項目は以下のとおりです。

SMTP ポート番号	SMTP で使用するポート番号を設定します。通常は 25 番を使用します。
SMTP サーバー名 †	SMTP サーバー名または SMTP サーバーの IP アドレスを入力します。64 文字まで入力 可能です。
	サーバー名を入力する場合、DNS サーバーの IP アドレスも設定する必要があります。 DNS サーバーのアドレスは、TCP/IP 設定の画面で入力できます。詳細は、本体の 使用 説明書 を参照してください。
SMTP サーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
認証	SMTP 認証を行うかどうか、または POP before SMTP を使用するかどうかを設定します。この SMTP 認証は Microsoft Exchange 2000 に対応しています。
使用するユーザー	i- ファクスユーザーの POP3 アカウント、またはそれ以外のアカウントを指定して、認 証を行うユーザーを指定します。
ログインユーザー名	使用するユーザーでその他を選択した場合、認証を行うユーザー名を入力します。64 文字まで入力可能です。
ログインパスワード	使用するユーザーでその他を選択した場合、認証を行うログインユーザーのパスワード を入力します。64 文字まで入力可能です
POP before SMTP のタイムアウト	認証で POP before SMTP を選択した場合、タイムアウトまでの時間を秒単位で設定します。
テスト	このページで設定した内容が正しいかどうかをテストします。
メール送信のサイズ制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。(最大 32767 キロバイト)0 を入力した場合、設定は無制限になります。

* 必ず設定してください。

8

項目	説明
差出人アドレス†	インターネットファクス POP3 の設定でメールアドレスに登録したアドレスを表示しま す。
署名	メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を表示します。署名を変更すると きは、 詳細 > メール > SMTP > 基本の署名 を変更してください。

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

† 必ず設定してください。

インターネットファクス POP3 の設定

ファクス /i- ファクス >i- ファクス >POP3

インターネットファクスで使用する POP3 サーバーの設定を行います。

POP3のページで設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
着信チェック間隔	着信メールの有無を確認するために、POP3 サーバーに接続する間隔を表示されます。
直ちに実行	受信をクリックすると、直ちに POP3 サーバーに接続して着信メールの有無をチェック します。
メールアドレス†	インターネットファクスアドレス(メールアドレス)を入力します。64 文字まで入力 可能です。
POP3 サーバー名 [†]	POP3 サーバー名または POP3 サーバーの IP アドレスを入力します。64 文字まで入力可 能です。
	サーバー名を入力する場合、DNS サーバーの IP アドレスも設定する必要があります。 DNS サーバーのアドレスは、TCP/IP 設定の画面で入力できます。詳細は、本体の 使用 説明書 を参照してください。
POP3 ポート番号	POP3 で使用するポート番号を設定します。通常は110番を使用します。
POP3 サーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
ログインユーザー名†	ユーザーアカウントのログイン名を入力します。64 文字まで入力可能です。
ログインパスワード†	ユーザーアカウントのパスワードを入力します。64 文字まで入力可能です。
APOP の使用	APOP 認証を使用するかどうかを設定します。APOP 認証を行うときは、設定をオンに します。
テスト	このページで設定した内容が正しいかどうかをテストします。
メール受信のサイズ制限	受信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。(最大 32767 キロバイト)0 を入力した場合、設定は無制限になります。
カバーページ	メールの本文も印刷するかどうかを設定します。 オン に設定すると、カバーページを添付して印刷されます。メッセージにテキストが含まれる場合は、それがカバーページとして印刷されます。

設定終了後に、設定をクリックして設定内容を保存してください。

・ 必ず設定してください。

インターネットファクス送信

相手先のアドレスを直接入力する場合の送信方法を説明します。

送信画面への切り替え



送信の基本画面が表示されていることを確認して ください。

送信の基本画面でないときは、送信キーを押して ください。送信の基本画面が表示されます。

参考:設定によっては、アドレス帳の画面が表示される場合があります。この場合、[キャンセル]を 押して送信の基本画面を表示させてください。

原稿のセット



原稿ガラスまたは原稿送り装置に原稿をセットし てください。原稿をセットする方法は、本体の**使** 用説明書を参照してください。

8

相手先の指定



1 [新規i-ファクス] を押してください。

送信できます。		
新規i-ファクス		
通信 シンプルモード	$ \forall $	
-ファクス アドレス		
		相手機条件
アドレス帳に登録	次の宛先 キャンセル	

2 [i-ファクスアドレス] を押してください。

- **3** 相手先のアドレスを入力してください。128 文字 まで入力できます。
 - 「新規宛先の入力確認画面の設定」を「設定しない」に設定している場合は、アドレス入力後、[OK]を押すとアドレスが確定されます。
 - 「新規宛先の入力確認画面の設定」を「設定 する」に設定している場合は、アドレス入力 後、[OK]を押すと確認画面が表示されま す。再度インターネットファクスアドレスを 入力して [OK]を押してください。 アドレス確定後、[新規:-ファクス]を押す と、次のアドレスが入力できます。
 [詳細/編集]を押すと、入力したアドレスを 変更できます。
 新規宛先の入力確認画面の設定については、 本体の使用説明書の新規宛先の入力確認画面 の設定を参照してください。

文字の入力方法は**付録 -**2 ページの**文字の入力方** 法を参照してください。

[アドレス帳に登録] が表示されているときは、 入力した内容をアドレス帳に登録することができ ます。

テンキー以外のダイヤルのしかた

- 宛先をアドレス帳から選ぶ (3-15 ページ参照)
- 宛先をワンタッチキーで選ぶ(3-19ページ参照)
- 番号キーを使う(3-20ページ参照)
- 手動リダイヤル(再宛先呼び出し)(3-21 ページ参照)

参考:インターネットファクス以外にも、ファ クス送信、メール送信、フォルダー (SMB/FTP)送信を組み合わせて一度に送信す ることができます。詳細は本体の使用説明書を 参照してください。

宛先にファクスまたはi-ファクスが含まれている場合、ファクスまたはi-ファクスの宛先には白黒で送信されます。その他の宛先には原稿読み込み時のカラーモードになります。

詳細設定

シンプルモード/フルモードの設定や、相手機条件の設定ができます。ほかにも、原稿の解像度および濃度 の設定ができます。

シンプルモード / フルモードの設定

相手機に送達確認をするときは、フルモードを選択してください。

「通信」の [~] を押して、「シンプルモード」または「フルモード」を選択してください。

相手機条件の設定

- **1** [相手機条件] を押してください。
- 2 相手機条件を設定して、[OK] を押してください。

項目	説明
解像度	相手先のファクス機で受信できる解像度を設定します。
	禁止されている解像度で送信した場合は、自動的に許可している解像度 に変更して送信します。
	• 200×100 dpi:許可(固定)
	• 200×200 dpi:許可(固定)
	 200×400 dpi:許可または禁止
	 400×400 dpi:許可または禁止
	 600×600 dpi:許可または禁止
	許可する場合は、その解像度のキーを押して反転表示させください。
	禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してくださ い。

項目	説明
圧縮方式	相手先のファクス機に合わせて圧縮方式を選択します。
	MH、MR、MMR または JBIG
用紙サイズ	相手先のファクス機に合わせて選択できる用紙サイズを設定します。
	禁止されている用紙サイズで送信した場合は、自動的に許可している用 紙サイズに変更して送信します。
	• A4/Letter:許可(固定)
	 B4:許可または禁止
	• A3/Ledger:許可または禁止
	許可する場合は、そのサイズのキーを押して反転表示させください。
	禁止する場合は、もう一度そのキーを押して反転表示を解除してくださ い。

3 [OK] を押してください。

解像度の選択

送る原稿に適した解像度を選択します。相手機条件で禁止した解像度を選択した場合は、自動的に許可している解像度に下げて送信します。操作方法は、3-8ページの**解像度の選択**を参照してください。

濃度の選択

原稿読み込み時の濃度を調整します。操作方法は、3-7ページの濃度の選択を参照してください。

件名と本文の入力

インターネットファクスを送信するとき、i-ファクスの件名と本文を入力することができます。

- [応用 / その他] → [i- ファクス件名 / 本文] の順に 押してください。
- **2** [件名] を押してください。

- **3** 件名を入力して、[OK] を押してください。件名 は最大 60 文字です。
- 4 [本文] を押してください。
- 5 本文を入力して、[OK] を押してください。本文 は最大 500 文字です。



6 [OK] を押してください。

参考:相手機で[件名]および[本文]を印刷させる場合は、相手先のカバーページの設定をオンにする必要があります。

送信スタート

スタートキーを押してください。送信が開始しま す。

参考:「送信前の宛先確認画面の設定」を「設定する」に設定している場合は、スタートキーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、本体の使用説明書の送信前の宛先確認画面の設定を参照してください。

送信状況の確認

状況確認						
_	状況		予約ジョブ		履歴	
ジョブ種類	すべて					
番号 5	そけ時刻 種類	宛舟	÷	ユーザー名	状況	
438 14:	47 🏻 🍖	abc@cdf.com			処理中	^
			[3	
					8	1/1
						1 1
					1	
中止	優先送信	R I		1	詳細	
印刷ジョブ		∎ジョブ	保存ジョブ	デバイス/通	信用紙	氏/消耗品
状況					2	011/12/12 10:1

	状況			予約ジョブ			履歴	
ジョブ種類	すべて							
番号	受付時刻	種類	匇	1先	-د	ザー名	状況	
438 14	:47	🍖 abc	@cdf.com				処理中	^
					1			
					1			1/1
								- 1
								_
								\sim
中止) "	先送信				B	細	
印刷ジョブ		送信ジョ	IT 🖌	保存ジョブ	Ť	バイス/通信	用	紙/消耗品

1 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。

[送信ジョブ]を押してください。
 受付時刻や宛先、状況がジョブごとに一覧表示されます。

送信を中止するには、送信ジョブ確認画面で、 ジョブを選択して [中止] を押してください。 中止の確認画面で、[はい] を押してください。

参考:原稿読み込み中は、送信画面で操作パネルのストップキーを押すと、送信を中止します。

インターネットファクス受信

本機は一定の間隔でメールサーバーに接続を行い、インターネットファクスがあると自動的に受信して印刷を行います。受信時には特に操作の必要はありません。

次の受信設定を変更することができます。詳細は 8-6 ページのインターネットファクス POP3 の設定を参照 してください。

- インターネットファクスアドレスの登録
- 受信チェック間隔の設定
- カバーページ(メール情報)の印刷

インターネットファクスの手動受信

直ちにファクスの有無を確認することができます。

状況確認	
スキャナー 待機中です。	ハードディスク 上書き消去中です。
プリンター 待機中です。	
外部メモリー 接続されていません。	
フォーマット取り外し	
ファクス回線1 ダイヤル中です。	ファリス回線2 受信中です。
回線を切る 手動受信	回線を切る
() ファクス 通信履歴	(mail i-ファクス 受信問い合わせ)
印刷ジョブ 送信ジョブ 状況	保存ジョブ デバイス/通信 用紙/消耗品 111 2011/12/12 10:10

- 1 状況確認 / ジョブ中止キーを押してください。
- 2 [デバイス/通信]を押してください。
- **3** 「i-ファクス」の [受信問い合わせ] を押してく ださい。

メールサーバーに接続し、インターネットファク スがあれば受信を開始します。

9 Network FAX について

この章では、Network FAX を利用する方法について説明します。

付属の DVD に収められている Network FAX ドライバー使用説明書(オンラインマニュアル)もあわせてお 読みください。Network FAX 機能を使用した送信のしかたや各種選択方法など、コンピューターからの操作 方法について説明しています。

- ・ Network FAX とは…9-2
- セットアップする ...9-3

Network FAX とは

Network FAX とは、本機に接続されたコンピューターでファクスの送 / 受信をする機能です。主な特徴は次のとおりです。

- コンピューターで作成した書類を、印刷することなくファクス送/受信が可能
- 宛先指定にアドレス帳(本体内/コンピューター内)を利用可能
- 送付状の添付
- 送信と同時に印刷も可能
- 送信結果のメール通知
- F コード通信対応
- インターネットファクス送信対応
- 印刷と同じ簡単操作

Network FAX の送信の流れ

Network FAX の送信は次の流れで行います。



Network FAX の受信の流れ

Network FAX の受信は次の流れで行われます。



参考:メモリー転送では、ネットワーク上のコンピューターで受信する以外にも、受信したファクスを メールで転送したり、他のファクスに転送したり、ファクスボックスに保存することができます。

セットアップする

Network FAX を使用するためには、次の準備が必要です。

セットアップの流れ

コンピューターとの接続

ネットワークケーブルで本体とコンピューターを接続します。詳細は、本体の使用説明書を参照してください。

本体の登録

メモリー転送機能で受信先コンピューターやファイル形式を選択します。

参考:メモリー転送機能では、コンピューターへの転送や、受信したファクスをメールの添付ファイルに して転送することもできます。詳細は、4-19ページの受信した文書を条件ごとに印刷/転送する【メモ リー転送】を参照してください。

コンピューターへのソフトウェアのインストール

Network FAX を使うために必要な専用ソフト(同梱 DVD に収録)をコンピューターにインストールします。 詳細は、付属の DVD に収められている Network FAX ドライバー使用説明書(オンラインマニュアル)を参照してください。

基本的な送信の方法

- 1 送信する原稿を作成する
 - コンピューター上で任意のアプリケーション
 で送信する原稿を作成してください。
 - 2 原稿サイズや向きを設定してください。
 - 3 ファイルメニューから[印刷]を選択してく ださい。使用されているアプリケーションの 印刷画面が開きます。
- 2 印刷画面で設定する
 - プリンタ名リストで使用する本体の製品名 (Kyocera TASKalfa XXX NW-FAX)を選択し てください。
 - 2 印刷ページなどの設定を行ってください。

参考:印刷部数は1部になっていることを確認して ください。以下の画面はご使用のアプリケーション によって異なります。

3 [プロパティ]をクリックしてください。プ ロパティウィンドウが開きます。

印刷	
プリンタ 名前(<u>N</u>): Kyocera TASKalfa 2550ci(J) NW-FAX 🔷	70/(7-(P)
ステージス・Germene J モデル: Kyocera TASKalfa 2550ci(J) NW-FAX	文書と注釈 ・
E印刷範囲 ・ すべて(A)	プレビュー:コンポジット <u> 株―――</u> 210.02 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――
 ● 現在の表示範囲(⊻) ● 現在のページ(出) ● ページ指定(a) 	Silvacera FAX Sintern(W)
印刷(B): 範囲内のすべてのページ - 一逆順に印刷(E)	2.452.9
ペーン処理	297.01
▼自動回転と中央記慮(E) ■ PDF のページサイズに合わせて用紙を選択(Z) ■ 必要な場合にカスタン用紙サイズを使用	
□ ファイルへ出力(E) □ 白黒 2 (直印刷 (図面用)(①	単位:ミリズ-ム: 96% 1/1
印刷のヒント(D) 詳細設定(D) 注釈の一覧(U)	OK キャンセル



- 3 ファクス設定タブで設定する
 - ファクス設定タブが開いている状態で、原稿 サイズなど各種送信設定を行い、[OK] をク リックしてください。
 - アプリケーションの印刷画面に戻ります。
 [OK] をクリックしてください。送信設定画 面が表示されます。
- 4 送信設定画面で設定する

送信設定画面では、送信時刻を設定したり、F コードの設定などができます。

参考:詳しい設定については、Network FAX ドライバー操作手順書を参照してください。

5 送付状を設定する

送付状を使用するときは、[送付状] タブで設定 を行なってください。

参考:詳しい設定については、Network FAX ドライ バー操作手順書を参照してください。

- 6 送信先を設定する
 - 1 [宛先設定] タブで送信先のファクス番号を キーボードより入力してください。
 - 2 [宛先リストに追加]をクリックしてください。送信先の情報が宛先リストに表示されます。複数の相手先に送るときは、操作を繰り返し行なってください。
 - 3 アドレス帳を使用するときは、[アドレス帳 より選択]をクリックして、送信先を選択し てください。

参考:アドレス帳の使用方法や登録方法は、 Network FAX ドライバー操作手順書を参照してくだ さい。

Kyocera Networ	k FAX - 送信設定 - テスト	ページ		? ×
宛先設定送付	オ状│オブション│送信元情報	インターネットファクス		
送信モード	לקד			_
ファクス番号	:			
	0123456789		7	ガション設定
	967			
宛先リスト:	アドレス帳より選択		0	件/残り500件
アドレス	会社名	部署名	宛先名称	
		編集	削除	すべて削除
	1			
/		Ĕ	信	キャンセル

Kyocera Network F/	AX - 送信設定 - テ	ストページ	? X
宛先設定 送付状	オプション 送信元	:惜報 インターネットファク	ן גי
送信モード	רטידע 77		
ファクス番号:			
			オプション設定…
		宛先リストに追加	
宛先リスト:	アドレス帳より選択	L	1件/残り499件
アドレス	会社名	部署名	宛先名称
0123456789			
		編集	削除すべて削除
ヘルプ			送信 キャンセル

7 送信する

[送信] をクリックしてください。送信を開始し ます。

ファクス設定タブ

印刷設定画面のファクス設定タブで原稿サイズなど送 信条件をここで設定してください。

- 1 画面を表示する
 - スタートボタンから[コントロールパネル]、
 [ハードウェアとサウンド]の[デバイスと プリンター]と順にクリックしてください。
 - 2 使用する本体の製品名を右クリックし、ドロップダウンメニューから[印刷設定]を選択してください。印刷設定画面が開きます。
- 2 設定する

次の項目が設定できます。



9

項目	詳細
原稿サイズ	ドロップダウンリストから送信する原稿サイズを選択してください。
	設定值:A3、A4、A5、Folio、B4、B5(JIS)、Letter、Legal、Ledger(11 x17)、 Statement
原稿の向き	チェックボックスで原稿の出力向きを縦または横のどちらか選択してください。
	設定値:縦、横
解像度	ドロップダウンリストから送信する原稿の解像度を選択してください。
	設定値:100 x200 dpi ノーマル、200 x200 dpi ファイン、400 x400 dpi ウルトラファイン、600 x600 dpi
ファクス送信設定	条件の初期設定をするときは [ファクス送信設定] をクリックしてください。初期 設定画面が表示されます。
	設定方法は、Network FAX ドライバー操作手順書を参照してください。

Network FAX ドライバー操作手順書(オンラインマニュアル)について

Network FAX ドライバー操作手順書(オンラインマニュアル)は、PDF(Portable Document Format)形式で 付属の DVD に収録されています。主な内容は次のとおりです。

- Network FAX ドライバーのインストールのしかた
- Network FAX 送信のしかた
- Network FAX 送信の設定のしかた
- 送付状の設定のしかた

オンラインマニュアルの開きかた

オンラインマニュアルを参照するときは、次の手順で行ってください。

- 1 本体に付属する DVD を光学ドライブに挿入して ください。使用許諾についての説明が表示されま す。契約条件に同意する場合は、同意するをク リックしてください。メインメニュー画面が表示 されます。
- 2 ソフトウェア説明書→ Network FAX ドライバー 操作手順書の順にクリックしてください。オンラ インマニュアルが開きます。

参考:オンラインマニュアルをご覧になるには Adobe Acrobat Reader 8.0 以上がインストールされて いる必要があります。

10 こんなときには

この章では、トラブルが発生した場合の対処のしかたについて説明します。

- 送/受信中のランプ表示について…10-2
- 電源を切るときの注意…10-3
- こんな表示が出たら…10-4
- トラブルが発生した場合 ...10-6

送/受信中のランプ表示について



ファクスの送/受信中は、**処理中**ランプ、メモリーラ ンプで状況がわかります。

- ファクスの送/受信中は処理中ランプが点滅します。
- メモリー送信などで、原稿がメモリーに記憶されるときに、メモリーランプが点滅します。
- タイマー送信で、メモリーに記憶されている原稿 がある場合、メモリーランプが点灯します。

*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

10

電源を切るときの注意

電源を切る場合は操作パネルにある**電源**キーを押してください。主電源スイッチを切ると、ファクスが受信 できなくなりますのでご注意ください。

主電源スイッチを切るときは、操作パネルの**電源**キーを押して、**電源**キー、処理中およびメモリーのランプ が消灯していることを確認してから切ってください。

注意:電源キー、処理中およびメモリーのランプが点灯または点滅しているときは、ハードディスクが動作している場合があります。ハードディスクが動作しているときに主電源スイッチを切ると、ハードディスクが故障する原因となる可能性があります。



*モデルによっては、イラストと外観が異なることがあります。

こんな表示が出たら

異常が発生するとタッチパネルにメッセージが表示されます。次の表を参照して対処してください。

参考:通信エラーが発生したときは、メッセージとともに受信/送信結果レポートが印刷されます。受信/ 送信結果レポートに表記されるエラーコードを確認して、付録 -26ページのエラーコードー覧表で内容を 参照してください。受信/送信結果レポートの印刷については、5-7ページの送信結果レポート、および 5-8ページの受信結果レポートを参照してください。

エラーコードは通信管理レポートでも確認することができます。(5-8ページの通信管理レポート参照)

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
故障が発生しました。		主電源スイッチを入れ直す、また は電源プラグを差し直してくださ い。再度表示される場合は、表示 されている C と数字を書きとめて ください。主電源スイッチを切っ て電源コードを抜き、サービス担 当者またはサービス実施店にご連 絡ください。	_
ファクスボックスが容量制限を超 えました。	_	ファクスボックスの原稿がいっぱ いになりました。 [終了] を押して ください。ジョブはキャンセルさ れます。	4-37 ページ
		ファクスボックスの原稿を印刷ま たは削除してから、再度操作して ください。	
部門管理の制限を超えました。	_	部門管理で制限されている使用枚 数に達したため、これ以上の操作 ができません。[終了]を押してく ださい。このジョブは中止されま す。	本体使用説明 書参照
		使用枚数をリセットしてから、再 度操作してください。	
このジョブは実行できません。	_	部門管理でファクス送信が使用禁 止になっているため、これ以上の 操作ができません。[終了]を押し てください。このジョブは中止さ れます。	本体使用説明 書参照
		部門管理の設定を確認してくださ い。	
付属電話機の受話器がはずれてい ます。	本機に接続されたハンドセット (オプション)または電話機(市販 品)の受話器が上がっていません か。	ハンドセットまたは受話器を戻し てください。	-

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
送信ジョブの予約制限数を超えま した。	_	タイマー送信をセットできる件数 を超えています。 [終了] を押して ください。このジョブは中止され ます。	4-3 ページ
		タイマー送信が実行されるのを待 つか、タイマー送信をキャンセル してから、再度操作してください。	
カセット1(~4)に用紙を補給し てください。	表示されたカセットまたは手差し トレイの用紙がなくなっていませ んか	表示されているサイズの用紙を補 給してください。受信用紙種類を 指定している場合け、必要な用紙	_
または、		種類も表示されます。	
手差しに用紙を補給してください。		他の給紙元を使用する場合は、給 紙元を選択して [継続] を押して ください。 [手差し設定] を押すと 手差しトレイの用紙サイズ/用紙 種類を変更できます。	
	受信用紙種類を指定していません か。	指定されている用紙種類のカセットがありません。他の給紙元を選択して [継続] を押してください。 [手差し設定] を押すと手差しトレイの用紙サイズ/用紙種類を変更できます。	
	カセットがしっかりセットされて いますか。	カセットを一度引き出して、しっ かり押し込んでください。	_

トラブルが発生した場合

トラブルが発生した場合は、次のことを調べてください。それでもなお異常が見られるときには、サービス実 施店またはお買い上げ店までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処置方法	参照ページ
送信できない。	モジュラーコードが正しく接続されて いますか。	モジュラーコードを正しく接続してく ださい。	_
	「送信エラーです。」が表示されていま せんか。	エラーの原因を除去した上で、もう一 度送信してください。	付録 -26 ペー ジ
	送信制限をしていませんか。	送信制限を解除してください。	6-21 ページ
暗号通信ができない。	送信側/受信側でそれぞれ登録されてい る内容は正しいですか。	送信側、受信側の両者で登録内容をも う一度確認してください。	6-29 ページ
リモート切替機能が使用 できない。	ダイヤル (パルス) 回線を使用してい ませんか。	電話機によってはボタンなどでトーン 信号を送出できる場合があります。電 話機の 使用説明書 を参照してください。	_
	リモート切替番号は正しいですか。	登録内容を確認してください。(工場出 荷時:55)	4-17 ページ
	リモート切替番号を早く押していませ んか	リモート切替番号をゆっくり2回押し てください。	-
受信したが、印刷されない。	メモリー転送がセットされていません か。	転送先を確認してください。	-
受信できない。	モジュラーコードが正しく接続されて いますか。	モジュラーコードを正しく接続してく ださい。	_
	「通信エラーが発生しました。」が表示 されていませんか。	エラーの原因を除去した上で、もう一 度相手先から送信してもらってくださ い。	付録 -26 ペー ジ
	受信制限をしていませんか。	受信制限を解除してください。	6-21 ページ
代行受信できない。	メモリーがいっぱいになっていません か。	メモリーに空きができてから受信を行 うか、メモリー内に空きを作ってくだ さい。	3-12 ページ
2in1 受信ができない。	2 in 1 受信と両面受信を両方とも設定し ていませんか。	両面受信を解除してください。	6-36 ページ
F コード送信ができな い。	相手機はFコード機能を有したファク スですか。	相手機が同様の F コード機能を有して いない場合、F コード通信を行えませ ん。	_
	入力したサブアドレスやFコードパス ワードは、相手機で登録されているサ ブアドレスやFコードパスワードと一 致していますか。	入力内容に誤りがないときは、相手先 に確認してください。本機で受信する 場合、Fコードパスワードは使用しませ ん。	4-44 ページ
	相手機のメモリーがいっぱいになって いませんか。	相手先に確認してください。	-
メモリー転送ができな い。	メモリー転送が [設定する] になって いますか。	メモリー転送の設定を確認してください。	4-19ページ

トラブル内容	確認事項	処置方法	参照ページ
F コード通信を使った、 メモリー転送ができな い。	相手機はFコード機能を有したファク スですか。	相手機が同様の F コード機能を有して いない場合、F コード通信を行えませ ん。	_
	設定した F コードサブアドレスは、相 手機で登録されている F コードサブア ドレスと一致していますか。	入力内容に誤りがないときは、相手先 に確認してください。本機で受信する 場合、F コードパスワードは使用しませ ん。	4-19 ページ
メモリー転送で、ファク スボックスに保存できな	ファクスボックスが正しく指定されて いますか。	メモリー転送の設定を確認してくださ い。	4-19 ページ
ι	メモリーがいっぱいになっていません か。	メモリーに空きができてから受信を行 うか、メモリー内に空きを作ってくだ さい。	4-37 ページ
ファクスボックスから印 刷できない。	ボックスパスワードを設定しています か。	正しいボックスパスワードを入力して ください。	4-37 ページ
ポーリング受信ができな い。	相手機でポーリング送信が正しく操作 されていますか。	相手先に確認してください。	-
F コード中継同報通信が できない。	メモリーがいっぱいになっていません か。	メモリーに空きができてから送信する か、メモリー内に空きを作ってくださ い。	_
F コード掲示板通信がで きない。	相手機は同様のFコード掲示板通信機 能を有したファクスですか。	相手機が同様のFコード掲示板通信機 能を有していない場合、Fコード掲示板 受信はできません。相手先に確認して ください。	_
	入力した F コードサブア ドレスや F コードパスワードは正しいですか。	入力内容に誤りがない場合は、相手先 に確認してください。	-

付録

この付録では、仕様など参考資料を記載します。

- 文字の入力方法 ... **付録 -2**
- 仕様....付録-10
- メニュー構成一覧 ... 付録 -11
- 出荷時設定値一覧表 ... 付録 -15
- 受信サイズと印刷用紙優先順位表 ... 付録 -18
- 区点コード表 ... 付録 -20
- エラーコード一覧表... 付録 -26

文字の入力方法

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方からできます。また、漢字変換の際には文節変換が可能で す。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式の選択

キーボードで入力してください。

全角ひらがな

あいう

かきく

さしす

ち

≫ かな漢字入力

† 区点入力

小文字数字·記号

かな漢字入力

ってとらりるれ

入力方式には次の3種類があります。

かな漢字入力-かな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

ローマ字漢字-ローマ字入力(例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する)で漢字などを入力する ときに使用してください。

キーボードで入力	してください。				
1				制限:3: 入力:	2 文字 0 文字
全角ひらがな	かな漢字入力		↑		バックスペース
あいう	えおな	1= 8a ta	0 10	ю	£
かきく	17 C (1	<u>م تى تى</u>	· ほ わ	ě	~
さしす	せそま	みむめ	• t		-
たちつ	τεδ	y 3 1	3.		
大文字 小文字	2 数字 · 記号	スペース		٤Ą	改行/確定
			キャンセル	<u>ب</u>	ок

区点入力-4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

制限:32文字 入力:0文字

_

ок

ねのやゆよ

めも

3

キャンセル

へほわをん

入力方式(「かな漢字入力」、「ローマ字漢字」または「区点入力」)の[♥]を押してください。

 プルダウンメニューから入力方式を選択してくだ さい。

参考:入力方式の初期値を「ローマ字漢字」に変更することができます。詳しくは、本体の使用説明書の 文字入力方式の設定を参照してください。
入力文字の選択

入力文字には次の5種類があります。

全角ひらがな-漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

全角カタカナー全角カタカナを入力するときに使用してください。

半角カタカナー半角カタカナを入力するときに使用してください。

全角英数-無変換で全角アルファベット、全角数字を入力するときに使用してください。

半角英数-無変換で半角アルファベット、半角数字を入力するときに使用してください。

: [キーボー	ドで入力	コしてく	ださい。							- 制限:	32 文字
	1										入力:	0 文字
全角び	らがな		×	な漢字フ	(ħ	1	/		\uparrow	\leftarrow	\rightarrow	バックスペース
ð	ا	5	ż	お	な	1=	82	ね	Ø	4	ю	\$
か	ŧ	<	(†	Ξ	lt	U	Ś	^	Æ	Þ	æ	<i>h</i>
đ	L	す	ť	₹	ŧ	7	t	න	ŧ			-
/=	5	2	τ	٤	6	4	్	n	3	·	•	
×2	大文字 小文字 数字・記号 スペース 変換 改行/確定											
	キャンセル 4 OK											
状況											m -	2011/12/12 10:10

キーボードで入力してく	ださい。			
1				制限:32文字 入力:0文字
全角ひらがな 🛛 📎	かな漢字入力		\land \leftarrow	→ バックスペース
全角ひらがな	おな	II da ta	0 *	1¢ L
全角カタカナ		U & ^		を ん
半角カタカナ				
全角英数	そま	みむめ	ŧ.	
半角英数	ŁĠ	y S h	3.	•
大文字 小文字	数字·記号	スペース	変換	改行/確定
			キャンセル	€ OK
状况				2011/12/12 10:10

 入力文字(「全角ひらがな」、「全角カタカナ」、 「半角カタカナ」、「全角英数」または「半角英 数」)の[~]を押してください。

 プルダウンメニューから入力文字を選択してくだ さい。

参考:入力方式として「区点入力」を選択したとき は、入力文字は選択できません。

入力画面

かな漢字入力

次の画面は入力文字として「全角ひらがな」を選択した場合です。



番号	表示 / キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数 / 入力文字 数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
4	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
5	キーボード	入力する文字を押してください。
6	[大文字]	全角ひらがなを使用するときに押してください。
7	[小文字]	「ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ」を入力するときに押して ください。
8	[数字·記号]	数字や記号を入力するときに押してください。
9	[スペース]	スペースを入力するときに押してください。
10	[変換]	入力した文字を漢字などに変換するときに押してください。
11	[改行/確定]	入力した文字を改行または確定するときに押してください。
12	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るとき に押してください。
13	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押し てください。

参考:操作パネルの**クリア**キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の 場合は、未確定文字を削除します。

ローマ字漢字入力

次の画面は入力文字として「全角ひらがな」を選択した場合です。



番号	表示 / キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数 / 入力文字 数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
4	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
5	キーボード	入力する文字を押してください。
6	[大文字]	大文字を使用するときに押してください。
7	[小文字]	小文字を使用するときに押してください。
8	[数字・記号]	数字や記号を入力するときに押してください。
9	[スペース]	スペースを入力するときに押してください。
10	[変換]	入力した文字を漢字などに変換するときに押してください。
11	[改行/確定]	入力した文字を改行または確定するときに押してください。
12	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るとき に押してください。
13	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押し てください。

参考:操作パネルの**クリア**キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の 場合は、未確定文字を削除します。

区点入力

次の画面は入力方式として「区点入力」を選択した場合です。



番号	表示 / キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数 / 入力文字 数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
4	[バックスペース]	カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
5	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
6	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。
7	[クリア]	入力した区点コードを消去するときに押してください。
8	[確定]	区点コードに対応した文字を確定するときに押してください。
9	[スペース]	スペースを入力するときに押してください。
10	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るとき に押してください。
11	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押し てください。

参考:各文字の区点コードは、付録-20ページの区点コード表を参照してください。

かな漢字入力とローマ字漢字入力での文字変換

ローマ字漢字入力、かな漢字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、**[変換]**キーを押す と次のような文字変換画面が表示されます。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	制限文字数 / 入力文字 数表示部	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
3	[A <u>B</u>] [AB]	変換対象文節の長さを変更するときに押してください。
4	$[\leftarrow] [\rightarrow]$	変換対象の文節を移動させるときに押してください。
5	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
6	[^] [~]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロー ルするときに押してください。
7	[元に戻す]	[変換]を押す前に戻るときに押してください。
8	[確定]	未確定文字をすべて確定するときに押してください。
9	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るとき に押してください。
10	[OK]	入力した文字を確定して、文字入力の前の画面に戻るときに押し てください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。





キーボードで入力してください。 	
京都 <mark>営業</mark> 醫	制限: 32 文字 入力: 2 文字
変換候補	
1.営業	
2.えいぎょう	
3.エイギョウ	
	\checkmark
	元に戻す 確定
	キャンセル 🖌 OK
状況	2011/12/12 10:10

キーボードで入力してください。				
京都営業 <mark>書</mark>	制限: 32 文字 入力: 4 文字			
変換候補				
1.書	5.諸			
2.初	6.処			
3.P/F	7.暑			
4.署	8.庶			
元に戻す 確定				
キャンセル 4 OK				
状況	2011/12/12 10:10			

 漢字かな入力の場合「きょうとえいぎょうしょ」 と順にタッチパネル上で入力してください。

ローマ字漢字入力の場合、「kyoutoeigyousho」と 順にタッチパネル上で入力してください。

文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示 されます。

2 [変換] キーを押してください。文字変換画面に 替わります。

反転されている部分が変換する文字です。

- 3 [△▶] または [▲] を押して、変換する部分 (この場合まず「きょうと」)を反転させてください。変換候補が表示されます。
- 4 変換候補リストから、変換する文字(この場合 [京都])を押してください。

参考:変更候補リストはテンキーでも選択できま す。

表示されている以外の変換候補がある場合、[**^**]または[**v**]を押して画面をスクロールしてください。

- 5 [→]を押してください。「京都」が確定します。
- 6 [△□] または [△□] を押して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させてください。変換候補が表示されます。
- 7 変換候補リストから、変換する文字(この場合 [営業])を押してください。
- 8 [→] を押してください。「営業」が確定します。
- 9 [△▶] または [△□] を押して、次の変換する部分(この場合「しょ」)を反転させてください。
 変換候補が表示されます。
- **10** 変換候補リストから、変換する文字(この場合 [所])を選択してください。
- **11** 文字の変換が終了するれば、[確定] を押してく ださい。
- 12 正しく入力できたことを確認して、[OK] を押し てください。

い銢

区点入力での文字変換

参考:入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。

各文字の区点コードは、付録 -20 ページの区点コード表を参照してください。

【入力例】「大阪」と入力する場合

1 付録-20ページの区点コード表を参照して、入力 に必要な全ての文字の区点コード(4桁)をメモ してください。

この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、 「阪」の区点コードは「2669」となります。

参考:漢字を探すときは、音読みで探してください。

2 テンキーを使って「3」、「4」、「7」、「1」と入力してください。入力文字表示領域に「大」の文字が表示されます。

3 [確定] を押してください。文字表示領域に「大」 の文字が表示されます。

- 4 手順2~3と同様にして、区点コード「2669」を入 力してください。「阪」の文字が「大」の後に続 いて入力されます。
- 5 正しく入力できたことを確認して、[OK] を押し てください。

制限: 32 文字
入力: 0 文字
区点コード クリア
3471
(テンキー人力)
スペース
キャンセル H OK
2011/12/12 10:10
制限: 32 文字
人力: 1 文字
\forall \downarrow \uparrow \leftarrow \rightarrow $iiy 2 \pi^2 - \pi$





仕様

形式	オプション FAX キット	
相互通信	Super G3	
適用回線	加入電話回線、F ネット	
伝送時間	3 秒以下(33600 bps、JBIG、ITU-T A4-R #1 chart)	
伝送速度	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/ 12000/9600/7200/4800/2400 bps	
符号化方式	JBIG/MMR/MR/MH	
誤り訂正	ECM	
原稿サイズ	最大原稿幅:297 mm、最大原稿長さ:1,600 mm	
原稿自動給紙枚数	最大 50 枚(原稿送り装置使用時)	
走査線密度	主走査 × 副走査 200 × 100 dpi ノーマル(8 dot/mm × 3.85 line/mm) 200 × 200 dpi ファイン(8 dot/mm × 7.7 line/mm) 200 × 400 dpi スーパーファイン(8 dot/mm × 15.4 line/mm) 400 × 400 dpi ウルトラファイン(16 dot/mm × 15.4 line/mm) 600 × 600 dpi	
印刷解像度	600 × 600 dpi	
中間調	256 階調(誤差拡散)	
ワンタッチキー	1000 件	
同報送信	最大 500 宛先	
代行受信	700 枚以上(ITU-T A4 #1 使用時) 7000 枚以上(拡張メモリー使用時)	
画像蓄積用メモリー容量	標準メモリー(16 MB)(ファクス受信原稿用)	
印刷レポート類	送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポート、ステー タスページ	
	拡張メモリー、ハンドセット、マルチポート、Internet Fax Kit(A)	

参考:機械の仕様は予告なく変更されることがあります。

メニュー構成一覧

タッチパネルおよび操作パネル上の各機能キーを押したときのメニュー構成は、次のとおりになっていま す。本機を操作する上での参考にしてください。





「録

前ページからの続き







ファクス機能の設定範囲と出荷時設定値は次のとおりです。

 項目	設定範囲	出荷時設定値
通信管理レポート(ファク ス発信レポート)	設定しない、設定する	設定する
通信管理レポート(ファク ス着信レポート)	設定しない、設定する	設定する
送信結果レポート (ファクス)	設定しない、エラー時のみ、設定する	エラー時のみ
送信画像の添付	設定しない、一部を添付、全体を添付	一部を添付
送信前の中止レポート	設定しない、設定する	設定しない
受信結果レポート	設定しない、エラー/転送時のみ、設定す る	設定しない
受信結果通知方法	レポート印刷、メールアドレス帳、メー ルアドレス入力	レポート印刷
ファクススピーカー音量	1小、2、3中、4、5大、0消音	3 中
ファクスモニター音量	1小、2、3中、4、5大、0消音	3 中
自局名登録	最大 32 文字	未登録
自局名登録(フリガナ)	最大 32 文字	未登録
自局ファクス番号登録 1	最大 20 桁	未登録
自局ファクス番号登録 2艹	最大 20 桁	未登録
自局ファクス ID 登録	4 桁(0000~9999)	0000
回線設定(ポート1)	プッシュ回線、ダイヤル回線(10PPS)、 ダイヤル回線(20PPS)	プッシュ回線
回線設定(ポート2)#	プッシュ回線、ダイヤル回線(10PPS)、 ダイヤル回線(20PPS)	プッシュ回線
受信方式	自動(普通)、自動(ファクス / 電話)、 自動(留守番電話)、手動	自動(普通)
ファクスーベル回数 (普通)	1~15回	2回
ファクスーベル回数(留守 番電話)	1~15回	10 回
ファクス-ベル回数(ファ クス / 電話切替)	$0 \sim 15$ 回	0 回
リモート切替ダイヤル	2桁 (00~99)	55
ダイヤルイン	設定しない、設定する	設定しない
ダイヤルイン番号	4桁 (0000~9999)	未登録
F ネット無鳴動受信	設定しない、設定する	設定しない
暗号受信	設定する(暗号鍵番号01~20)、設定し ない	設定しない
暗号鍵登録	0~9、A~Fの16桁(暗号鍵番号01~ 20)	未登録
発信元記録	設定しない、設定あり(原稿外側、原稿 内側)	設定あり(原稿外側)

†† ファクスキットが2台必要です。

付録

付録 -15

 項目	設定範囲	出荷時設定値
自局名に部門名を使用する	設定しない、設定する	設定する ***
受信用紙種類	全用紙種類、普通紙、薄紙、ラベル紙、 再生紙、ボンド紙、はがき、カラー紙、 封筒、厚紙、加工紙、上質紙、 カスタム1~8	全用紙種類
手差し受信	使用しない、使用する	使用しない
縮小受信	設定しない、設定する	設定しない
受信日時記録	設定しない、設定する	設定しない
両面印刷	設定しない、設定する	設定しない
2in1 印刷	設定しない、設定する	設定しない
送信制限	制限しない、許可リスト+アドレス帳	制限しない
受信制限	制限しない、許可リスト+アドレス帳、 拒否リスト	制限しない
番号不明受信の処理	許可する、拒否する	拒否する
通信許可番号リスト	最大 20 桁 (登録件数は最大 50 件)	未登録
通信拒否番号リスト	最大 20 桁 (登録件数は最大 50 件)	未登録
通信許可 ID リスト	0000~9999 (登録件数は最大25件)	未登録
受信ポート選択 #	設定しない、ポート1、ポート2	設定しない
リダイヤル回数	$0 \sim 14$ 回	3 回
ファクスリモート診断	設定しない、設定する	設定しない
リモート診断 ID	4桁 (0000~9999)	0000
条件付き受信 / 転送	設定しない、すべての受信に適用する、 特定の受信に適用する	設定しない
新規宛先の入力	禁止する、許可する	許可する
簡単設定登録	原稿サイズ、送信サイズ、濃度、ファク ス送信解像度、連続読み込み、両面 / 見開 き原稿、原稿セット向き、原稿の画質、 縮小 / 拡大	縮小 / 拡大、原稿の画 質、ファクス送信解像 度、濃度、両面 / 見開 き原稿、連続読み込み
送信開始速度	33600 bps、14400 bps、9600 bps	33600 bps
ECM	設定しない、設定する	設定する
暗号送信	設定しない、設定する	設定しない
暗号ボックス	使用しない、使用する	使用しない
ファクス送信解像度	200×100 dpi (ノーマル) 200×200 dpi (ファイン) 200×400 dpi (スーパーファイン) 400×400 dpi (ウルトラファイン) 600×600 dpi	200×100 dpi (ノーマル)
送信モード(インターネッ トファクス) [†]	シンプルモード、フルモード	シンプルモード

† オプションの Internet Fax Kit (A) が必要です。

†† ファクスキットが2台必要です。

††† 部門管理を有効にしている必要があります。

 項目	設定範囲	出荷時設定値
解像度(インターネット ファクス) [†]	200×100 dpi (許可固定)、 200×200 dpi (許可固定)、 200×400 dpi (許可/禁止)、 400×400 dpi (許可/禁止)、 600×600 dpi (許可/禁止)	200×100 dpi (許可) 200×200 dpi (許可) 200×400 dpi (禁止) 400×400 dpi (禁止) 600×600 dpi (禁止)
圧縮方式(インターネット ファクス) [†]	MH、MR、MMR、JBIG	MH
用紙サイズ(インターネッ トファクス) [†]	A4/Letter (許可固定)、B4 (許可/禁止)、 A3/Ledger (許可/禁止)	A4/Letter(許可) B4(禁止) A3/Ledger(禁止)
ポーリング送信後原稿の削 除	設定しない、設定する	設定しない
上書き保存許可設定	禁止する、許可する	許可する

付録

受信サイズと印刷用紙優先順位表

受信した原稿のサイズと、同サイズ同方向の用紙がカセットにセットされていない場合、本機が印刷の際に 自動で選択する用紙の優先順位は次の表のとおりです。

等倍優先



↑ 受信サイズと用紙の向きが異なるため、画像を自動的に 90°回転して印刷します。

は2枚の用紙に分割して印刷されることを示しています。

†† i-ファクスの印刷用紙。(受信サイズと同サイズ)

参考:「受信用紙種類」で用紙の種類を選択している場合は、用紙種類が一致する給紙元から印刷します。 (6-16ページ参照)

「受信用紙種類」で**[全用紙種類]**を選択している場合でも、ファクスの印刷に使用できない用紙種類 (OHP フィルムなど)がセットされた給紙元からは印刷できません。 縮小受信



† 受信サイズと用紙の向きが異なるため、画像を自動的に90°回転して印刷します。

†† i-ファクスの印刷用紙。(受信サイズと同サイズ)

参考:「受信用紙種類」で用紙の種類を選択している場合は、用紙種類が一致する給紙元から印刷します。 (6-16ページ参照)

「受信用紙種類」で**[全用紙種類]**を選択している場合でも、ファクスの印刷に使用できない用紙種類 (OHP フィルムなど)がセットされた給紙元からは印刷できません。

区点コード表

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
0100 、。, . · :;? 0350 R S T U V W X Y Z	0600 ΑΒΓΔΕΖΗΘΙ
│ 0110 ! [*] ° ´ ` ¨ ^ ─ _ ヽ 0360 abcde	
│ 0120 ヾゝゞ〃仝々乄〇一─│ 0370 f g h i j k l m n o	0620 Υ Φ Χ Ψ Ω
0130 - /\~∥ ····· '' 0380 p q r s t u v w x y	0630 αβγδεζη
0140 "" () [] {} 0390 z	0640 θικλμνξοπρ
│ 0150 〈〉《》「」『』【】│ 0400 ぁあぃいぅうぇえぉ	ο 650 στυφχψω
0160 +-±×÷=≠<>≦ 0410 おかがきぎくぐけげこ	0660
│ 0170 ≧∞∴♂♀°´″℃¥ 0420 ごさざしじすずせぜそ	0670
0180 \$ ¢ £ % # & * @ § ☆ 0430 ぞただちぢっつづてで	0680
0190 ★ ○ ● ◎ ◇ 0440 とどなにぬねのはばば	د ا
0200 ◆□■△▲▽▼※〒 0450 ひびぴふぶぷへべぺほ	🛿 🛛 🗛 АБВГДЕЁЖЗ
0210 →←↑↓= 0460 ぼぽまみむめもゃやゅ	О710ИЙКЛМНОПРС
○ 0220 ∈ ∋ ⊆ ⊇ 0470 ゆょよらりるれろわわ	0720 ТУФХЦЧШЩЪЫ
0230 ⊂ ⊃ ∪ ∩ 0480 ゐゑをん	0730ЬЭЮЯ
$0240 \land \lor \neg \Rightarrow \Leftrightarrow \forall \exists 0490$	0740 a
0250 0500 アアィイゥウェエォ	0750 бвгдеёжзий
0260 ∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√ 0510 オカガキギクグケゲコ] 0760 клмнопрсту
0270 ∽∝∵∫∬ 0520 ゴサザシジスズセゼン	/ 0770 ф х ц ч ш щ ъ ы ь э
0280 'n♯♭♪†‡¶ 0530 ゾタダチヂッツヅテデ	1 0780 ю я
0290 〇 0540トドナニヌネノハババ	۱ I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
0300 0550 ヒビピフブプヘベペホ	0800
0310 0123 0560 ボポマミムメモャヤュ	0810
	0820
0330 A B C D E F G 0580 中 エ ヲ ン ヴ ヵ ヶ	0830
0340 HIJKLMNOPQ 0590	0840

0	2	3	4	5	6	7	8	9		\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
Ē	更哂	ī娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢		1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓		2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
葵き	臿 穐	惠	握	渥	旭	葦	芦	鯵		1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨		2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
梓匠	E彰	訯	宛	姐	虻	飴	絢	綾		1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕		2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戱	技	擬	欺
鮎ョ	戈 粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇		1880	介	숤	解		塊	壞	迥	快	怪	悔		2130	犠	疑	衹	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
鞍召	티니	(伊	位	依	偉	井	夷	委		1890	恢	懐	戒	拐	改							2140	吉	吃	喫	枯	橘	詰	砧	杵	黍	却
威昂	討惟	意	慰	易	椅	為	畏	異		1900		魁	脢	楲	海	灰	界	皆	絵	芥		2150	客	脚	虐	逆	E	久	仇	休	及	吸
移糹	隹緖	間	萎	衣	謂	違	遺	医		1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖		2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
井ᢃ	反域	育	郁	磯		壱	溢	逸		1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬		2170	究	窮	笈	級	糾	給	日	牛	去	居
稲컇	芡 芋	鰯	允	EП	咽	員	因	姻		1930	馨	蛙	垣	杮	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	+	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
引食	欠淫	【胤	蔭							1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角		2190	禦	魚	亨	享	京					
ß	完 陰	ミ隠	韻	时	右	宇	烏	羽	+	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額		2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	Ξ
迂雨	同卯] 鵜	窺	∄	碓	Ð	渦	嘘	77	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝		2210	卿	叫	裔	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
唄萺	尊蔚	Ī鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂		1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹		2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
云道	重雲	往	餌	叡	営	嬰	影	眏		1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌		2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
曳り	总永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英		1990	噛	鴨	栢	茅	萱							2240	業	局	曲	極	¥	桐	粁	僅	勤	均
衛副	永鈁	液	疫	益	駅	悦	謁	越		2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊		2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
閲札	夏周	で円	袁	堰	奄	宴	延	怨		2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	Ŧ		2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
掩护	爰沦	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁		2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺		2270	倶	句	$\overline{\times}$	狗	玖	矩	苦	躯	駆	馸
艶歺	古薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥		2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看		2280	駒	昗	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
凹戶	奥タ	l 往	応							2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	л	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
#	₽旺	橫	欧	殴	Ŧ	翁	襖	鴬		2050	諌	貫	澴	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	/	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	能	隈	粂

2060 舘丸含岸巌<u>玩癌眼岩</u>翫

2070 贋雁頑顔願企伎危喜器

2090旗既期棋棄

2080 基奇嬉寄岐希幾忌揮机ケ

1600 1610

1810 鴎黄岡沖荻億屋憶臆桶

1820 牡乙俺卸恩温穏音下化

1830 仮何伽価佳加可嘉夏嫁

1840家寡科暇果架歌河火珂

+

力

		1									T												-1			1									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8 9	3		$\overline{}$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2350	繋	琩	茎	荊	蛍	計	詣	薈	軽到	頁.	- ا	2600		此	頃	今	木	坤	墾	婚	恨	懇		2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勽
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙梢	٦Ľ		2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些		2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月作	ŧ		2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂		2870	惹	È	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	巻	堅娟	康		2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最		2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
ク	- 2390	建	憲	懸	拳	捲							2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済		2890	綬	需	人	収	周					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹鷌	Ę		2650	災	釆	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁		2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕颙	剣		2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂[汳		2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄明	╝	+	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削		2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	+
	2430	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼目	5	7	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜		2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2440	姑	孤	2	庫	弧	戸	故	枯	湖狐	I		2690	鮭	笹	匙	⊞	刷							2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷層	Ē		2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐		2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯後	é		2710	鯖	捌	錆	鮫	Ш	晒	Ξ	傘	参	Ц		2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護酢	蚏		2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	シ	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公功	Ъ		2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺		2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2490	効	匃	厚		向							2740	使	刺	司	史	嗣	匹	±	始	姉	姿		2990	恝	鋤	除	傷	償					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏コ			2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜!	斯		3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
_	. 2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌打	÷		2760	施	旨	枝	ιĿ	死	Æ	獅	祉	私。	糸		3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
-	12520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗橇	蛗		2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	志		3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿粗	-		2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	見		3030	松	- 梢	樟	樵	- 沼	消	渉	湘	焼	焦
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔層		2	2790	字	÷	慈	持	時		-					3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	2550	航	荒	行	衡	講	冒	腊	郊	酵金	」 大		2800		次	滋	治	爾	顪	痔	磁	示i	m		3050	紹	肖	菖	蒋	萑	衝	裳	款	訂	詔
	2560	砺	鋼	閤	路	頂	香	高	鴻	副去			2810	E	白	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	<u>44</u>		3060	詳	象	一嘗	撰	鉦	鍾	鐘	暄	鞘	F
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	矗	諊	克亥			2820	軸	口宍	雫	七	۳Ł	埶	失	嫉	室	悉		3070	1 T	氶	乗	- Л.	剰	城	堤場	壌	嬢	一常
	2580	上	国	穀	酷	鵠	黒	獄	~	腰曽	瓦		2830	湿	漆	疾	「質	実	蔀	篠	偲	上,	<u></u> 学		3080	信	一擾	条	村	浄	状	晋	棄	澎	譲
	2590	忽	[[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	骨	狛	认	7111	10/1	/12-0				2840	屡	恣	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	者		3090	臟	錠	嘱	埴	飾	~ ~ ~	-	124	2013	111
	12000	100	10	13		~							2010	1,5	10704	nneg	Π	5	~ 1 1	ч	~~~	0.17			0000	1 Hall	-	. 199		5115					

付録

2310 栗 繰 桑 鍬 勲 君 薫 訓 群 軍

2320郡卦袈祁係傾刑兄啓圭

2330 珪型契形径恵慶慧憩掲

2340 携敬景桂渓畦稽系経継

	N																																
		0	1	2 3	34	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	56	57	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
<u> </u>	0100		+-+	+ 5 5	±	レクか	日立い	彑	ム山					ata		*	vlv r	+	z (=	ተታ	*8		0000		ᆂ	ΨE		н	JE	田乙	ζШД-	尖山	+11/
	3100		圠	恒列	目烸	1 縦	聝	E	黓	艮		3390	启	畏	壮	交	彩	木眉	미별	. 惣	涊		3600		吔	昄	厅	币	钣	彪	臤	恝	挑
	3110	蝕	辱	尻僶	自信	侵	唇	娠	寝	審		3360	捜	掃	挿	掻	操	早曹	事巣	槍	槽	-	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	13120	1	岵	振室	도 파	杰	梼	闫	泗	Ħ		3370	油	品	仝	庙	k⊟ s	它判	歯 公 公	: 公中	昖	ナ	3620	≣田	≣世	+四	別	쉿(E	T百	白	击力	t祟
シ	0120	10	川県	102 不		不不	177	/文	不	-		0070	10	林	- <u>+</u> -	7支,		도 1	ヨ 小心		비心		0020	미미	「「大	咫	助心	迎		밋	פהל	<u> </u>	19
1	3130	疹	臭	神孝	を紳	臣	心	新	親	診	×7	3380	臣	荘	葬	倉	澡	表え	Ξ送	遭	鎬		3630	直	朕	沈	珍	賃	顉	[陳]	冿	墬	椎
	3140	身	芏	准金	十團	ξλ	1	न्न	鹿	千	2	3390	霜	騒	像	/ 唐	憎						3640	樎	追	錦	痛	诵	塚	楇	抠	槻	佃
			+ +		⊽ =π	. / \ \		ψm				0400	110		121	-口 	\ \/+ /				占		0000	注	+7	эле `⊥	一世	477	~	+#		파	- -
	3120	寽	挹	尽盲	貪討	, 迅	門	馰	同	訩		3400		郮	囻	11日)	垣1	正1;	则 則	비	忠	9	3000	湏	怕	江	鳥	쒮	釫	傄	湏	屮	Ē
	3160	湏	酢	図周	可运	[吹	垂	帥	推	水		3410	捉	束	測	足	速亻	谷層	貳賊	族	続		3660	嬬	紬	Л	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
	3170	ıł	睡	兆九 习	习古	泼	而九	鉾	銿	R右		3420	太	抽	Ħ	'	たす	还さ	す 埍	**	斑		3670	刣	占	무	悍	宁	茁	「」	戽	<u>3</u> 7	퓓
	10170		<u>吧</u>	イナ 今	≏ <u>-</u> 7₹			业土	业里	멘		0420	+	<u>тш</u>	<u>六</u>	1891	1]	不下	子门只	1 1 1	些		5070	ניסג	只	土	北			儿	风上	灶	고
ス	3180	瑞	髄	宗福	氰数	【松	趨	雛	抈	杉		3430	他	多	太	汰	記日	りませ	き妥	愔	ŦJ		3680	悌	抵	挺	提	梯	;]	促	禎	桯	뗾
	3190	椙	营	頗る	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	1						3440	柁	鮀	槗	腔!	馬大馬	単ん	た 1併	対	耐		3690	艇	ΞT	諦	腣	诟					
	0000		.72%	+33	+ 1	。 -):古石	· 二力		`=	μu		0450	10	ш	心土			500 T	⊧-≞	·	마	_	0700	1.5~	шл шл	₩7	<u>А</u> Т		20	+立	+33	立ち	<u>`</u> =
	3200		冱	指 、	기면		ШX	疋	废	帀リ		3450	ГШ	Ъ	行	忠」	思り	戦 仺	う 尔 谷	而	洉	テ	3/00		立り	刹	立 」	斨	汇	搄	推	鼣	淌
	3210	勢	姓	征他	±成	〕政	整	星	晴	棲		3460	腿	苔	袋	貸	退ì	隶隊	蕠黛	鯛	代		3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	13220	栭	Ŧ	詰め	± 生	: 成	浩	囙	靑	制		3470		+	笋	- 現	見百 [噟 记	告 涪	占	IR		3720	绊	曲	怙	Ŧ	屈	庄	沃	缠	詽	貼
	0220			/円 1. +드	L _L	. <u> </u>	竹日	±	,	衣		0470	匚	ハ							<u>کر</u>		0720	业人	7 ~	坛	二			<u></u>	小空 一一		
	3530	四	訯	普調	育 逝	[] 酲	肓	靜	斉	柷	勽	3480	モ	圱	択	拍:	沢冫	萑 垟	新計	; 琫	瘹		3/30	鞇	賏	炰	1公	殿	澱	Ш	電	冘	屸
	3240	脆	隻	席情	ち 成	床	昔	析	石	積	/	3490	諾	萓	凬	蛸	只						3740	堵	淰	妬	屠	徒	斗	籵	渡	登	剳
	2250	箝	纑	⇒ ∃	≣ 井	. 中市	嘻	石	-Π+	÷Щ		2500		пП) 击		牵 6	4 22	臣又	2(1)		2750	时	 		· []	斫		<u>4</u> 2	Ē	+	10
	0200	市	順	1月1月	₹ //`	「」	唄	识	95	ſЩ		0000		LI1	밀	ほり	<u>лх</u> -	手 心	て 天	<u> </u>	<u>ب</u>		3730	出日	丛	미미	坝	뽀	כתיו	5	反	<u> </u>	××
+	3260	接	摂	折意	岁窃	節	説	Ē	絶	舌		3510	棚	谷	狸	鱈	樽∄	誰ヂ	十単	. 嘆	坦		3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
10	3270	峬	仙	先日	L	官	卥	尘	Ш	賆		3520	扣	探	\square	軟	淡	甚 に	豆短	端	笛		3770	宕	皀	崲	悼	投	搭	审	桃	梼	楎
			+22	+~ +⁄) <u>—</u>	. \]	いた	2##	+~		0020		파		ᅏ	50C /			. 7110 . 3144			0700	- - - - 	山) 次回) 	7	10			ᅶᆂ	
	3280	烱	撰	作王作	示	:	斻	尜	浴	別		3530	柾	玑	胆	蛋	誕」	収し	丁追	. 5甲			3/80	盜)尙	汤	涛	ΊJ	浢	\equiv	炄	伤	~키
	3290	煽	旋	穿育	箭線	Į						3540	暖	檀	段	男	談化	直矢	日地	: 弛	恥	\vdash	3790	答	筒	糖	統	到					
	3300		絀	美服	急幼	· 俞八	茜	≣수	睢	脭主		3550	知	洲	姤	秭	居 3	込むせ	山海	臣州	筑		3800		苦	迼	蔝	≣√	畻		觃	ЗЖ	涹
	0000		心思	ジンC ID ヘト ヘ		- 川口 - カソ			<u>兄</u> ん >+r			0000			7/11 ///	11日			ᆔᄮᆂ	: 1913 - 1913	* *		0000	1.7%	里	1973 	133	00 0 J	加吉	<u> </u>			
	3310	選	遷	錶氃	无厌	鮮	胢	善	漸	좄		3560	詒	ſΊ	筑	畜	逐权	铁当	Ë 🛠	: 嫡	凊		3810	錏	倁	顕	膫	廚	鱽	動	同	冝	
	3320	全	褝	繕朖	も 粔	噌	朔	岶	措	曾	チ	3570	中	仲	宙	忠:	抽质	する	ì注	中	衷		3820	憧	撞	洞	朣	啬	胴	萄	渞	銅	鮛
<u> </u>	2220	亩	木木		수 값부	订林		ŦĦ	衵	圭	-	2500	≡ት			臣子	」 「」 「」	 ⊼⊉ X:	≠ ≠	玉	臣		0000		, —	/日	価	注	卅二	赤又	禾	笙	=
トワ	0000	目	疋	归贝	山広	议记	. ↑H	伯	<u>↑</u> 日	沇		3000	ī±	日7	财	尚土 ′	传专序	3伯 31	3 7	百	'		3030	「物	但	1守	1芯	ルビ	付	E	ンじ	馬	冊
1	3340	組	厤	訴阝	1 遡	圓鼠	僧	創	双	叢		3590	丁	兆	凋	喋	寵						3840	独	読	枥	榢	凸	突	椴	届	鳶	苦
	N																																
		0	1	2 3	3 4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	56	37	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		0	1	23	34	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	56	37	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	3850	0 寅] 酉	2 3 瀞呐	3 4 順屯	5 〔惇	6 敦	7 沌	8 豚	9 遁		4100	0	〕 鼻	2 柊	3 稗	4 匹 7	5 6 正長)7 毛彦	8 膝	9 菱	<u></u> т	4350	0 牧	〕 睦	2 穆	3 釦	4 勃	5 没	6 殆	7 堀	8 幌	9 奔
 -	3850 3860	0 寅頓	 西 呑	2 3 瀞噚) 4 東屯	5 [惇 那	6 敦内	7	8 豚 瓜	9 遁 薙		4100 4110	0 时	〕 鼻 弼	<u>2</u> 柊必	3 稗 畢	4 匹7 筆〕	5 6)7 毛彦姫	8 膝媛	9 菱紐	朩	4350 4360	0 牧本	睦翻	2 穆凡	3 釦 盆	4 勃摩	5 没磨	6 殆 魔	7 堀麻	8 幌埋	9 奔妹
 	3850 3860	0 寅頓꽿	西呑灘	2 3 神量 会	} 4 項屯 東奈	5 惇那剛	6 敦内郷	7	8 豚 瓜 南	9 遁薙椋		4100 4110 4120	0 肘	〕鼻弼謬	2 柊必佳	3 稗 畢	4 匹 筆 煙	5 6 2 5 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	37 彦姫	8 膝媛 要	9 菱紐圭	木	4350 4360	0 牧本吐	1 睦翻	2 穆 凡 句	3 釦盆	4 勃摩植	5 没磨草	6 殆魔뼙	7 堀麻枕	8 幌埋節	9 奔妹
 	3850 3860 3870	0 寅頓謎	西呑灘	2 瀞曇捺	3 4 屯奈楢	5 [字 那 馴	6 敦内縄	7 沌乍畷	8 豚凪南	9 遁薙楠	Ł	4100 4110 4120	0 肘百	□鼻弼謬:	2 柊必俵	3 稗畢彪	4 匹筆標	5 正 區 水	3 7 彦姫瓢	8 膝媛票	9 菱紐表:	木	4350 4360 4370	0 牧本昧	1 睦翻枚	2 穆凡毎	3 釦盆哩	4 勃摩槙	5 没磨幕:	6 殆魔膜	7 堀麻枕	8 幌埋鮪	9 奔妹柾
ト ナ	3850 3860 3870 3880	0 寅頓謎軟	Ⅰ 酉呑灘難	2 瀞曇捺汝	3 項111 一項111 一項111 一項111 一項111 一一一一一一一一一一	5 「 「 那 馴 弐	6 敦内縄迩	7 沌乍畷匂	8 豚凪南賑	9 遁薙楠肉	Ł	4100 4110 4120 4130	0 肘百評	□ 鼻弼謬豹	2 柊必俵廟	3 稗畢彪描	4 匹筆標病	5	7 彦姫瓢錨	8 膝媛票鋲	9 菱紐表蒜	木 一	4350 4360 4370 4380	0 牧本昧鱒	睦翻枚桝	2 穆凡毎亦	3 釦盆哩俣	4 勃摩槙又	5 没磨幕抹	6 殆魔膜末	7 堀麻枕沫	8 幌埋鮪迄	9 奔妹柾侭
ト ナ ー	3850 3860 3870 3880 3890	0 寅頓謎軟町	□ 酉呑灘難廿		3 東京楢尼入	5 [停那 馴 弐	6 敦内縄迩	7 沌乍畷匂	8 豚凪南賑	9 遁薙楠肉	Ł	4100 4110 4120 4130 4140	0	│ 鼻弼謬豹鲓	2 柊必俵廟品	3 稗畢彪描彬	4 匹筆標病斌	5 正圖氷砂丘	7 彦姫瓢錨貧	8 膝媛票鋲客	9 菱紐表蒜頫	ホ マ	4350 4360 4370 4380 4390	0 牧本昧鱒繭	睦翻枚桝摩	2 穆凡毎亦万	3 釦盆哩俣慢	4 勃摩槙又満	5 没磨幕抹	6 殆魔膜末	7 堀麻枕沫	8 幌埋鮪迄	9 奔妹柾侭
	3850 3860 3870 3880 3880	0 寅頓謎軟虹	西呑灘難廿	2	4 屯奈楢尼入付	5 惇那馴弐 5	6 敦内縄迩 9	7 沌乍畷匂 3	8 豚瓜南賑 河	9 遁 薙 楠 肉 一 変	L	4100 4110 4120 4130 4140	0 肘百評蛭匈	1 鼻弼謬豹鰭	2 柊必俵廟品	3 稗畢彪描彬	4 匹筆標病斌	5 正逼氷砂兵士	7 彦姫瓢錨貧雪	8 膝媛票鋲賓	9 菱紐表蒜頻を	ホ マ	4350 4360 4370 4380 4390	0 牧本昧鱒繭	睦翻枚桝麿	2 穆凡毎亦万夏	3 釦盆哩俣慢	4 勃摩槙又満+	5 没磨幕抹 軒	6 殆魔膜末 [7 堀麻枕沫 第	8 幌埋鮪迄 4	9 奔妹柾侭 网络小子 网络小子 网络小子 网络小子 网络小子 网络小子 网络小子 网络小子
トナニヌ	3850 3860 3870 3880 3890 3900	0 寅頓謎軟虹	1 西呑灘難廿如	2 瀞曇捺汝日尿	4 屯奈楢尼入任	5 停那馴弐 妊	6 敦内縄迩 忍	7 沌乍畷匂 認	 8 豚 兩 兩 原 二 <l< td=""><td>9 遁薙楠肉 禰</td><td>L</td><td>4100 4110 4120 4130 4140 4150</td><td>0 肘百評蛭敏</td><td>1 鼻弼謬豹鰭瓶</td><td>2 柊必俵廟品不</td><td>3 稗畢彪描彬付</td><td> 4 匹筆標病斌埠</td><td>5 卫逼氷砂兵夫</td><td>7 彦姫瓢錨貧富</td><td>8 膝媛票鋲賓冨</td><td>9 菱紐表蒜頻布</td><td>ホ マ</td><td>4350 4360 4370 4380 4390 4400</td><td>0 牧本昧鱒繭</td><td> 睦翻枚桝麿漫</td><td>2 穆凡每亦万蔓</td><td>3 釦盆哩俣慢味</td><td>4 勃摩槙又満未</td><td>5 没磨幕抹 魅</td><td>6 殆魔膜末 巳</td><td>7 堀麻枕沫 箕</td><td>8 幌埋鮪迄 岬</td><td>9 奔妹柾侭 密</td></l<>	9 遁薙楠肉 禰	L	4100 4110 4120 4130 4140 4150	0 肘百評蛭敏	1 鼻弼謬豹鰭瓶	2 柊必俵廟品不	3 稗畢彪描彬付	4 匹筆標病斌埠	5 卫逼氷砂兵夫	7 彦姫瓢錨貧富	8 膝媛票鋲賓冨	9 菱紐表蒜頻布	ホ マ	4350 4360 4370 4380 4390 4400	0 牧本昧鱒繭	睦翻枚桝麿漫	2 穆凡每亦万蔓	3 釦盆哩俣慢味	4 勃摩槙又満未	5 没磨幕抹 魅	6 殆魔膜末 巳	7 堀麻枕沫 箕	8 幌埋鮪迄 岬	9 奔妹柾侭 密
トナニヌ	3850 3860 3870 3880 3890 3900 3910	0 寅頓謎軟虹 袮	1 西呑灘難廿如寧	2 瀞曇捺汝日尿葱	4 屯奈楢尼入任熱	5 「 「 「 『 那 馴 弐 、 妊 年	6 敦内縄迩 忍念	7 池乍畷匂 認捻	8 豚 瓜 南 賑 濡 撚	9 遁薙楠肉 禰燃	L	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160	0 肘百評蛭敏府	│ 鼻弼謬豹鰭瓶怖	2 柊必俵廟品 不扶	3 稗畢彪描彬付敷	4 匹筆標病斌埠斧	5 疋畐氷砂兵夫普	? 彦姫瓢錨貧富父	8 膝媛票鋲賓冨符	9 菱紐表蒜頻布腐		4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410	0 牧本昧鱒繭 蜜	睦翻枚桝麿漫湊	2 穆凡每亦万蔓蓑	3 釦盆哩俣慢味稔	4 勃摩槙又満未脈	5 没磨幕抹 魅妙	6 殆魔膜末 巳粍		8幌埋鮪迄 岬眠	9 奔妹柾侭 密務
トーナ ニヌ ネ	3850 3860 3870 3880 3890 3900 3910 3920	0 寅頓謎軟虹 袮粘	→ 西呑灘難廿如寧乃	2 瀞曇捺汝日尿葱硒	4 屯奈槿尼入任熱林	5 「「「」 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	6 敦内縄迩 忍念悩	7 沌乍畷匂 認捻遭	8 豚 凪 南 賑 濡 撚 納	9 遁薙楠肉 禰燃能	L	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170	0 肘百評蛭敏府膚	鼻弼謬豹鰭瓶怖芏	2 柊必俵廟品 不扶護	3 稗畢彪描彬付敷鱼	4 匹筆標病斌埠斧賦	5 疋畐氷沙兵夫普臥 6		8 膝媛票鋲賓富符侮	9 菱紐表蒜頻 布腐墲	ホマミン	4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420	0 牧本昧鱒繭 蜜蘑] 睦翻枚桝麿漫湊毎	2 穆凡 毎亦万蔓蓑牟	3 釦盆哩俣慢味稔矛	4 勃摩槙又満未脈露	5 没磨幕抹 魅妙離	6 殆魔膜末 巳粍椋	7 堀麻枕沫 箕民婿	8幌埋鮪迄 岬眠娘	9 奔妹柾侭 密務官
	3850 3860 3870 3880 3890 3900 3910 3920	0 寅頓謎軟虹 袮粘	1 酉呑灘難廿如寧乃遭	2 瀞曇捺汝日尿葱廼曲 3 4	4 屯奈楢尼入任熱埜	5 「「「那 り」 「 り い い い い い い の の の の の の り の の り の の の の	6 敦内縄迩 忍念悩い	7 沌乍畷匂 認捻濃揺	8 豚凪南賑 濡撚納粟	9 遁薙楠肉 襧燃能調	Ľ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170	0 肘百評蛭敏府膚	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞	2 柊必俵廟品 不扶譜芸	3 稗畢彪描彬 付敷負菇	4 匹筆標病斌埠斧賦部	5 正逼水沙兵夫普赴16	う 毛会票 百頭 帚 孚 亘 □ 7 彦 姫 瓢 錨 貧 富 父 附 🛙	8 膝媛票鋲賓冨符侮	9 菱紐表蒜頻布腐撫芋	ホ マ ミム	4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420	0 牧本昧鱒繭 蜜夢 2] 睦 翻 枚 桝 麿 漫 湊 無 <	2 穆凡每亦万蔓蓑牟日	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟	4 勃摩槙又満未脈霧※	5 没磨幕抹 魅妙鵡岔	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴	7 堀麻枕沫 箕民婿頃	8幌埋鮪迄 岬眠娘	9 奔妹柾侭 密務冥
トナニヌネノ	3850 3860 3870 3880 3890 3900 3910 3920 3930	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳	西呑灘難廿如寧乃膿	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農 2 浄曇捺汝日尿葱廼農	4 电奈槿尼入任熱埜蚤	5 「 了 了 『 那 馴 弐 、 近 年 嚢 巴	6 敦内縄迩 忍念悩把	7 沌乍畷匂 認捻濃播	8 豚凪南賑 濡撚納覇	9 遁 薙 楠 肉 禰 燃 能 杷	Ł	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180	0 肘百評蛭敏府膚武	│ 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞	2 柊必俵廟品不扶譜葡	3 稗畢彪描彬付敷負蕪	4 匹筆標病斌埠斧賦部	5 疋畐氷沙兵夫普赴討() - - - - - - - - -	〕 彩云栗古頂帚孚ª風 了。彦姫瓢錨貧富父附風	8 膝媛票鋲賓冨符侮葺	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗		4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420 4420	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名] 睦翻枚桝麿漫 湊 魚 命	2 穆凡毎亦万蔓蓑牟明	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟	4 勃摩槙又満未脈霧迷	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴	7 堀麻枕沫 箕民婿 姪	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝	9 奔妹柾侭 密務冥滅
トナニヌネノ	3850 3860 3870 3880 3890 3900 3910 3920 3930 3940	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波	西呑灘難廿如寧乃膿派	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶	4 屯奈楢尼入任熱埜蚤婆	5 「 了 了 了 那 馴 弐 、 近 年 裏 巴 罵	6 敦内縄迩 忍念悩把芭	7 沌乍畷 匂 認 捻濃 播馬	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃	 フ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190	0 肘百評蛭敏府膚武伏	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復	3 稗畢彪描彬	4 匹筆標病斌埠斧賦部服	5 疋畐氷沙兵夫普赴討 6 墨柏蕩古渺妙浮阜桃	〕 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	8 膝媛票鋲賓富符侮葺	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗	ホ マ ミム メ	4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420 4420 4440	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免] 睦翻枚桝麿漫湊魚命棉	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬	4 勃摩槙又満未脈霧迷面	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸	7 堀 麻枕沫 箕民 婿 姪 模	8幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄
トナニヌネノ	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝	西呑灘難廿如寧乃膿派排	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗3 岡銀銀二 学主教 にすのは	4 屯奈楢尼入任熱埜	5 惇那馴弐、妊年嚢巴罵牌	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬時	8 豚 風 南 賑 濡 撚 納 覇 俳 辈	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配	ヒフ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4200	0 肘百評蛭敏府膚武伏	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副癌	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復暄	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆	5 足逼氷沙兵夫当赴时 四 (2 泥会票首頁帚孚昌風 4 2 彦姫瓢錨貧富父附風 1	8 膝媛票鋲賓富符侮葺	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 4	ホ マ ミム メ	4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420 4420 4440 4440 4440	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免子] 睦 翻 枚 桝 麿 漫 湊 無 命 棉 手	2 穆凡 毎亦万蔓 蓑 牟 明綿 経	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲	4 勃摩槙又満未脈霧迷面綱	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺赶	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙	7 堀 麻枕沫 箕民 婿 姪 模健	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木	9 奔妹柾侭密務冥滅妄默
トナニヌネノ	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3930 3940 3950	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝空	一 酉 呑 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 望	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗期	3 項屯禹二儿宦苗乙見皮不言。 4 屯奈楢尼入任熱埜 蚤婆盃!	5 「 「 了 『 那 馴 弐 、 近 年 裏 巴 罵 牌 に	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背	7 池乍畷匂	8 豚瓜南賑 濡撚納覇俳輩	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配空	 フ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4200	0 肘百評蛭敏府膚武伏 屿	1 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福約	2 柊必俵廟品不扶譜葡復腹;	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複覧	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆嘘	5 疋逼氷沙兵夫当赴时 開き	2 彩云栗茸頭帚浮雪風 串	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏		4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420 4430 4440 4450	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟	1 睦翻枚桝麿漫湊無命棉毛+	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲炎	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙	7 堀麻枕沫 箕民婿姪 模儲	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木闘	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙問
トナニヌネノ	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3960	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍	一 酉 呑 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒(2)	3 項屯禹二七宦苗乙見皮不再4 屯奈楢尼入任熱埜蚤婆盃楳	5 「 「 「 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳輩売	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠	ヒフ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4200 4210	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物] 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴	5 꾿逼氷沙兵夫普赴封 - 借]	3 『『「「「「「「「」」」。 2 『「」」。 2 『「」」。 2 3 3 3 3 3 3 3	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏奮	ホ マ ミム メ モ	4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420 4430 4440 4450 4460	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目	1 睦翻 枚桝麿漫 湊 無 命棉 毛杢	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛勿	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶
トナニヌネノ	3850 3860 3870 3890 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3960 3970	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪	一 酉 呑 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿33 叫釒釒1911字113712可砥柞柎秆	3 頭屯哥二儿宦苗二見皮不再平 4 屯奈楢尼入任熱埜蚤婆盃煤S	5 惇那馴弐	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳輩売博	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠拍	 フ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4200 4210 4220	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉] 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文	5 꾿逼氷沙兵夫普赴时 開賁聞		8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀	ホ マ ミム メ モ	4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4450 4460 4470	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋	〕 睦翻 枚桝麿漫 湊 無 命棉 毛杢門	2 穆凡 毎亦万蔓 莨 年 明綿 猛勿勾	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺 耗戻夜	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺	7 堀 麻枕沫 箕民婿 姪 模儲貰 耶	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥
トナニヌネノ	3850 3860 3870 3890 3900 3910 3920 3930 3930 3940 3950 3960 3970	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪拍		2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿03 「「」 新曇奈汝日尿葱廼農琶敗媒蝿05	3 項屯哥二儿宦苗二見皮不再平的4 屯奈楢尼入任熱埜蚤婆盃棵另約	5 惇那馴弐 妊年嚢巴罵牌煤萩的	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯葉	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥泊	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳輩売博唱	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠拍漠	ヒ フ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4200 4210 4220	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幽]鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞亚	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰捂	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文英	5 疋逼水沙兵夫等赴时 開賁聞臨 (8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵坐	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀豆	ホ マ ミム メ モ	4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4450 4460 4470	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋ケ	〕 睦翻 枚桝麿漫 湊 無 命棉 毛杢門 □	2 穆凡 毎亦万蔓 蓑 年 明綿 猛勿匁 3	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也夠	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜記	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺朙	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰耶靖	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野畑	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥莊
トナニヌネノ	3850 3860 3880 3890 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3970 3980	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪柏	一 酉 香 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 :	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白:2	3 項电過二儿宦苗之見皮不再平百 4 屯奈椪尼入任熱埜 遙婆盃煤另粕	5 惇那馴弐 · 妊年囊巴罵牌煤萩舶	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥迫	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳輩売博曝	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠拍漠	ビ フ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4200 4210 4220 4230	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰柄	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並	5 꾿逼水沙兵夫等赴封	7 彦姫瓢錨貧富父附風 払扮併陸	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁		4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420 4440 4450 4440 4450 4460 4470 4480	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢	- 睦翻枚桝麿漫湊無命棉 毛杢門 厄	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰耶靖	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3950 3950 3950 3950 3950 395	0 寅頓謎軟虹 称粘脳波拝倍陪柏爆	酉 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 縛	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫 3 4 3 4 3 4 4 4 1 3 1 3 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	> 項电码二儿 直描 乙見皮不 更平 百爻 4 屯奈椪尼入任熱埜 蚤婆 盃 棵 另 粍 麦	5 惇那馴弐 妊年囊巴罵牌煤萩舶	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥迫	8 豚 凪 南 賑 濡 撚 納 覇 俳 輩 売 博 曝	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠拍漠	ヒフ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4190 4210 4220 4230 4240	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧	4 匹筆標病斌 埠斧賦部服覆噴文並別	5 疋逼氷沙兵夫等赴时 崩賁聞腋瞥	2] 『『「「「「「「「「」」」。 2] 『「「」」。 2] 『「」。 2] 『」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『」。 2] 『『」。 2] 『」。 2] 『」。 2] 『「」。 2] 『」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『「」。 2] 『」。 2] 『「」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『『」。 2] 『」。 2] 『『」。 2] 『」。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』。 2] 『『』』』] 』	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変		4350 4360 4370 4380 4390 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4440 4450 4460 4460 446	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓	- 睦翻枚桝麿漫湊無命棉毛杢門厄愉	2 穆凡毎亦万蔓蔓牟明綿猛勿匁役愈	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰 耶靖	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮
トーナ ニヌ ネ ノ ハ	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3950 3960 3970 3980 3990 4000	0 寅頓謎軟虹 称粘脳波拝倍陪柏爆	酉 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 縛 函	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫筠 3	3 頭屯喝二儿宦苗乙見皮不毎乎畜爻浴 4 屯奈楢尼入任熱埜蚤婆盃楳另粔麦篓	5 停那馴弐 近年囊巴罵牌煤萩舶 肇	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筀	7 沌乍畷 勾 認 捻 濃 播 馬 肺 買 剥 迫 が 楣	8 豚瓜南販 濡撚納覇俳輩売博曝	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠拍漠 町	ヒ フ へ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4200 4200 4220 4230 4240 4250	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁笸	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰 柄碧辺	4 匹筆標病斌 埠斧賦部服覆噴文並別返	5 疋逼氷沙兵夫等赴时 開育聞腋瞥篇	3 12 12 13 13 13 14 14 15 15 15 15 15 15	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁		4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4440 4450 4440 4450 4450 4450 4450 4450	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓	- 睦翻枚桝麿漫湊無 命棉 毛杢門 厄愉諭	2 穆凡毎亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒伤	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 愿	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 通	7 堀 麻枕沫 箕民婿姪 模儲貰 耶靖 友	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宕	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽
ト ナ 三ヌ ネ ノ ハ	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3940 3950 3960 3970 3980 3990 4000	0 寅頓謎軟虹 袮粘脳波拝倍陪柏爆 蛔	西香灘難廿如寧 乃膿派排培這泊縛函□	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱 4	④ 电码二儿直苗乙見皮不再平省爻谷4		6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈	7 沌乍畷 匂 認 捻濃 播馬肺買剥迫 櫨	8 豚 瓜南賑 濡	9 遁薙楠肉 禰燃能把廃配賠拍漠 肌罰	 フ へ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4200 4210 4220 4230 4240 4250	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片類	│ │ 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇 □	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編は	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺は	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返回	5 它逼水纱兵夫等卧时 常費聞腋瞥扁常。 6 墨材漂在渺妙浮卓树 步恨它良度低品	5 尾会票百角吊号鱼風 串貨可用度更一一7 彦姫瓢錨貧富父附風 払扮併陛箆勉	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁 1		4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4450 4450 4460 4470 4480 4490 4500	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 欸	- 睦翻枚桝麿漫湊無命棉 毛杢門 厄 愉諭喜	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸4	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯女	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑は	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優 2	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇?	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰 耶靖 友業	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽中
ト ナ ニヌ ネ ノ ハ	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3940 3950 3960 3970 3980 3990 4000 4010	0 寅頓謎軟虹 称粘脳波拝倍陪柏爆 畑	西香灘難廿如寧 乃膿 派排培這泊縛函畠	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八 3		5 [了 [了 [那 馴 式 、 近 年 裏 巴 罵 牌 席 第 一 第 一 第 一 第 一 5 [5] 二 7] 二 7] 二 7] 二 7] 二 7] 7] 7]	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥迫 櫨髪	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳輩売博曝 幡伐	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠拍漠 肌罰		4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4210 4220 4220 4230 4240 4250 4260	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編 舗	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪 3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃	5 꾿逼水纱兵夫等卧时	2 1 1 2 1 2 2 3 2 3 4 3 4 5 1 3 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁 輔		4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4430 4440 4450 4460 4470 4480 4490 4500 4510	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠	〕 睦翻 枚桝麿漫湊 魚命棉 毛杢門 厄 愉諭憂	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰耶靖 友猶	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽由
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3960 3970 3980 3990 4000 4010 4020	0 寅頓謎軟虹 袮粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜	酉吾 灘難 廿如 寧 乃膿 派排培這泊縛函畠筏	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥 3 暉釗釗	> 頂屯咼二乚雈笛乙見皮不毎平筲爻谷本鳥		6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤	7 沌乍畷 匂 認 捻 濃 播馬肺買剥迫 櫨髪隼	8 豚 瓜南 賑 濡 撚 納 覇 俳 輩 売 博 曝 幡 伐 伴	9 遁薙楠肉 禰燃能杷廃配賠拍漠 肌罰判	ヒ フ へ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4180 4200 4210 4220 4230 4220 4230 4250 4250 4260 4270	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂	□ 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編 舗墓	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊	5	> 『忌会票古風帚浮』風(串貫 习月度更示母) 7 彦姫瓢錨貧富父附風(払扮併陞箆勉甫簿)	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁 輔倣		4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4460 4470 4480 4490 4500 4510 4520	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐	〕 睦翻 枚桝麿漫湊 魚命棉 毛杢門 厄 愉諭憂裕	2 穆凡毎亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬 癒佑柚邑	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄	7 堀麻枕沫 箕民婿姪 模儲貰耶靖 友猶融	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙問弥薮 幽由予
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3960 3970 3980 3990 4000 4010 4020	0 寅頓謎軟虹 袮粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半	酉 吾 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 縛 函 畠 筏 區	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥版	> 頭屯咼二乚韮苗 乙見皮不 毎平 百爻谷本鳥豆 4 屯奈楢尼入任熱埜蚤婆盃棵另粔麦箸溌噺螂		6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥迫 櫨髪隼辺	8 豚 瓜南 賑 濡 撚 納 覇 俳 輩 売 博 曝 幡 伐 伴 羽	9 遁薙楠肉 禰燃能把廃配賠拍漠 肌罰判師	ヒ フヘ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4210 4220 4220 4230 4220 4250 4250 4250 4270 4270	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂傣	□ 鼻弼謬豹鰭脑怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募匀	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編 舗墓品	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕報 3 稗畢彪描彬 竹敷	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奏	5 꾿逼氷沙兵夫等赴时	5 尾会票互通帚浮型風 串貨可用度更示 母系 7 彦姫瓢錨貧富父附風 払扮併陞箆勉甫簿案	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩鹋	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁 輔倣向	ホ マ ミムメ モ ヤ ユ	4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4450 4460 4470 4480 4490 4500 4510 4520	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐会	- 睦翻枚桝麿漫湊無命棉 毛杢門厄愉諭憂裕」	2 穆凡毎亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘掌	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊團	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑麵	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵便	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼	7 堀麻枕沫 箕民婿姪 模儲貰耶靖 友猶融低	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕窗	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽由予慮
ト ナ ニヌ ネ ノ ハ	3850 3860 3870 3890 3900 3910 3920 3930 3930 3940 3950 3960 3970 3980 3970 3980 3990 4000 4010	0 寅頓謎軟虹 袮粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半)	酉 西 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 縛 函 畠 筏 反 ;	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛	> 頭屯咼二乚直苗 2 見皮不 更平百爻谷本鳥① 2	5 惇那馴弐 妊年囊巴罵牌煤萩舶 肇発塙斑	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板	7 沌乍畷 幻 認 捻濃 播馬肺買 剥迫 櫨髪隼 氾算	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳輩売博曝 幡伐伴汎	9 / 遁薙楠肉 / 禰燃能一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4210 4220 4220 4220 4220 4220 422	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂俸 1	□ 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包!	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編 舗墓呆ネ	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕報	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉	5 卫逼水沙兵夫当赴时 開賁聞腋瞥扇甫暮宝(- 墨杜滨古渺如浮阜桃 更恨同畏责很为母雌	6 《《宗古頁帚乎》風《书章內閉處更云母》(7 《》《》》 《》 《》 《》 《》 《》 《》 《》 《》 《》 《》 《》	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩崩	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁 輔倣庖	ホ マ ミム メ モ ヤ ユ	4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4450 4450 4450 4510 4520	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余!	- 睦翻枚桝麿漫湊無命棉毛杢門厄愉諭憂裕与!	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘誉!	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預!	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭!	6 殆魔膜末 巴粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼	7 堀麻枕沫 箕民婿姪ໄ模儲貰 耶靖 友猶融妖)	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容!	9 奔妹柾侭 密 務 冥滅 妄黙悶 弥薮 幽由 予庸
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3950 3950 3950 3950 3950 395	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半犯	酉 西 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 縛 函 畠 筏 反 班	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛畔 3 傘	> 填屯咼二儿直苗之見皮不毎平省爻谷本鳥叭冬 4 屯奈椪尼入任熱埜蚤婆盃楳另粔麦箸溌噺搬般	5 惇那馴弐 妊年囊巴罵牌煤萩舶 肇発塙斑藩	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板販	7 沌 乍畷 匂 認 捻 濃 播馬肺買 剥迫 櫨髪隼氾範	8 豚瓜南賑 濡撚納覇俳輩売博曝 幡伐伴汎釆	9 / 遁 薙 楠 肉 / 禰 燃 能 杷 廃 配 賠 拍 漠 肌 罰 判 版 煩		4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4200 4200 4220 4230 4240 4250 4250 4260 4270 4280 4290	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穗俸抱	□ 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包捧	2 柊必俵廟品不扶譜葡復腹分紛弊癖編舗墓呆放	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕報方	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉朋	5 疋逼水纱兵夫普赴討	3 《 影会票 4 更 吊 乎 8 風 《 书 章 17 月 褒 更 15 母 章 7 彦 姫 瓢 錨 貧 富 父 附 風 《 払 扮 併 陞 箆 她 甫 簿 峯	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩崩	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏奮塀頁変弁輔倣庖		4350 4360 4370 4380 4390 4400 4420 4440 4440 4450 4450 4450 445	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余揚	〕	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘誉擁	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿曜	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預楊	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭様	6 殆魔膜末 巴粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼洋	7 堀麻枕沫 箕民婿姪ໄ梯儲貰 耶靖 友猶融妖溶	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容熔	9 奔 妹柾侭 密 務 冥滅 妄黙悶 弥薮 幽由 予庸用
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3950 3950 3950 3950 3950 395	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半犯頒	酉 香 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 縛 函 畠 筏 反 班 飯	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛畔挽 3 4 4 2 4 4 2 4 4	3 碩屯咼二儿韮苗乙見安不毎平百爻谷本鳥凡冬免 4 屯奈椪尼入任熱埜螢婆盃棵另粧麦箸溌噺搬般番		6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板販磐	7 沌乍畷 幻 認 捻 濃 播馬肺買 剥迫 櫨髪隼氾範蕃	8 豚 凪 南 賑 濡 撚 納 覇 俳 輩 売 博 曝 幡 伐 伴 汎 釆 蛮	9 / 遁薙楠肉 / 禰燃能 把廃配賠拍漠 肌罰判版煩[匪		4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4200 4220 4220 4220 4220 4250 425	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂俸抱	│ │ 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包捧法	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編 舗墓呆放泡	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰 柄碧辺鋪慕報方烹	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉朋砲	5 卫逼水沙兵夫等赴时 開賁聞腋瞥扁浦暮宝 縫() - 握杜湾古沙妙湾卓枥 更怕已良度倒为母雌 郎	6 尨会票百預帚孚昌風 - 串貫 习月度更尽 母雀 向 7 彦姫瓢錨貧富父附風 - 払扮併陛箆勉甫簿峯 - 芳	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩崩 萌	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏奮塀頁変弁輔倣庖 蓬	ホ マ ミムメ モ ヤ ユ ヨ	4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4450 4440 4450 4440 4450 4450 4500 4510 4520 4530 4550	0 牧本味鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余揚窯	〕 睦翻 枚桝麿漫 湊 無 命棉 毛杢門 厄 愉諭憂裕 与揺羊	2 穆凡每亦万蔓蔓牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘誉擁耀	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿曜葉	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預楊蓉	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭様要	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼洋謡	7 堀麻枕沫 箕民婿姪 模儲貰 耶靖 友猶融妖溶踊	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容熔遥	9 奔妹柾侭 密 務 冥滅 妄黙悶 弥薮 幽由 予庸用陽
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3940 3950 3940 3950 3940 3950 3940 3950 3940 3950 3940 3950 3940 3950 3960 3970 3980 3970 3980 3970 3980 3970 3970 3970 3970 3970 3970 3970 397	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半犯頒出	1 酉呑 灘難 廿如 寧 乃膿 派排培這泊縛函畠筏反班飯 k	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛畔挽短 3 4 4 2	3 項屯咼二儿直苗乙見皮不再平百爻谷本島凡冬免2		6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板販磐	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥迫 櫨髪隼氾範蕃地	8 豚 凪 南 賑 濡 撚 納 覇 俳 輩 売 博 曝 幡 伐 伴 汎 釆 蛮 悼	9 / 遁薙楠肉 / 禰燃能 把廃配賠拍漠 肌罰判版煩匪		4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4210 4220 4220 4230 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 425	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂俸抱 10	□ 鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包捧法耍	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛弊癖編 舗墓呆放泡ホ	3 稗畢彪描彬 付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺 舗慕報方烹曲	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉朋砲報	5 卫逼氷沙兵夫等赴封 開賁聞腋瞥扁甫暮宝 缝》("	3 診会票有項帚浮章風 - 串資可用處更尽母鋒 - 回向7 彦姫瓢錨貧富父附風 - 払扮併陞箆勉甫簿峯 - 芳園	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補苦崩 萌赠	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁 輔倣庖 蓬 H		4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4450 4440 4450 4440 4450 445	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余揚窯業] 睦翻 枚桝麿漫 湊 無 命棉 毛杢門 厄 偷諭憂裕 与揺羊欻	2 穆凡 毎亦万蔓 莫 年明綿 猛勿匁 役 愈輸揖誘	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿曜葉潋	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預楊蓉カ	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭様要※	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼洋謡	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰 耶靖 友猶融妖溶踊翌	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容熔遥涼	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽由予庸用陽歴
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3940 3950 3960 3970 3980 3990 4000 4010 4020 4030 4040 4050 4060	0 寅頓謎軟虹 袮粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半犯頒卑	1 酉呑 灘難 廿如 寧 乃膿 派排培這泊縛函畠筏反班飯 否	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛畔挽妃 3 傘	3 . 填屯咼二儿直苗乙見皮不再平百爻谷本島九冬仓比 4 . 屯奈楢尼入任熱埜肇婆盃楳另粕麦箸溌噺搬般番彼	5 停那馴弐 近年囊巴罵牌煤萩舶 肇発塙斑藩盤悲	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板販磐扉	7 沌乍畷匂 認捻濃播馬肺買剥迫 櫨髪隼氾範蕃批	8 豚 凪 南 賑 濡 撚 納 覇 俳 輩 売 博 曝 幡 伐 伴 汎 釆 蛮 披	9 遁 薙楠 肉 禰燃 能 杷廃配賠拍漠 肌罰判版煩 匪斐		4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4210 4220 4220 4230 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4240 4250 4290 4290 4310	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂俸抱 蜂	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包捧法褒	2 柊必俵廟品不扶譜葡復腹分紛弊癖編舗墓呆放泡訪.	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕報方烹豊	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉朋砲邦	5 卫逼水沙兵夫当赴时 開費聞腋瞥扁甫暮宝 逢逢 (墨杜荡古涉妙浮阜桃 更恨已艮唐俍封母雌 朋食	3 診会票有項,常考查風 - お育肉用度更尽母雀 - 包包2 2 彦姫瓢錨貧富父附風 - 払扮併陞箆勉甫簿峯 - 芳鳳	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩崩 萌鵬	9 菱紐表蒜頻 布腐撫蕗 仏奮 塀頁変弁 輔倣庖 蓬乏		4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4430 4440 4450 4440 4450 4440 4490 4500 4510 4520 4530 4540 4550	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余揚窯養	〕 睦翻枚桝麿漫湊無命棉毛杢門厄愉諭憂裕与揺羊慾	2 穆凡毎亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘誉擁耀抑	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿曜葉欲	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預楊蓉沃	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭様要浴	6 殆魔膜末 巴粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼洋謡翌	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰耶靖 友猶融妖溶踊翼	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容熔遥淀	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽由 予庸用陽羅
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3930 3930 3940 3950 3950 3960 3970 3980 3970 3980 3990 4000 4010 4020 4030 4040 4050 4060 4070	0 寅頓謎軟虹 袮粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半犯頒卑比	西香灘難廿如寧 乃膿 派排培這泊縛函畠筏反班飯 否泌	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛畔挽妃疲 、	3 . 碩屯咼二乚直苗乙見皮不再平百爻谷本鳥വ冬色尼2 4 . 屯奈椪尼入任熱埜遥婆盃楳另粔麦箸溌噺搬般番彼碑	5 惇那馴弐 妊年囊巴罵牌煤萩舶 肇発塙斑藩盤悲秘	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板販磐扉緋	7 沌乍畷匂 認 滤濃 播馬肺買剥迫 櫨髪隼氾範蕃 批罷	8 豚 凪 南 賑 濡 撚 納 覇 俳 輩 売 博 曝 幡 伐 伴 汎 釆 蛮 披 肥	9 遁薙楠肉 禰燃能把廃配賠拍漠 肌罰判版煩匪斐被		4100 4110 4120 4130 4150 4160 4170 4180 4200 4210 4220 4230 4220 4230 4240 4250 4250 4260 4270 4280 4290 4230 4230 4210 4230 4210 4230 4230 4230 4230 4230 4230 4230 423	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穗俸抱 蜂亡	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包捧法褒傍	2 柊必俵廟品不扶譜葡復腹分紛弊癖編 舗墓呆放泡訪剖	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕報方烹豊坊	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉朋砲邦妨	5. 卫逼水沙兵夫当赴时,崩賁勖蔽瞥扁甫暮宝, 逢逢唱。("墨杜荡古涉如浮阜桃,更恨同昆夷仍为母郎, 胎食系	6 尨会票苔頭帚浮章風 - 串貨可用度更示母雀 - 回包忘7 彦姫瓢錨貧富父附風 - 払扮併陛箆勉甫簿峯 - 芳鳳忙	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩崩 萌鵬房	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏奮塀頁変弁輔倣庖 蓬乏暴		4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4440 4450 4440 4450 4500 4510 4520 4530 4550 4550 4550 4550	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余揚窯養螺] 睦翻枚桝麿漫湊 魚 命棉 毛杢門 厄 愉諭憂裕 与揺羊慾 裸	2 穆凡毎亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘誉擁耀抑来	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿曜葉欲莱	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預楊蓉沃頼	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭様要浴雷	6 殆魔膜末 巴粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼洋謡翌洛	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰耶靖 友猶融妖溶踊翼絡	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容熔遥淀落	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽由予庸用陽羅酪
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3950 3960 3970 3980 3990 4000 4010 4020 4030 4040 4050 4060 4070 4080	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半犯頒卑比誹	西香灘難廿如寧 7.膿派排培這泊縛函畠筏反班飯 否泌費	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛畔挽妃疲避 3 傘	3 碩屯哥二儿直苗二見皮不再平省爻钤本島凡冬免区之= 4 屯奈楢尼入任熱埜肇婆盃楳矧粔麦箸溌噺搬般番彼碑44	5 惇那馴弐 妊年囊巴罵牌煤萩舶 肇発塙斑藩盤悲秘輝	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板販磐扉緋篦	7 沌乍畷 勾 認捻濃播馬肺買剥迫 櫨髪隼氾範蕃批罷儘	8 豚 凪南 賑 濡	9 遁薙楠肉 禰燃能把廃配賠拍漠 肌罰判版煩匪斐被微	ヒ フ ヘ ホ	4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4210 4220 4220 4230 4220 4230 4240 4250 4250 4250 4260 4270 4280 4290 4230 4230 4230 4230 4230 4230 4230 423	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂俸抱 蜂亡望	鼻弼謬豹鰭脑怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包捧法褒傍基	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛弊癖編 舗墓呆放泡訪剖棒	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕報方烹豊坊冒	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉朋砲邦妨紡	5 卫逼火沙兵夫等赴时,脱賁勖蔽瞥匾甫卜宝, 逢洚唱访("虚杜荡古涉如浮阜桃,更恨已艮唐仍岁母峒, 胎食龙唧	6 《《宗古闽帚孚》凤《书章内引奏更云母释》。 2 ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ③ ④ ④ ④ ◎ ④ ◎	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補菩崩 萌鵬房鉤	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏奮塀頁変弁輔倣庖 蓬乏暴留	ホ マ ミムメ モ ヤ ユ ヨ ラ	4350 4360 4370 4380 4400 4410 4420 4440 4440 4440 4450 4440 4450 4480 4490 4500 4510 4520 4530 4550 4550 4550 4550 4550	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余揚窯養螺和] 睦翻 枚桝麿漫 湊 無 命棉 毛杢門 厄 愉諭憂裕 与揺羊慾 裸咖	2 穆凡每亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁役愈輸揖誘誉擁耀抑来嶏	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿曜葉欲莱欄	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預楊蓉沃頼剤	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭様要浴雷藍	6 殆魔膜末 巴粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼洋謡翌洛蘭	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰 耶靖 友猶融 妖溶踊翼 絡覧	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容熔遥淀落和	9 奔妹柾侭 密務冥滅妄黙悶弥薮 幽由予庸用陽羅酪車
	3850 3860 3870 3880 3900 3910 3920 3930 3940 3950 3950 3950 3950 3950 3950 3950 395	0 寅頓謎軟虹 祢粘脳波拝倍陪柏爆 畑抜半犯頒卑比誹;	1 酉 西 灘 難 廿 如 寧 乃 膿 派 排 培 這 泊 縛 函 畠 筏 反 班 飯 否 泌 費 師	2 瀞曇捺汝日尿葱廼農琶敗媒蝿白莫箱八閥叛畔挽妃疲避翌 3 傘	3 頃屯咼二し直苗乙見皮不毎乎畜爻谷本鳥へ冬免比乏月	5 惇那馴弐 妊年囊巴罵牌煤萩舶 肇発塙斑藩盤悲秘樋	6 敦内縄迩 忍念悩把芭背狽伯薄 筈醗蛤板販磐扉緋簸	7 沌乍畷 匂 認 捻 濃 播 馬 肺 買 剥 迫 櫨 髪 隼 氾 範 蕃 批 罷 備	8 豚凪南賑 濡撚納覇俳輩売博曝 幡伐伴汎釆蛮披肥尾	9 遁薙楠肉 禰燃能把廃配賠拍漠 肌罰判版煩匪斐被微		4100 4110 4120 4130 4140 4150 4160 4170 4200 4210 4220 4220 4220 4220 4230 4220 4230 4220 4230 4220 4230 423	0 肘百評蛭敏府膚武伏 物粉幣僻片鞭穂俸抱 蜂亡望谷	鼻弼謬豹鰭瓶怖芙舞副福鮒糞平壁篇保募包捧法褒傍某1	2 柊必俵廟品 不扶譜葡復腹分紛 弊癖編 舗墓呆放泡訪剖棒:	3 稗畢彪描彬付敷負蕪幅複吻雰柄碧辺鋪慕報方烹豊坊冒望	4 匹筆標病斌埠斧賦部服覆噴文並別返圃戊奉朋砲邦妨約	5 꾿逼氷沙兵夫等赴封 胎賁勖蔽瞥扇浦摹宝 逢逢帽防**("墨枕荡百涉如浮隼桃 步恨同昆虎仍为长峰 胎食无服	3 112公票车通常系量風,带弯勺引度更运进备,回泡运彩了112定架瓢錨貧富父附風,払扮併陞箆勉甫簿峯,芳鳳忙課1	8 膝媛票鋲賓富符侮葺 沸焚兵米偏娩補苦崩 萌鵬房貌	9 菱紐表蒜頻布腐撫蕗 仏奮塀頁変弁輔倣庖 蓬乏暴貿;		4350 4360 4370 4380 4400 4420 4420 4440 4440 4440 4450 4440 4450 445	0 牧本昧鱒繭 蜜夢名免孟目紋矢鑓 悠祐余揚窯養螺乱	〕 睦翻枚桝麿漫湊無命棉毛杢門厄愉諭憂裕 与揺羊慾 裸卵	2 穆凡毎亦万蔓蓑牟明綿猛勿匁 役愈輸揖誘誉擁耀抑来嵐雪	3 釦盆哩俣慢味稔矛盟緬盲餅也約油唯有遊輿曜葉欲莱欄	4 勃摩槙又満未脈霧迷面網尤冶薬癒佑柚邑預楊蓉沃頼濫	5 没磨幕抹 魅妙鵡銘麺耗戻夜訳 優湧郵傭様要浴雷藍	6 殆魔膜末 巳粍椋鳴摸蒙籾爺躍 勇涌雄幼洋謡翌洛蘭	7 堀麻枕沫 箕民婿姪模儲貰 耶靖 友猶融 妖溶踊翼 絡覧	8 幌埋鮪迄 岬眠娘牝茂木問野柳 宥猷夕容熔遥淀落利	9 奔妹柾侭 密務冥滅 妄黙悶 弥薮 幽由 予庸用陽 羅酪 吏

	$\overline{\mathbf{N}}$	0	1 2	2 3	} _	4	5	6	7	8	9	 	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4600	-	痢裏	夏裕	₽ ⊑	Ē	- 雜	- 陸	律	率	· 立		f		_	-		-	-	•	-	-		-	-	_	-		-	-		-	-
	4610	葎	掠略	る妥	削災	、 充う	溜	琉	留	硫粘	柆																						
	4620	隆	竜艄	圓侶	呂原	割	旅	虜	了	亮亻	寮																						
2	4630	両	凌寮	₹ 米	1 월	殺	涼	猟	療	瞭利	錂																						
	4640	糧	良詞	京辽	<u> </u>	置 [碐	領	力	緑亻	侖																						
	4650	厘	林沐	木烗	⊈∄	林	臨	輪	隣	鱗	鳞																						
ル	4660	瑠	塁涙	早早	え 类	湏	令	伶	例	冷り	勍																						
	4670	嶺	怜珩	うネ	լ₫	ř á	鈴	隷	零	霊周	矅																						
	4680	齢	暦歴	₹歹	刂彡	劣	烈	裂	廉	恋忄	粦																						
	4690	漣	煉簾	夏 綬	東耳	谿																											
	4700		蓮迌	目録	₽E	弓 1	魯	櫓	炉	賂	阁																						
	4710	露	労事	夏 底	Β₹	₹ I	朗	楼	榔	浪》	屚																						
	4720	牢	狼篭	きえ	ミ皇	聾	蝋	郎	六	麓	禄																						
	4730	肋	録誦	副侵	長利		話	歪	賄	脇	惑																						
	4740	枠	鷲を	1 5	三魚	号詞	宅	槀	厥	椀氵	弯																						
	4750	碗	腕																														
	4/60																																
17	4//0																																
	4/80																																
	4/90																																

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
4800 弌丐丕个丱、丼ノ乂	5050廠厶參簒雙叟曼燮叮叨	5300
4810 乖乘亂」豫亊舒弍于亞	5060 叭 叺 吁 吽 呀 听 吭 吼 吮 吶	5310 姜妍姙姚娥娟娑娜娉娚
4820 亟工亢亰亳亶从仍仄仆	5070 吩 吝 呎 咏 呵 咎 呟 呱 呷 呰	5320 婀 婬 婉 娵 娶 婢 婪 媚 媼 媾
4830	5080 咒呻咀呶咄咐咆哇咢咸	5330 嫋 嫂 媽 嫣 嫗 嫦 嫩 嫖 嫺 嫻
4840 向 佗 佇 佶 侈 侏 侘 佻 佩 佰	5090 咥 咬 哄 哈 咨	5340 嬌 嬋 嬖 嬲 嫐 嬪 嬶 嬾 孃 孅
4850 侑 佯 來 侖 儘 俔 俟 俎 俘 俛	5100 咫哂咤咾咼哘哥哦唏	5350 孀子孕孚孛孥孩孰孳孵
4860 俑 俚 俐 俤 俥 倚 倨 倔 倪 倥	5110 唔 哽 哮 哭 哺 哢 唹 啀 啣 啌	5360學李孺宀它宦宸寃寇寉
4870 倅 伜 俶 倡 倩 倬 俾 俯 們 倆	5120 售啜啅啖啗唸唳啝喙喀	5370
4880 偃假會偕偐偈做偖偬偸	5130 咯喊喟啻啾喘唧單啼喃	5380 寳 尅 將 專 對 尓 尠 尢 尨 尸
4890 傀 傚 傅 傴 傲	5140 喩 喇 喨 嗚 嗅 嗟 嗄 嗜 嗤 嗔	5390 尹屁屆屎屓
4900 僉 僊 傳 僂 僖 僞 僥 僭 僣	5150 嘔 嗷 嘖 嗾 嗽 嘛 嗹 噎 噐 營	5400 屐屏孱屬屮乢屶屹岌
4910 僮 價 僵 儉 儁 儂 儖 儕 儔 儚	5160 嘴 嘶 嘲 嘸 噫 噤 嘯 噬 噪 嚆	5410 岑岔妛岫岻岶岼岷峅岾
4920 儡 儺 儷 儼 儻 儿 兀 兒 兌 兔	5170 嚀嚊嚠嚏嚏嚥嚮嚶嚴囂	5420 峇峙峩峽峺峭嶌峪崋崕
4930 兢 競 兩 兪 兮 冀 冂 囘 册 冉	5180 嚼 囁 囃 囀 囈 囎 囑 囓 口 囮	5430 崗嵜崟崛崑崔崢崚崙崘
4940 冏冑冓冕「冤冦冢冩冪	5190 囹 圀 囿 圄 圉	5440 嵌 嵒 嵎 嵋 嵬 差 嵶 嶇 嶄 嶂
4950 ン 决 冱 冲 冰 况 冽 凅 凉 凛	5200 圈國圍圓團圖嗇圜圦	5450 嶢 嶝 嶬 嶮 嶽 嶐 嶷 嶼 巉 巍
4960 几處 凩 凭 凰 凵 凾 刄 刋 刔	5210 坏 址 坎 圻 址 坏 坩 埀 垈 坡	5460 巓巒巖巛巫已巵帋帚帙
4970 刎 刧 刪 刮 刳 刹 剏 剄 剋 剌	5220 坿 垉 垓 垠 垳 垤 垪 垰 埃 埆	5470 帑 帛 帶 帷 幄 幃 幀 幎 幗 幔
4980 剞 剔 剪 剴 剩 剳 剿 剽 劍 劔	5230 埔 埒 埓 堊 埖 埣 堋 堙 堝 塲	5480 幟幢幣幇幵并幺麼广庠
4990 劒 剱 劈 劑 辨	5240堡塢塋塰毀塒堽塹墅墹	5490 廁 廂 廈 廐 廏
5000	5250 墟 墫 墺 壞 墻 墸 墮 壅 壓 壑	5500 廖廣廝廚廛廢廡廨廩
5010 勣 勦 飭 勠 勳 勵 勸 勹 匆 匈	5260 壗壙壘壥壜壤壟壯壺壹	5510 廬廱廳廰廴廸廾弃弉彝
5020甸匍匐匏七匚匣匯匱匳	5270 壻壺壽攵攵夐夛梦夥夬	5520 彜 弋 弑 弖 弩 弭 弸 彁 彈 彌
5030 亡區 卆 卅 丗 卉 卍 凖 卞 卩	5280天车夸夾竒奕奐奎奚奘	5530 彎弯互彖彗彙彡彭彳彷
5040 卮夘卻卷厂 厖 厠 厦 厥 厮	5290 奢奠奧獎奩	5540 徃徂彿徊很徑徇從徙徘

	$\overline{\mathbf{N}}$	0	1	0	0	1	E	C	7	0	0		0	1	0	0	1	5	C	7	0	0		0	1	0	0	Λ	5	C	7	0	
		U	1	2	3	4	0	0	/	8	9		0	1	2	3	4	0	b	/	8	9		U		2	3	4	0	b	/	8	9
	5550	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	6050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
	5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
	5570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	悋	恷	恟	5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	6070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
	5590	悁	悍	惧	悃	悚						5840	敞	敝	敲	數	斂	鯼	變	斛	斟	斫	6090	檍	檠	檄	檢	檣					
	5600		悄	馂	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檺	櫞
	5610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	5860	旡	早	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	6110	櫑	櫟	檪	櫚	攊	櫻	欅	糵	櫺	欒
	5620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	匘	5870	昜	晏	晄	晉	晁	睎	書	晤	晧	晨	6120	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
	5630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	睻	暘	瞑	6130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
	5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	5890	曁	暹	曉	暾	暼						6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
	5650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	5900		曄	瞭	曖	曚	矌	昿	曦	曩	\square	6150	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
	5660	憇	憬	憔	憚	憊	慿	憫	憮	懌	懊	5910	曳	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
	5670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	6170	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
	5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
	5690	戉	成	戌	戔	戛						5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	相	柞	柝	6190	泅	泝	泪	沱	沾					
	5700		臺	戡	~ 截	烮	戰	戲	戳	屇	耓.	5950	秖	柮	枹	柎	杭	柧	檜	栞	框	栩	6200	. –	沺	泛泛	, こ	泙	泪	洟	衍	洶	洏
	5710	扞	扣	上/) 打	恝	扨	扼	扞	抉	扮	邦	5960	架	桧	栳	桎	标	栫	栓	档	· _ 柏	桿	6210	洽	洸	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	泊	, 泇	洒	洌	淙	,]	浤
	5720	抓	抖	拔	抃	坏	拗	坩	加抽	孥	;拿	5970	皇	括	榕	疝	條	椰	₩.	「」	赾	桴	6220	治法	汯	浙	涎	涕	這	涅	油	渕	渊
	5730	坂	掉	<u>が</u> 北	玗	挫	坳	油	坍	小劫	力	5980	不林	梠	林	朽	椀	쩓	棹	再	构	市市	6230	湎	浙	涂	涸	活	添	泳	治	滔	: 违
	57/0	」/「	」這	世	扨	垰	恝	场	坊	归	垃	5990	桐	版	内掘	尬	杞根	'ILI '	1-	×	עוין	ጥጥ	6240	浙	法	迎	汕	活法	汗淪	油	涸	河	漫
	5750	坦坦	坦	炉	场	运药	手频	坜	折	旧制	」次	6000	112	场板	悩	た	规	椒	控	枣	槵	枊	6250	洏	<i>∖</i> ح 徑	汕	浙	法法	测	泄	<i>洞</i> 浪	注法	這
	5760)+ 占	1支	注絵	加	词垣	涢	地地	」生	手择	迥堤	6000	趈	旧	松	城	1攵	烱	城	兩綱	協	1/41 极	6260	沃	汲	/王	净动	/므 、 満	ふ	冻游	冰	巡	活法
	15700	1千	抵	1111 1111	口に	沃挖	豚	旧	1木	沃起	加合	6020	1年 北北	木畑	悩	₩日	枷	加」	快	甘	抽	協	6270	<i>//</i> +	闷	汕	別源	洲	冰	加丁	<i>i</i> 利	厌胺	/皿
	5700	拆	1田 +白	17月) 十日	111(拙	争载	1円 	1万 十73	1羽	加加	6020	招封	14月 1月17	111人	11年 ★四	医标志	1℃K ★完	1日: #世:	1位 十〇	1 一 火火	133、 十中	6700 6700	が浦	涵	汗	府	泖	<i> </i> 后 	<i> </i> 文 词	冶	<i>下</i> 家	脂將
	15700	1珥 +去	協	1羽 +女	捋挫	11111	手	捋	抮	悓	挒	6040	1917 土山	1印)	111 (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11)	1万	1米	官	休	抽	宋担	印毛	020U	/守	方油	/兴	沢辺	泥石	/隹	爬	/6T	冺	98
	10/90	疠	扮	尔	1万	1/2%						0040	15日	恛	뗁	ſĦ	炡	釆	*	悔	133	釆	0290	彦	/状	<u>、</u> 中,	应	冰					
_	N											N											 										
	\square	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	6300	0	<u> </u> 漾	2 漓	3 涵	4 澆	5 潺	6 酒	7	8	9 潯	6550	0 痃	〕 疵	2 疽	3 狟	4 疼	5 厄	6 痍	7 <u></u> 痊	8 痒	9 痙	6800	0] 筐	2 笄	3	4 笋	5 筌	6 筅	7 筵	8	9 茨
	6300 6310	0 潜	漾 潜	2	3 滷 澂	4 澆 潼	5 潺潘	6	7 澁 澑	8 澀 濂	9 潯 潦	6550 6560	0 <u></u> 痃痣	<u> </u> 疵痞	<u>2</u> 疽病	3	4 疼痼	5 疱瘁	6 痍 痰	7 _ 痊痺	8 痒痲	9 痙痳	6800 6810	0 筧	<u> </u>) 筐 筰	2 笄 筱	3	4 笋 筮	5 筌 箝	6 筅箘	7 筵 箟	8 宮 箍	9 筴 箜
	6300 6310 6320	0 潜澳	│ 漾潛澣	2 漓潭澡	3 滷澂澤	4 澆潼澹	5 潺潘濆	6	7 澁 澑 濟	8 澀 濂 濕	9 潯 濠 濬	6550 6560 6570	0 <u> </u>	疵痞瘍	2 疽痾瘉	<u>3</u> 疸痿瘟	4 疼痼瘧	5 疱瘁瘠	6 痍痰瘡	7	 8 痒痲瘤	9 痙痳瘴	6800 6810 6820	0 筧 箚	筺筰箋	2 笄 筱 箒	3	4 笋 筮 筝	5 筌 箱 箙	6 筅箘篋	7 筵箟篁	8 筥 箍 後	9 筴箜篏
	6300 6310 6320 6330	0 潜澳濔	│ 漾潛澣濘	2 漓潭澡濱	3	4	5 潺潘濆瀉	6	7 澁澑濟濺	8 澀 濂 濕 瀑	9 潯 濠 濬 瀁	6550 6560 6570 6580	0 痃痣瘋瘰	疵痞瘍瘻	2 疽痾瘉癇	3 疸痿瘟癈	4 疼痼瘧癆	5 疱瘁瘠癜	6 痍痰瘡癘	7 痊痺瘢癡	8 痒 痲 瘤 癢	9 痙痳瘴癨	6800 6810 6820 6830	0 〔 〔 〔 〕 〔 〕) 筺筰箋篆	2 笄筱箒篝	3	4 笋 筮 筝 簑	5 筌箝箙簔	6 筅箘篋篦	7 筵箟篁篥	8 筥箍篌籠	9
	6300 6310 6320 6330 6340	 7 2	│	2 漓潭澡濱瀛	3 滷澂澤濮瀚	4 澆潼澹濛潴	5 潺潘濆瀉瀝	6 潸澎澪瀋瀘	7 澁澑濟濺瀟	8 澀濂濕瀑瀰	9 潯潦濬瀁瀾	6550 6560 6570 6580 6590	0 痃痣瘋瘰癩	│ 疵痞瘍瘻癪	2 疽痾瘉癇癧	3 疸痿瘟癈癬	4 疼痼瘧癆癰	5 疱瘁瘠癜	6 痍痰瘡癘	7 痊痺瘢癡	8 痒痲瘤癢	9 痙痳瘴癨	6800 6810 6820 6830 6840	 ① 第 1 /ol>		2 笄筱箒篝篳	3 筍筬箏篩篷	4 笋筮筝簑簗	5 筌箝箙簔簍	6 筅箘篋篦篶	7 筵箟篁篥箐	8 筥箍篌籠簧	9 筴箜篏簀簪
	6300 6310 6320 6330 6340 6350	 7 2	│	2 漓潭澡濱瀛灣	3 滷澂澤濮瀚宏	4 澆潼澹濛潴炒	5 潺潘濆瀉瀝炯	6 潸澎澪瀋瀘烱	7 澁澑濟濺瀟炉	8 澀濂濕瀑瀰炸	9 潯潦濬瀁瀾炳	6550 6560 6570 6580 6590 6600	0 痃痣瘋瘰癩	│	2 疽痾瘉癇癧癶	3 疸痿瘟癈癬癸	4 疼痼瘧癆癰發	5 疱瘁瘠癜 皀	6 痍痰瘡癘 皃	7 痊痺瘢癡 皈	8 痒痲瘤癢 皋	9 痙痳瘴癨 皎	6800 6810 6820 6830 6840 6850	0		2 笄筱箒篝篳簫	3 筍筬箏篩篷簽	4 笋筮筝簑簗籌	5 筌箝箙簔簍籃	6 筅箘篋篦篶籔	7 筵箟篁篥簀箍	8 筥箍篌籠簧籀	9 筴箜篏簀簪籐
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360	0 潜澳濔瀏瀲炮	│	2 漓潭澡濱瀛灣烋	3 滷澂澤濮瀚炙丞	4 澆潼澹濛潴炒烙	5 潺潘濆瀉瀝炯焉	6 潸澎澪瀋瀘烱烽	7 澁澑濟濺瀟炬焜	8 澀濂濕瀑瀰炸焙	9 潯潦濬瀁瀾炳煥	6550 6560 6570 6580 6590 6600 6610	0 痃痣瘋瘰癩 皖	│ □ 疵 痞 瘍 瘻 癪 癲 皓	2 疽痾瘉癇癧癶哲	3 疸痿瘟癈癬癸皚	4 疼痼瘧癆癰發皰	5 疱瘁瘠癜 皀皴	6 痍痰瘡癘	7 痊痺瘢癡 皈皹	8 痒痲瘤癢 皋皺	9 痙痳瘴癨 皎盂	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6860	0 筧箚箴簇簟籐		2 笄筱箒篝篳簫籤	3 筍筬箏篩篷簽籤	4 笋筮筝簑簗籌籥	5 筌箝箙簔簍籃籬	6 筅箘篋篦篶籔籵	7 筵箟篁篥簀籏粃	8 筥箍篌籠簧籀粐	9 筴箜篏簀簪籐幽
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6350 6350	0 潜澳濔瀏瀲炮熙	漾潛澣濘濾灑烟熈	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦	3 滷澂澤濮瀚炙烝螢	4 澆潼澹濛潴炒烙煌	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬	7 澁澑濟濺瀟炬焜重	8 澀濂濕瀑瀰炸焙煙	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄	6550 6560 6570 6580 6590 6600 6610 6620	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒	3 疸痿瘟癈癬癸皚戔	4 疼痼瘧癆癰發皰盡	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥	6 痍痰瘡癘 兒皸盧	7 痊痺瘢癡 皈皹湯	8 痒痲瘤癢 皋皺蕩	9 痙痳瘴癨 皎盂盻	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6850 6860 6870	0 筧箚箴簇簟籘粭	筺筰箋篆簓簷籟粢	2 笄筱箒篝篳簫籤粫	3 筍筬箏篩篷簽籖粡	4 笋筮筝簑簗籌籥粨	5 筌箝箙簑簍籃籬粳	6	7 筵箟篁篥簀籏粃粱	8 筥箍篌籠簧籀粐粮	9 筴箜篏簀簪籐粤粹
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6350 6370 6380	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕	│	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦敖	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗	4 澆潼澹濛潴炒烙煌喜	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燁	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎	6550 6560 6580 6590 6690 6610 6620 6630	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒晒	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥盲	6 痍痰瘡癘 兒皸盧呰	7 痊痺瘢癡 飯皹盪眦	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6860 6860 6880	0 筧箚箴簇簟籘粭粽] 筺筰箋篆簓簷籟粢糀	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘	5 筌箝箙簔簍籃籬粳糒	6 筅箘篋篦篶籔籵粲瘞	7 筵箟篁篥簀籏粃梁糢	8 筥箍篌籠簧籀粐粮謽	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6390	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕炮	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬煫	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎	6550 6560 6580 6590 6600 6610 6620 6630 6640	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸		2 疽痾瘉癇癧癶晳盒眄睚	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛	6 痍痰瘡癘 兒皸盧眥睥	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦客	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6860 6870 6880 6880	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲] 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆	5 筌箝箙簔簍籃籬粳糒	6 筅箘篋篦篶籔籵粲糜	7 筵箟篁篥簀籏粃粱糢	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6390 6400	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬發	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爓	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 - 墨	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰	6550 6560 6570 6590 6600 6610 6620 6630 6640 6650	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎		2 疽痾瘉癇癧癶晳盒眄睚瞑	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞	5 庖瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰	6 痍痰瘡癘 皃皸盧皆睥暗	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾駻	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6860 6870 6880 6890 6900	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲		2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆蚉	5 筌箝箙簔簍籃籬粳糒 絅	6 宪箘篋篦篶籔籵粲糜 紡	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲	9 筴箜篏簀簪籐粤椊糯 紿
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6390 6400 6410	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 舀	││ 漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹♂	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿畑	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍コ	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛醬	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨踐	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭贖	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬纸	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰垤	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6630 6640 6650 6660	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎鼛		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠瞿	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞鼻	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚	6 痍痰瘡癘 皃皸盧皆睥瞶矜	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿坯	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矴	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6860 6870 6880 6890 6890 6910	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵	筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎	5 筌箝箙簔簍籃籬粳糒 絅絲	6 宪 第 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	7 筵箟篁篥簀籏粃梁模 紮恕	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲紬	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6390 6400 6410 6420	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂	☐ 漾潛澣濘濾灑烟熙熨燬燹爻	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼鋂	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿塩	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀谿	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆壇	6 漕澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋爔	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘な	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6620 6620 6640 6650 6660 6660 6670	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌	- 疵痞瘍瘻癪癲皓盖眇睇瞋瞻砒	2 疽痾瘉癇癧癶晳盒眄睚瞑矇礳	3 疸痿瘟廢癬癸皚盞眩睨瞠矍砠	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗磹	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅	6 痍痰瘡癘 兒皸盧眥睥瞶矜硤		8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮婆	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6860 6870 6880 6890 6890 6900 6910 6920	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經] 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆緌	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳修	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽	5 筌箝箙簔簍籃籬粳糒 絅絲綛	6 筅箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺	7 筵箟篁篥簀籏粃梁模 、 紮 黎 啓	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏繗	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6390 6400 6410 6420	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆	- 漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁₩	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇畑	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒雄	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狻	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢獔	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧迩	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹嫵	8 28 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲猂	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃修	6550 6560 6570 6590 6600 6620 6620 6630 6640 6650 6660 6660 6660 6670	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碎		2 疽痾瘉癇癧癶晳盒眄睚瞑矇礦碍	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅廵	6 痍痰瘡癘 兒皸盧眥睥瞶矜碎磑	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿瞹矣硴碍	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼碑	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6850 6880 6880 6890 6900 6920 6920	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經經] 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉媜	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏鏀	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽蜩	5 筌箝箙簔簍籃籬粳糒 絅絲綛綯	6 先箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺感	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 、紮絮綮綸	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣鈩	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綽
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6390 6400 6410 6420 6440	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆媯	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄鈩	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎葎	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猂	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢迩	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狼姆	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡跘	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷狎	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏。	6550 6560 6580 6590 6600 6610 6620 6630 6640 6650 6660 6660 6660 6680 6680	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碑		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵乭	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪聲	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅碯	6 痍痰瘡癘 兒皸盧皆睥瞶矜碎磑	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿瞹矣硴磆	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6880 6880 6880 6890 6900 6910 6920 6930	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇純	筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽絹	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫綼	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總絶	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢綱	5 筌箝箙簔簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲	6 宪箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緱	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 紮絮綮綸縅	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟緃	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6400 6410 6420 6440 6440 6440	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗螂	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜對	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝繪	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狠猴缨	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯꼟	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩戰	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥弾	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾虧	6550 6560 6580 6590 6600 6610 6620 6640 6650 6660 6660 6660 6660 6660 6690 669	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾	│ │ 疵痞瘍瘻癪癲皓盖眇睇瞋瞻砒碌碼碃	2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅硨	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊疎	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅碯 嘧	6 痍痰瘡癘 皃皸盧眥睥瞶矜碎磑 磋	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礃	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 殴	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 懋	6800 6810 6820 6830 6840 6850 6880 6880 6880 6890 6910 6920 6930 6940 6940	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘緯] 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝絴	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞缛	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻經	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲緃	6 宪箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡曖	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 紮絮綮綸縅網	8 8 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣廳
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6400 6410 6420 6420 6440 6420 6450 6450	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎娜	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏即	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默4	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗5	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪迚	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狠猴獨拍	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰旺	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸喔	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵玲	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻瑌	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6630 6640 6650 6660 6660 6660 6660 6680 6690 6690 6700	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 雌		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚詞	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽モ	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴=	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅碯 礇オ	6 痍痰瘡癘 免皸盧皆睥瞶矜碎磑 礒祕	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礑忒	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙胡	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬蟲	6800 6810 6820 6830 6850 6850 6850 6880 6900 6910 6920 6920 6930 6940 6950 6950	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡貋	- 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒缥	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱婩	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟绋	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉缌	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺	6 宪箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡縢嫖	7 筵箟篁篥簀籏粃粱糢 紮絮綮綸縅繆郷	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦縌	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣糜쳝
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6400 6420 6420 6440 6420 6440 6440 644	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琼	││ 漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏珈啣	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳塘	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎エ	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻睛	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狠猴獨珀な	6 漕澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥四	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮理	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢∞	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6620 6640 6650 6660 6660 6660 6660 6660 6670 6680 6670 667	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫却		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠壺	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟歰	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅碯 礇祚禮	6 痍痰瘡癘 兒皸盧皆睥瞶矜碎磑 礒祕蓉	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礑祓雨	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺田	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿盂	6800 6810 6820 6830 6850 6860 6870 6880 6920 6920 6920 6920 6920 6920 6920 692	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡縵鍒	- 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繧	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲郷	5 筌箝箙簑篗籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺纞	6 筅箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡縢繧缥	7 筵箟篁篥簀籏粃梁模 、紮絮桑綸縅繆繝續	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖絯	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞续
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6400 6420 6420 6420 6420 6420 6440 6420 6440 6420 6440 6420	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琅瑁	││ 漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏珈瑯♪	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳琥餮	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎珸珃	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻琲ュ	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狠猴獨珀琺瑯	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥瑕蹈	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮琿躇	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞瑟達	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢瑙	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6620 6640 6650 6660 6660 6670 6680 6670 6670 6710 6720	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫禊却		2 疽痾瘉癇癧癶晳盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠禧モ	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋4	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟禪キ	5 疱瘁瘠癜(皀皴盥眞睛瞰矚硅碯)礇祚禮稈	6 痍痰瘡癘 皃皸盧眥睥瞶矜碎磑 礒祕禳⇔	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礑祓禹母	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺禺莥	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿秉碑	6800 6820 6820 6820 6820 6820 6820 6820	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡縵繙数	- 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚欻	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繹掷	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪棥	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲繩续	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺繼郷	6 宪箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡縢繧繻欻	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 紮絮綮綸縅繆繝纃郷	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖緕獊	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞繽纅
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6400 6420 6420 6420 6440 6420 6440 6450 6440 6450 6460 6470 6480	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琅瑁歸	□ 漾潛澣濘濾灑烟熙熨燬燹爻犁狄猊獏珈瑯瑜	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳琥瑩剪	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎珸瑰咄	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻琲瑣2	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狼猴獨珀琺瑪	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥瑕瑶	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮琿瑾	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞瑟璋	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢瑙璞	6550 6560 6570 6580 6690 6620 6620 6630 6640 6650 6660 6670 6680 6670 6680 6670 6710 6720 6730	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫禊秕賣		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠禧秬約	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋秡5	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟禪秣喜	5 疱瘁瘠癜(皀皴盥眞睛瞰矚硅碯)礇祚禮稈卲	6 痍痰瘡癘 兒皸盧皆睥瞶矜碎磑 礒祕禳稍蜿	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礑祓禹稘塘	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺禺稙握	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿秉稠斑	6800 6820 6820 6820 6820 6820 6820 6820	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡縵繙辦建	- 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚繿 -	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繹纈躑	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪纉钍	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲繩續セ	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺繼纒	6 宪 第 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 紥絮綮綸縅繆繝纃纓	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖緕纔	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞繽纖
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6400 6410 6420 6440 6440 6440 6440 6450 6440 6450 6460 6470 6480 6490	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琅瑁璧	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏珈瑯瑜瓊虹	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳琥瑩瓏	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎珸瑰瓔 ī	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻琲瑣珱b	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狼猴獨珀琺瑪	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥瑕瑶 1	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮琿瑾 5	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞瑟璋 1	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢瑙璞 15	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6630 6640 6650 6660 6660 6660 6670 6680 6670 6710 6720 6730 6740	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫禊秕稟茻	- 疵痞瘍瘻癪癲皓盖眇睇瞋瞻砒碌碼磧祀禝秧禀緸	2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠禧秬稱鐐	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋秡稻寶	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟禪秣稾兌	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅碯 礇祚禮稈稷霓	6 痍痰瘡癘 兒皸盧眥睥瞶矜碎磑 礒祕禳稍穃&	7 痊痺瘢癡(皈皹盪眦睿曖矣硴磆) 礑祓禹稘穗歰	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺禺稙穉&	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿秉稠穡發	6800 6820 6820 6830 6840 6850 6880 6880 6890 6920 6930 6930 6930 6940 6950 6950 6950 6950 6950 6950 6950 695	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡縵繙辮纎	筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚繿纛悼	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繹纈纜睅	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪纉缸	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲繩續缺望	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺繼纒 雄	6 先箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡縢繧繻纐 Ε	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 紮絮綮綸縅繆繝纃纓 В	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖緕纔 厨	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞繽纖 跁
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6390 6400 6410 6420 6440 6440 6440 6440 6450 6440 6450 6460 6470 6480 6490	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琅瑁璧 资	□ 漾潛澣濘濾灑烟熙熨燬燹爻犁狄猊獏珈瑯瑜瓊瓠	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳琥瑩瓏瓣ネ	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎珸瑰瓔瓧!	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻琲瑣珱瓩	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狼猴獨珀琺瑪 瓮缸	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥瑕瑶 瓲	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮琿瑾 瓰舞	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞瑟璋 瓱	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢瑙璞 瓸	6550 6560 6580 6590 6600 6610 6620 6630 6640 6650 6660 6660 6670 6680 6670 6700 6710 6720 6730 6740 6750	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫禊秕稟穢韓	- 疵痞瘍瘻癪癲皓盖眇睇瞋瞻砒碌碼磧祀禝秧禀穩?	2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠禧秬稱龝	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋秡稻穰窮	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟禪秣稾穹@	5 疱瘁瘠癜 皀皴盥眞睛瞰矚硅碯 礇祚禮稈稷穽。	6 痍痰瘡癘 兒皸盧皆睥瞶矜碎磑 礒祕禳稍穃窈窕	7 痊痺瘢癡(皈皹盪眦睿曖矣硴磆) 礑祓禹稘穗窗窗	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺禺稙穉窕 8	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿秉稠穡窘	6800 6820 6820 6830 6840 6850 6880 6880 6990 6990 6920 6930 6940 6950 6940 6950 6950 6950 6950 6950 6950 6950 695	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡縵繙辮纎 覀] 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚繿纛罅☶	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繹纈纜罌罩	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪纉缸罍☶	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲繩續缺罎罒	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺繼纒 罐	6 先箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡縢繧繻纐 网盟	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 紮絮綮綸縅繆繝纃纓 罕罶	8 8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖緕纔 罔	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞繽纖 罘町
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6380 6400 6410 6420 6440 6450 6440 6450 6440 6450 6450 6510	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琅瑁璧 瓷社	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏珈瑯瑜瓊瓠甄	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳琥瑩瓏瓣甃罒	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎珸瑰瓔瓧甅シ	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻琲瑣珱瓩甌齡	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狼猴獨珀琺瑪 瓮甎副	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥瑕瑶 瓲甍計	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮琿瑾 瓰甕≦	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞瑟璋 瓱甓 i	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢瑙璞 瓸甞4	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6640 6650 6660 6660 6670 6680 6690 6700 6700 6710 6720 6730 6740 6750 6750	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫禊秕稟穢窖韓		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠禧秬稱龝竈	3 疸痿瘟廢癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋秡稻穰窰ネ	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟禪秣稾穹窶ኣ	5 疱瘁瘠癜(皀皴盥眞睛瞰矚硅碯)礇祚禮稈稷穽竅	6 痍痰瘡癘	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礑祓禹稘穗窗窿;	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺禺稙穉窕邃	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿秉稠穡窘竇	6800 6820 6820 6830 6840 6850 6880 6890 6910 6920 6930 6940 6950 6940 6950 6950 6950 6950 6950 6950 6950 695	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡縵繙辮纎 罟] 筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚繿纛罅罠苹	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繹纈纜罌罨畄	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪纉缸罍罩 ゴ	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲繩續缺罎罧\	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺繼纒 罐罸\$	6 凭 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	7 筵箟篁篥簀籏粃粱模 紮絮綮綸縅繆繝纃纓 罕羆貋	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖緕纔 罔羃葦	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞繽纖 罘羈
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6430 6420 6420 6440 6420 6440 6440 6450 6440 6450 6460 6450 645	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琅瑁璧 瓷甦;	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏珈瑯瑜瓊瓠甄甬	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳琥瑩瓏瓣甃甼「	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎珸瑰瓔瓧甅畄	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻琲瑣珱瓩甌畍齡	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狼猴獨珀琺瑪 瓮甎畊	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥瑕瑶 瓲甍畉 1	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮琿瑾 瓰甕畛	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞瑟璋 瓱甓畆	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢瑙璞 瓸甞畚	6550 6560 6570 6580 6690 6620 6620 6620 6630 6640 6650 6660 6670 6680 6700 6720 6720 6720 6720 6720 6720 672	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫禊秕稟穢窖竊:		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠禧秬稱龝竈竏」	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋秡稻穰窰竕 カ	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟禪秣稾穹窶竓領	5 疱瘁瘠癜(皀皴盥眞睛瞰矚硅碯)礇祚禮稈稷穽竅站钟	6 痍痰瘡癘 兒皸盧眥睥瞶矜碎磑 礒祕禳稍穃窈竄竚 ધ	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礑祓禹稘穗窗窿竝領	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺禺稙穉宨邃竡镇	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿秉稠穡窘寶竢氣	6800 6820 6820 6820 6820 6820 6820 6820	0 筧箚箴簇簟籘粭粽櫔 紵經緇緘縡縵繙辮纎 罟羇	筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚繿纛罅罠羌	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繹纈纜罌罨羔	3 筍筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪纉缸罍罩羞i	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲繩續缺罎罧羝	5 筌箝箙簑簍籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺繼纒 罐罸羚	6 筅箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡縢繧繻纐 网羂羣	7 筵箟篁篥簀籏粃梁模 紮絮綮綸縅繆繝纃纓 罕羆羯 <	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖緕纔 罔羃羲]	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞繽纖 罘羈羹
	6300 6310 6320 6330 6340 6350 6360 6370 6400 6420 6420 6420 6440 6420 6440 644	0 潜澳濔瀏瀲炮熙熕燠 爲犂狆猗獎獺琅瑁璧 瓷甦畩	漾潛澣濘濾灑烟熈熨燬燹爻犁狄猊獏珈瑯瑜瓊瓠甄甬時	2 漓潭澡濱瀛灣烋煦熬燧燿爼犇狎猜默玳琥瑩瓏瓣甃甼畧	3 滷澂澤濮瀚炙烝煢燗燵爍爿犒狒猖獗珎珸瑰瓔瓧甅畄畫;	4 澆潼澹濛潴炒烙煌熹燼爐牀犖狢猝獪玻琲瑣珱瓩甌畍畭;	5 潺潘濆瀉瀝炯焉煖熾 爛牆犢狼猴獨珀琺瑪 瓮甎畊畸;	6 潸澎澪瀋瀘烱烽煬燒 爨牋犧狡猯獰珥瑕瑶	7 澁澑濟濺瀟炬焜熏燉 爭牘犹狹猩獸珮琿瑾 瓰甕畛疆;	8 澀濂濕瀑瀰炸焙燻燔 爬牴犲狷猥獵珞瑟璋 瓱甓畆疇;	9 潯潦濬瀁瀾炳焕熄燎 爰牾狃倏猾獻璢瑙璞 瓸甞畚畴;	6550 6560 6570 6580 6690 6610 6620 6620 6640 6650 6640 6650 6660 6670 6680 6700 6720 6720 6720 6720 6720 6720 672	0 痃痣瘋瘰癩 皖盍眈眸瞎瞽砌碚碾 礫禊秕稟穢窖竊竦;		2 疽痾瘉癇癧癶皙盒眄睚瞑矇礦碣磅磚祠禧秬稱龝竈竏竰;	3 疸痿瘟癈癬癸皚盞眩睨瞠矍砠碵磊磽祗齋秡稻穰窰竕笂ネ	4 疼痼瘧癆癰發皰盡眤睫瞞矗礪碪磬磴祟禪秣稾穹窶竓笏 į	5 疱瘁瘠癜(皀皴盥眞睛瞰矚硅碯)礇祚禮稈稷穽竅站笊	6 痍痰瘡癘 皃皸盧眥睥瞶矜碎磑 礒祕禳稍穃窈竄竚笆	7 痊痺瘢癡 皈皹盪眦睿曖矣硴磆 礑祓禹稘穗窗窿竝笳	8 痒痲瘤癢 皋皺蘯眛睾瞿矮碆磋 礙祺禺稙穉窕邃竡笘	9 痙痳瘴癨 皎盂盻眷睹瞼矼硼磔 礬祿秉稠穡窘竇竢笙	6800 6820 6820 6820 6820 6820 6820 6820	0 筧箚箴簇簟籘粭粽糲 紵經緇緘縡縵繙辮纎 罟羇羮	筺筰箋篆簓簷籟粢糀糴紂絆綉綽緝縒縹繚繿纛罅罠羌羶	2 笄筱箒篝篳簫籤粫糅糶紜絳絛綫緤縱繃繹纈纜罌罨羔羸	3 简筬箏篩篷簽籖粡糂糺紕絖綏總緞縟縷繪纉缸罍罩羞譱	4 笋筮筝簑簗籌籥粨糘紆紊絎絽綢緻縉縲繩續缺罎罧羝翅	5 筌箝箙簑篗籃籬粳糒 絅絲綛綯緲縋縺繼纒 罐罸羚翠	6 先箘篋篦篶籔籵粲糜 絋絨綺緜緡縢繧繻纐 网羂羣翊	7]筵箟篁篥簀籏粃梁模 紮絮綮綸縅繆繝纃纓 罕羆羯翕;	8 筥箍篌籠簧籀粐粮鬻 紲絏綣綟縊繦繖緕纔 罔羃羲翔:	9 筴箜篏簀簪籐粤粹糯 紿絣綵綰縣縻繞繽纖 罘羈羹翡

_																																	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\backslash	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\backslash	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	7050	〕耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	7550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
	7060	」聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	昰	聹	聽	7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
	7070	津	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	7570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
	7080	加	偦	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
	7090	」脛	脩	唇	脯	腋						7340	虍	乕	虔	號	虧	更	蚓	蚣	蚩	蚪	7590	證	譛	譛	譚	譫					
	710	<u>ן</u>	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蚙	蠣	蚫	7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
	7110	ると	腴	膈	膈	膊	膀	督	膠	膕	膤	7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	7610	讓	讖	讙	諧	谺	豁	谿	豈	豌	硻
	7120)膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膈	膽	臀	7370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	7620	豐	豖	豢	豬	哥	豺	貂	貉	貅	貊
	713) 臂	噟	臉	脑	臑	臙	臘	臈	臚	臓	7380	蜷	蜻	蜥	蛎	翡	蝙	蝟	蝸	蝌	蜴	7630	貍	貌	貔	豼	貘	戝	盾	貪	貽	皆
	714	〕臠	臧	臺	臻	印	舁	舂	舅	頣	舊	7390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙						7640	訂	漬	貶	曹	音	賤	賣	杳	審	賺
	7150) 舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	7400		蝓	蝣	蜴	蠅	螢	螟	螂	嗸	蟋	7650	膊	暬	督	替	督	贏	膽	贐	齎	贓
	716)艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	鄞	7410	螽	蟀	蟐	雖	嶅	勃	螳	幕	蟆	螻	7660	貯	晶	贖	赧	諸	去	舏	診	銷	跂
	7170) 艷	ψΨ	女	芍	폰	芫	芟	芻	芬	苡	7420	蟯	蛊	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蝙	蟒	蟒	7670	趾	趺	跏	Ē	跖	跌	波	跋	跪	投
	718)	荷	苗	甘	之友	茵	有	范	苻	莁	7430	蠑	蠖	蠕	惷	盠	蟲	蠶	蠹	蠧	繙	7680	服	跣	跼	脨	朖	跿	踝	踞	뚾	踟
	719	一荷	訪	甘	葉	一 共	-5		,		ʻ	7440	俪	兪	衒	衙	衞	衢	衫衫	责	念	袞	7690	蹂	踵	踰	踊	蹊	иc	2011	щ		<i>ч</i> 7 н
	7200		茵	古	芝	<u>,</u>	茱	苟	茹	苃	荅	7450	衵	袥	袝	첾	袂	衫	衵	<u>次</u> 袮	袙	社	7700		審	蹉	蹌	踏	蹈	慼	蹤	蹠	賩
	7210		守	立艺	立茲	莅	赤茄	ī) 莪	滋荟	苏	퓺	7460	約	袤	段	衬	が	~ 裃	~約	盗	惑	法	7710	脇	雇理	蹶	脑	膛	躍	虚躇	躙	磨	脑
	7220	山南	动	古苗	<u></u> 斯	应茎	古	苦	山劳	天芜		7470	堤	東	払	法	悲	波	袻	滷	紅裙	福	7720	曀	₩ 単	躑	嚷	躙	孏	踾	記	鼠	婷
	7230	山西	苯苯	齿苔	董	京莧	芯菽	立茨	芯荪	亊	業	7480	松松	哀	盗盜	减振	祝祝	祈祈	湖	窒	+ 蓺	褶	7730	颐	鮮	兵 印 御	鯳	画	峏	車	計	前	痖
	724	川芸	竜苣	直法	土菲	远荡	-	市前	松恭	妥荫	克荡	7490	滹	公耀	汕	凉溢	庭壁	1///Ъ	IJΞ	±Χ	TX		7740	献	ഹ	邮	腻	前	詬	お	割	軺	前
	7250	אד ויין כ	芭	叔莉	严	戸墓	芯	蕾	五	<u></u> 劳	返訪	7500	154	+	禅	描	滋	裙	襴	嬩	而	曹	7750	詬	基	蒔	幅	前	喆	彀	輻	뺕	軸
	7260		品	荷莅	与苗	亏苭	芯菇	千古	ぶ茶		主	7510	靍	頭	留	旭	丽	細	副	当	割	単	7760	前	単趏	+天 載	神	較	郦	嚹	蒙	+== 日卒	+守
	727	二番	訪	床蔬	西荖	志	减减	同蔵	滅萎	一世	木茵	7520	慰	^{半向} 皆	売朝	崩	釽	凱砦	觗	<u></u> の 一	航	邮	7770	部	前回	700 2	計	+不	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	油	手沙	湎	洏
	7280	うしていたい。	荝蔹	圧 差	吉茜	<i>◎◎</i>	◎英	序菇	未菇	/m 莼	尼荷	7530	見	見對	東ル	重兀	副	声	訅	所	るの	司司	7780	洉	洏	二 流	过法	巡	运送	追	迟迟	逊	這
	7290	小方 川颏	示	百萬	寺	点 善	Y	шль))大	.42.	■	75/0	≕	11日 三十	四	닯	詭	彩彩	韵	討業	影	≕	7790	巡浴	远荡	远远	远法	送洋	<u>ک</u> ر				<u>س</u>
L	1/200	12	**	94	70	7						7040	рц	맫		까	미망	미니	69		D70	파	//00		×		Æ						
_		-																															
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\backslash	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	\backslash	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	7800)	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	8050	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
	7810	〕遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	8060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	8310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
	7820)邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	8070	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	8320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
	7830)郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	8080	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頹	顆	8330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
	7840	川酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	8090	顏	顋	顫	顈	顰						8340	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
	7850)醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	8100		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	8350	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
	7860	こし	釜	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	8110	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	8360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
	7870	コ鈤	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	8370	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
	7880	〕鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	8130	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	8380	齔	齣	齟	齖	齡	齦	齧	齬	齪	齷
	7890	〕鋩	錏	鋺	鍄	錮						8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	8390	齲	齶	龕	龜	龠					
	7900	וכ	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	8150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	8400		堯	槇	遙	瑤	凜	厩			
	7910	〕鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	霯	鏗	8160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟											
	7920)鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	8170	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀											
	7930	〕鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	8180	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髾											
	7940)鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	8190	髫	髮	髴	髱	髷																
	7950	〕鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬛	Ħ	鬧											
	1/000											0010	匡王	毛利	唐町	圐	逐	囩	魄	魃	魏	魍											
1	7960)閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	8210	共	兒	四利	龜					200	/		1									
	7960) 閔) 閹	閖閾	閘闊	閙濶	閠 闃	閨 闍	閧闌	閭闕	閼闔	閻闖	8210 8220	囲魎	阋魑	圆魔	鬮筋	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟											
	7960 7960 7970 7980) 閔) 閹) 關	閖閩闡	閘闊闥	潤	閏閴	閨閣 犯	閧 闌 阮	閭闕阯	閼 闔 陂	閻闖陌	8210 8220 8230	円 魎 鮠	周 魑 	圆魔鮴	■ 魴 鯀	し 鮓 鯊	 鮃 鮹	鮑鯆	鮖鯏	鮗鯑	診験鯒											
	7960 7960 7970 7980 7980)) 閣) 閣) 防	閖閾閳陋	閘闊闥陷	開潤闢陜	閠闃阡陞	閨闍阨	閧 闌 阮	閭闕阯	閼闔陂	閻闖陌	8210 8220 8230 8240	魎 鮠 鯣	魑 鮨 鯢	圆魔鮴鯤	■ 魴 鯀 鯔	鮓鯊鯡	鮃鮹鰺	鮑鯆鯲	鮖鯏鯱	診鯑鯑鯰	 鮟 鯒 鰕											
	7960 7960 7970 7980 7990 8000))) 】 閣 別 陷))	閖閾閳陋陜	閘闊闥陷陟	鬧濶闢陜陦	閠闃阡陞陲	閨閣 犯 陬	閧闌阮 隍	閭闕阯 隘	閼闔陂 隕	閻闖陌 隗	8210 8220 8230 8240 8250	共魎鮠鯣 鰔	<u> </u>	圆魔鮴鯤鰓	■ 魴 鯀 鯔 鰌 鮨	鮓鯊鯡鰆	1 鮃鮹鰺鰈	鮑鯆鯲鰒	鮖鯏鯱鰊	診鯑鯰鰄												
	7960 7970 7980 7980 8000 8010))))))))))))))	閖閾閳陋陜隧	閘闊闥陷陟隱	鬧潤闢陜陦隲	閠闃阡陞陲隰	閨闍犯 陬隴	閧闌阮 隍隶	閭闕阯 隘隸	閼闔陂 隕隹	閻闖陌 隗雎	8210 8220 8230 8240 8250 8260	円魎鮠鯣鰔鰛	_{閌魑鮨} 鯢鰉鰥	歐魔鮴鯤鰓鰤	■魴鯀鯔鰌鰡	こ 鮓 鯊 鯡 鰆 鰰	鮃鮹鰺鰈鱇	鮑鯆鯲鰒鰲	鮖鯏鯱鰊鱆	修鯑鯰鰄鰾	一鮟鯒鰕鰮鱚											
	7960 7970 7980 7990 8000 8010 8010))))))))))))))	閖閪閳陋陜隧雉	閘闊闥陷陟隱雍	閙濶闢陜陦隲襍	閠闃阡陞陲隰雜	閨閣犯 陬隴霍	閧闌阮 隍隶雕	閭闕阯 隘隸雹	閼闔陂 隕隹霄	閻闖陌 隗雎霆	8210 8220 8230 8240 8250 8250 8260 8270	円魎鮠鯣鰔鰛鱠	_{閌魑鮨} 鯢鰉鰥鱧	圆魔鮴鯤鰓鰤鱶	■魴魚鯔鰌鰡鱸] 鮓鯊鯡鰆鰰鳧	1 鮃鮹鰺鰈鱇鳬	鮑鯆鯲鰒鰲鳰	鮖鯏鯱鰊鱆鴉	《鮗鯑鯰鰄鰾鴈	一鮟鯒鰕鰮鱚鳫											
	7960 7970 7980 7990 8000 8010 8020 8020))))))))))))))	閖閾閳陋陜隧雉霓	閘闊闥陷陟隱雍霎	鬧濶闢陜陦隲襍霑	閠闃阡陞陲隰雜霏	閨闍阨 陬隴霍霖	閧闌阮 隍隶雕霙	閭闕阯 隘隸雹霤	閼闔陂 隕隹霄霪	閻闖陌 隗雎霆霰	8210 8220 8230 8240 8250 8250 8260 8270 8280	⊢魎鮠鯣鰔鰛鱠鴃	_{凡魑鮨鯢鰉鰥鱧鴆}	歐魔鮴鯤鰓鰤鱶鴪	■魴鯀鯔鰌鰡鱸鴍	l 鮓鯊鯡鰆鰰鳧鶯	1 鮃鮹鰺鰈鱇鳬鴣	鮑鯆鯲鰒鰲鳰鴟	鮖鯏虩鰊鱆鴉鵄	(鮗鯑鯰鰄鰾鴈鴕	一鮟鯒鰕鰮鱚鳫鴒											
	7960 7970 7980 7990 8000 8010 8020 8030 8030 8040))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))))	閖閾閳陋陜隧雉霓霽	閘闊闥陷陟隱雍霎霾	閙濶闢陜陦隲襍霑靄	閠闃阡陞陲隰雜霏靆	閨閣犯 陬隴霍霖靈	閧闌阮 隍隶雕霙靂	閭闕阯 隘隸雹霤靉	閼闔陂 隕隹霄霪靜	閻闖陌 隗雎霆霰靠	8210 8220 8230 8240 8250 8250 8260 8270 8280 8290	픥 魎鮠鯣鰔鰛鱠 鴃鵁	阅魑鮨鯢鰉鰥鱧鴆鴿	圕魘鮴鯤鰓鰤鱶 鴪鴾	■ 魴鯀鯔鰌鰡鱸鴦鵆	l)鮓鯊鯡鰆鰰鳧鶯鵈	鮃鮹鰺鰈鱇鳬鴣	鮑鯆鯲鰒鰲鳰鴟	鮖鯏鯱鰊鱆鴉鵄	(鮗鯑鯰鰄鰾鴈鴕	一鮟鯒鰕鰮鱚鳫鴒											

通信エラーが発生すると、送信 / 受信結果レポートや通信管理レポートには、次のようなエラーコードが記録されます。

参考:UまたはEの後ろの数字がエラーコードです。

エラーコード	原因および処置方法
Busy	設定されている回数の自動リダイヤルが行われたにもかかわらず、 相手先と回線がつながりません。もう一度送信してください。
CANCELED	送信中に、送信の中止操作を行ったため、送信が中止されました。 受信中に、受信の中止操作を行ったため、受信が中止されました。
U00300	送信中に相手機側(受信側)で用紙がなくなっています。相手先を 確認してください。
U00430 - U00462	相手先からの受信の際に、回線はつながったが相手機側(送信側) と通信機能に不一致があったため、受信が中断されました。
U00601 - U00690	本機のトラブルにより、通信が中断されました。もう一度送信また は受信してください。
U00700	相手機側のトラブルにより、通信が中断されました。相手先を確認 してください。
U00800 - U00811	正しく送信できなかったページがあります。もう一度送信してくだ さい。
U00900 - U00910	正しく受信できなかったページがあります。もう一度受信してくだ さい。
U01000 - U01097	送信中に通信エラーが発生しました。もう一度送信してください。
U01100 - U01196	受信中に通信エラーが発生しました。もう一度受信してください。
U01400	回線設定でプッシュ回線を選択していたときに登録された#を含む ダイヤルをダイヤル(パルス)回線に変更した状態で使用したため、 該当する相手先との通信ができませんでした。
U01500	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。もう一度送信 してください。
U01600	高速の送信速度で受信時、通信エラーになりました。相手先の送信 速度を下げた状態で、もう一度送信してもらってください。
U01700 - U01720	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。もう一度送信 してください。
U01721	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。相手先に使用 した送信速度がないかもしれません。送信開始速度を下げて、もう 一度送信してください。
U01800 - U01820	高速の送信速度で受信時、通信エラーになりました。相手先の送信 速度を下げた状態で、もう一度送信してもらってください。
U01821	高速の送信速度で受信時、通信エラーになりました。本機に使用し た送信速度がないかもしれません。相手先の送信速度を下げた状態 で、もう一度送信してもらってください。
U03000	ポーリング受信を行ったところ、相手先のファクスに原稿がセット されていなかったため、受信できませんでした。相手先を確認して ください。
U03200	相手機が弊社機である場合に、F コード掲示板受信を行ったところ、 指定した F コード親展ボックスには何も入っていませんでした。相 手先を確認してください。

エラーコード	原因および処置方法
U03300	次の1と2のどちらかが原因でエラーとなりました。相手先を確認 してください。
	1 相手機が弊社機である場合に、ポーリング受信を行ったところ、 相手先で送受信制限が設定されており、パスワードが不一致で あったため通信が中断されました。
	2 相手機が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、相手先で送受信制限が設定されており、パスワードが不一致であったため通信が中断されました。
U03400	ポーリング受信を行ったところ、相手先で入力されたパスワードと 受信側の自局ファクス ID が一致しなかったため受信が中断されまし た。相手先を確認してください。
U03500	相手機が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、 指定したFコード親展ボックスが相手機に登録されていませんでし た。相手先を確認してください。
U03600	相手機が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、 指定したFコードパスワードが一致しなかったため受信が中断され ました。相手先を確認してください。
U03700	F コード掲示板受信を行ったところ、相手機に F コード掲示板通信機 能がありませんでした。または、どの原稿受渡しボックス(F コード 親展ボックス)にも原稿が入っていませんでした。
U04000	相手機が弊社機である場合に、Fコード親展ボックスに原稿を送信し ようとしたところ、指定したボックスが相手機に登録されていませ んでした。または、転送条件のサブアドレスが一致しませんでした。
U04100	相手先の原稿受渡しボックス(Fコード親展ボックス)に原稿を送信 しようとしたところ、相手機に対応する機能がありませんでした。 または、転送条件のサブアドレスが一致しませんでした。
U04200	暗号送信を行ったところ、指定したボックスが登録されていなかっ たため、送信が中断されました。
U04300	暗号送信を行ったところ、相手先のファクスには暗号通信機能がな かったため、送信が中断されました。
U04400	暗号送信を行ったところ、暗号鍵が不一致であったため、送信が中 断されました。
U04500	暗号受信を行ったところ、暗号鍵が不一致であったため、受信が中 断されました。
U05100	送信を行ったところ、本機に送信制限が設定されており、そのため に必要な通信条件を満足しなかったため、送信が中断されました。 相手先を確認してください。
U05200	相手先から原稿が送信されてきましたが、本機に受信制限が設定さ れており、そのために必要な通信条件を満足しなかったため、受信 が中断されました。
U05300	送信を行ったところ、相手先側で受信制限が設定されており、その ために必要な通信条件を満足しなかったため、相手先側から受信を 拒否されました。相手先を確認してください。
U14000	ファクスボックスへの受信が行われましたが、本機のメモリーオー バーにより受信が中断されました。メモリー内に蓄積(記憶)され ている原稿を印刷しメモリーに空きを作るか、ファクスボックスで の受信を中止してください。

エラーコード	原因および処置方法
U14100	相手機が弊社機である場合に、相手先ファクスボックスまたはF コードボックスへの送信を行ったところ、相手機のメモリーオー バーにより送信が中断されました。相手先を確認してください。
U19000	代行受信が行われましたが、本機のメモリーオーバーにより受信が 中断されました。メモリー内に蓄積(記憶)されている原稿を印刷 しメモリーに空きを作ってから、もう一度受信してください。
U19100	送信を行ったところ、相手先のファクスのメモリーオーバーにより 送信が中断されました。相手先を確認してください。
U19300	送信中にデータに異常が発生し、送信が中断されました。もう一度 送信してください。

索引

数字 2in1受信 6-36

Е

ECM 通信 2-8, 3-7

F

Fコード通信 3-7, 4-44
Fコードサブアドレス 4-44
Fコードパスワード 4-44
受信のしかた 4-46
送信のしかた 4-44
Fネット無鳴動受信 6-19
Fコード掲示板通信 4-49, 10-7
Fコード送信ができない 10-6
Fコード中継同報通信 4-20, 10-7

I

Internet Fax Kit (A) 7-2 i- ファクス件名 / 本文 8-10

Ν

Network FAX について 9-1 オンラインマニュアルについて 9-6 基本的な送信の方法 9-3 受信の流れ 9-2 セットアップ 9-3 送信の流れ 9-2 ファクス設定タブ 9-5

あ

宛先確認画面について 5-12
アドレス帳 2-5
宛先選択 3-15
アドレス帳の種類の変更 2-5
検索 3-16
新規登録 2-5
変更/削除 3-17
リストの出力 2-14
暗号通信 3-7, 6-29, 10-6
暗号鍵 6-29
暗号鍵の登録 6-30
暗号鍵の変更/削除 6-31
暗号鍵番号 6-29
受信側の操作方法 6-33

い 一括送信 4-3 印刷されない 10-6 インターネットファクスについて 8-1 Command Center RX 8-4 受信 8-12 使用上の注意 8-3 送信 8-7 え エラーコード一覧表 付録-26 メッセージ 10-4 エンターキー 3-2 お 音設定 ファクススピーカー設定 2-2 ファクスモニター設定 2-2 音量調整 6-12 か 解像度 3-8 拡張アドレス帳 2-5 拡張メモリー 7-5 各部の名称とはたらき 1-1 画質 3-8 簡単設定画面 3-24 登録できる機能 3-24 登録変更のしかた 3-25 簡単セットアップ(ファクスのセットアップ)2-2

送信側の操作方法 6-32

き

管理機能 4-58

機械を設置する際のご注意 vi 許可 ID 番号 登録 6-26 変更 / 削除 6-27 許可ファクス番号 登録 6-22 変更 / 削除 6-23 拒否ファクス番号 登録 6-24 変更 / 削除 6-25

< 区点コード表 付録-20 け 原稿 片面 / 両面選択 4-61 原稿サイズ混載 4-61 原稿サイズ選択 4-61 原稿セット向き 4-62 サイズについて xii 原稿送り装置 1-5 原稿のセット 3-4, 8-7 し 自局情報 6-5 自局ファクス ID 2-2 自局ファクス番号 2-2 自局名 2-2, 6-4 時刻 2-4 自動受信 3-11 自動送信 3-3 縮小/拡大 4-61 縮小受信 6-34 受信サイズと印刷用紙優先順位 付録 -18 受信できない 10-6 受信日時記録 6-15 受信方式 6-14 受信用紙種類 6-16 出荷時設定值一覧表 付録-15 手動受信 4-15, 6-14 手動送信 4-13 ショートカット 3-26 登録 3-26 変更と削除 3-26 仕様 付録-10 使用禁止時間 6-38 使用前の準備 2-1

そ

操作パネル 1-2 送受信制限 6-21 許可 ID 番号 6-26 許可ファクス番号 6-22 拒否ファクス番号 6-24 受信拒否条件 6-21 受信制限設定 6-28 番号不明受信 6-28 前提条件 6-21 送信制限設定 6-28

通信成立条件 6-21 送信開始速度 2-8, 3-7 送信サイズ選択 4-61 送信状況 3-10 送信できない 10-6 送信控え印刷 4-63 送信控え保存 4-63 送信予約 4-9 た 代行受信 3-12, 10-6 タイマー送信 4-3 即時送信 3-13 中止 3-13 ダイヤルイン 6-20 ダイレクト送信 3-3 中止 3-14 短縮キー 3-2 ち チェーンダイヤル 4-11 注意表示 i 中止 送/受信の中止(通信の切断) 3-14 タイマー送信の中止 3-13 ダイレクト送信の中止 3-14 ポーリング送信 /F コード掲示板送信の中止 3-14 メモリ送信の中止 3-13 長尺原稿 4-2 \neg 通信結果 / 登録の確認 5-2 τ 手差しトレイ受信 6-18 電源を切るときの注意 10-3 電話回線 6-2

لح

同報送信 4-6, 10-6 トラブルが発生した場合 10-6

の

濃度 3-7

は 排紙先の設定 6-39

電話回線の設定 2-2

発信元記録の選択 2-2, 6-3 ハンドセット 7-3

ひ

日付 2-4

ふ

ファクス / 電話自動切替受信 6-7, 6-14 ファクス / 留守番電話自動切替受信 6-9, 6-14 ファクス専用自動受信 3-11, 6-14 ファクス番号 テンキー入力の禁止 4-57 ファクスボックス 4-37, 10-7 確認 4-41 登録 4-37 ファイル名の変更 4-41 ファクスボックスからの印刷 4-40 ファクスボックスからの削除 4-41 ファクスボックスリスト 4-43 プレビュー 4-42 変更/削除 4-39 部門管理 4-58 制限 4-59 対象となる通信形態 4-58 内容 4-58 ログイン 4-60 プレビュー 送信 3-22 ファクスボックス 4-42 ポーリングボックス 4-57 プログラムダイヤル 4-47, 4-48 登録 4-47 変更/削除 4-47

\sim

ベル回数 6-11

ほ

ポーリング通信 4-49
F コード掲示板通信 4-49
確認 4-56
ファイル名の変更 4-56
プレビュー 4-57
ポーリング受信 4-52, 10-7
ポーリング送信 4-49
ポーリングボックスからの印刷 4-54
ポーリングボックスからの削除 4-56
本体(名称) 1-4

ま

マルチポート 7-5

め

メール通知 受信結果通知 5-11 ジョブ終了通知 4-63
メニュー構成一覧 付録 -11
メモリー送信 3-3 中止 3-13
メモリー転送 4-19, 10-6, 10-7 Command Center RX 4-32
解除 4-27 詳細設定 4-27
詳細設定 4-27 転送条件 4-19
転送設定(条件ごと) 4-23
転送設定(すべて転送する) 4-21
転送の種類 4-19

も

文字の入力 付録 -2 入力画面 付録 -4 入力方式 付録 -2 入力文字 付録 -3 文字変換 付録 -7, 付録 -9

Þ

ユーザー管理 4-58 内容 4-58 ログイン 4-59

よ

用紙サイズについて xii 読みかた xi

ら

ランプ **10-2**

り

リダイヤル 3-21
回数の変更 6-13
リモート切替機能 4-17, 10-6
使いかた 4-18
登録 4-17
リモート診断 6-37
両面受信 6-35
履歴 5-3
印刷ジョブ履歴 5-4
詳細情報 5-5

索引

ジョブ履歴画面 5-3 送信ジョブ履歴 5-4 保存ジョブ履歴 5-5

れ

レポート 送信前に中止されたジョブのレポート 5-7 受信結果レポート 5-8 ステータスページ 5-10 送信結果レポート 5-7 通信管理レポート 5-8 ファクスボックスリスト 4-43 連続読み込み 4-62

わ

枠消し 4-62 割り込み送信 4-10 ワンタッチキー 2-15 宛先選択 3-19 新規登録 2-15 変更/削除 2-16





弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡 ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュナントソリューションズ株式会社 京セラドキュナントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号 http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp

